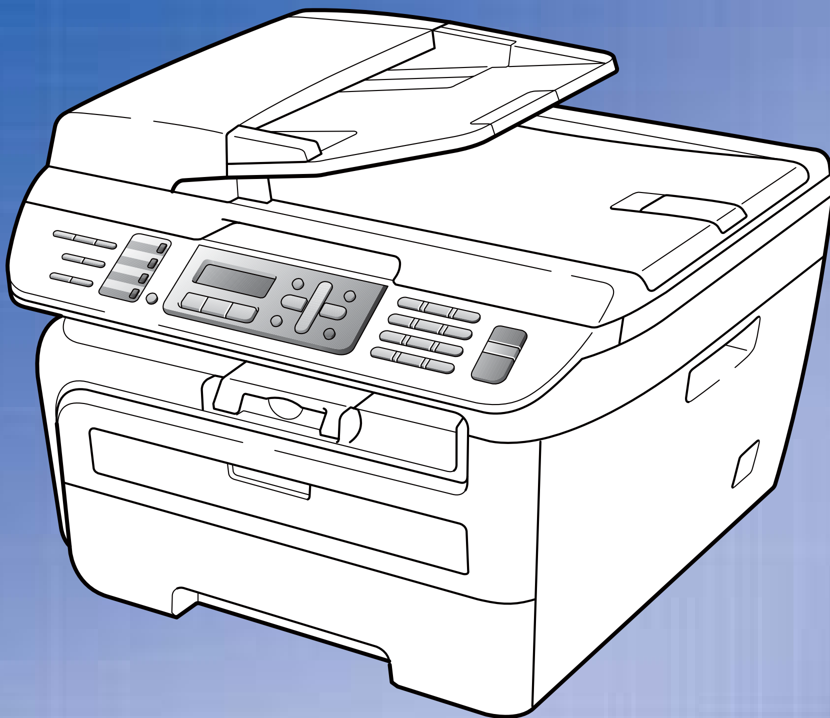
brother

ネットワーク設定ガイド
MFC-7840W



困ったときは

本製品の動作がおかしいとき、故障かな?と思ったときなどは、以下の手順で原因をお調べください。

1 ユーザーズガイド(印刷版)6章「こんなときは」で調べる

2 サポート ブラザー 検索 ブラザーのサポートサイトにアクセスして、最新の情報を調べる http://solutions.brother.co.jp/

オンラインユーザー登録 ▶ https://regist.brother.jp/

Version 0 JPN

やりたいことがすぐ探せる! **やりたいこと目次** 5P

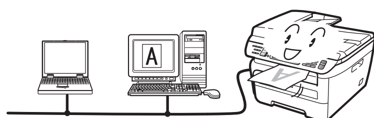
目　次

やりたいこと目次

ネットワークプリンタとして使いたい。

本製品をネットワーク環境で使用します。ネットワーク上の複数のコンピュータから印刷できます。

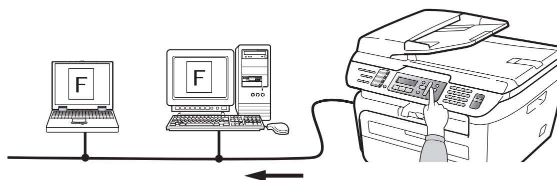
- Windows® の場合 P.108
- Macintosh® の場合 P.123



ネットワークスキャナとして使いたい。

ネットワーク環境でスキャナとして使用できます。ネットワーク上の複数のコンピュータからスキャナを利用できます。

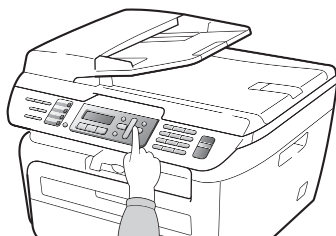
詳しくはP.112 P.125を参照してください。



操作パネルを使ってネットワークの設定をしたい。

操作パネルのボタンを使用して、ネットワーク上で本製品を使用するための設定ができます。

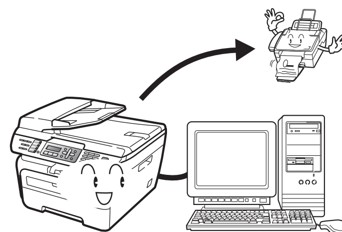
詳しくはP.20を参照してください。



ネットワーク PC ファクスを使う。

プリンタに印刷する感覚でファクス送信できる機能です。

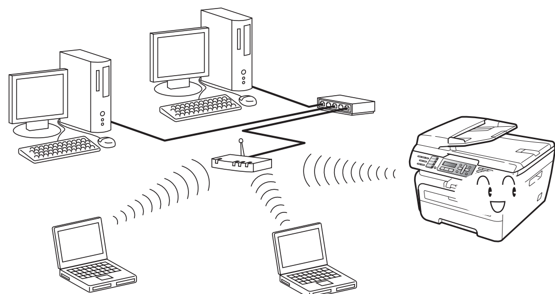
詳しくはP.115 P.127を参照してください。



無線 LAN を使う

LAN ケーブルを使用しないで、無線でネットワークに接続できます。

詳しくはP.47を参照してください。



ウェブブラウザを使って本製品を管理する。

標準のウェブブラウザから本製品にHTTPを使ってアクセスし、管理や設定をすることができます。

詳しくはP.34を参照してください。

BRAdmin Light を使って本製品を設定する。

付属のソフトウェア BRAdmin Light 使ってアクセスし、管理や設定をすることができます。

詳しくはP.40を参照してください。

ネットワークリモートセットアップ

本製品にネットワーク経由でアクセスして、各種設定を変更できます。

詳しくはP.44を参照してください。

VCCI規格

本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。本製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

無線LAN機器使用の際のご注意

電波に関するご注意

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品のチャンネルを変更するか、または電波の発射を停止してください。
3. その他、電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りの場合は、弊社「お客様相談窓口」へお問い合わせください。

補足

本製品の設置場所によって、最大70メートルまで届きます。最大の到達距離や通信速度は、設置する環境と使用する機器の種類により異なります。

電波の種類と干渉距離

2.4 DS4/OF4

「2.4」：2.4GHz 帯を使用する無線設備を表す。
「DS」：変調方式がDS-SS 方式であることを表す。（IEEE802.11bのとき）
「OF」：変調方式がOFDM方式を表す。（IEEE802.11gのとき）
「4」　：想定される与干渉距離が40 m 以下であることを表す。
「---」：全帯域を使用し、かつ、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する。

無線モジュール内蔵について

本製品は、日本電波法に基づき認証された無線モジュールを搭載しております。

本書の読みかた

章を示します。

インデックスです。
現在の章を黒色で示します。

第2章　ネットワークの設定

大見出しです。

TCP/IPの設定（有線LAN）

有線LANでTCP/IPを使用して印刷するには、本製品にIPアドレスとサブネットマスクを設定します。ルータの先に本製品が接続されている場合は、ルータのアドレス（ゲートウェイ）も設定します。

補足項目です。

補足
本製品の初期設定は、次の通りです。
• IPアドレス：169.254.x.x（APIPA機能による自動割当）

注意していただく内容です。

注意
■DHCP、BOOTP、RARPまたはAPIPA機能を使用していない場合は、初期設定のIPアドレスは192.0.0.192になります。
■DHCP、BOOTP、RARPまたはAPIPA機能を使用しない場合は、自動的にIPアドレスを取得しないように、IPの取得方法を手動（static（固定））に設定します。P.22

このメニューは10の項目で構成されています。
• IP取得方法
• IPアドレス
• サブネットマスク
• ゲートウェイ
• ノード名
• WINS設定
• WINSサーバ
• DNSサーバ
• APIPA
• IPv6

閲覧する内容を説明しているページを示します。

補足
TCP/IPを設定する他の方法
• ウェブブラウザを使用する場合は P.34 を参照してください。
• その他TCP/IPを設定する方法は P.146 を参照してください。

中見出しです。

IP取得方法

小見出しです。

IPアドレスの取得方法

操作手順です。

1 メニュー、5 JKL、1、1、1 の順に押す
　または で選択して OK で決定することも可能です。

2 または で押して「Auto」、「Static」、「RARP」、「BOOTP」または「DHCP」のいずれかを選択する
　お買い上げ時は「Auto」になっています。

IP取得方法
Auto　*

操作手順を補足する手順画面やイラストです。

3 OK を押す
　IPアドレス取得方法が確定されます。
　•「Auto」、「RARP」、「BOOTP」または「DHCP」を選択した場合は、次の手順4を実行します。
　•「Static」を選択した場合は、手順5に進みます。

22

ページ番号です。

このページは説明のために作成したもので、実際のページとは異なります。

本書の表記

本文中では、マークおよび商標について、以下のように表記しています。

マークについて

注意	本製品をお使いになるにあたって、守っていただきたいことがらを説明しています。
補足	本製品の操作手順に関する補足情報を説明しています。
P.XXX	本書内の参照先を記載しています。（XXXはページ）
「XXX」	かんたん設置ガイドの参照先を記載しています。（XXXはタイトル）
	画面で見るマニュアル（HTML形式）を参照しています。

商標について

brotherのロゴはブラザー工業株式会社の登録商標です。
Windows® 2000 Professionalの正式名称は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system です。（本文中ではWindows® 2000と表記しています。）
Windows® XPの正式名称は、Microsoft® Windows® XP operating system です。
Windows® XP Professional x64 Edition の正式名称は、Microsoft® Windows® XP operating system, Professional x64 Edition です。
Windows Server®2003の正式名称は、Microsoft® Windows Server®2003 operating system です。
Windows Vista®の正式名称は、Microsoft® Windows Vista® operating system です。
本文中では、OS名称を略記しています。
Microsoft 、MS-DOS、Windows、Windows NT、Windows Server®および LAN Managerは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
Apple、Appleのロゴ、Macintosh®、Mac OS®、iBook®は、Apple Inc.社の登録商標です。
Adobe、Adobeのロゴ、Acrobat、PhotoshopおよびPostScriptは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
Ethernetは、Xerox Corporationの商標です。
ウイルスバスター ™は、トレンドマイクロ株式会社の商標です。
Norton AntiVirus™は、Symantec Corporationの商標です。
UNIXは、The Open Groupの米国ならびにその他の国における登録商標です。
Mozilla、Firefox、Firefoxロゴは、米国Mozilla Foundationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
Wi-Fi、WPAは、Wi-F Alianceの登録商標です。
AOSSは株式会社バッファローの商標です。
BROADCOM, SecureEasySetup および SecureEasySetupのロゴは、Broadcom Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
CiscoおよびCisco Systemsは、米国およびその他の地域における、Cisco Systems Inc.および関係会社の登録商標です。

本書に記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

編集ならびに出版における通告

本書ならびに本製品の仕様は予告なく変更されることがあります。
ブラザー工業株式会社は、本書に掲載された仕様ならびに資料を予告なしに変更する権利を有します。また提示されている資料に依拠したため生じた損害（間接的損害を含む）に対しては、出版物に含まれる誤植その他の誤りを含め、一切の責任を負いません。

はじめに

概要

本製品のネットワークインターフェースを利用してLANまたはWANに接続し、ネットワーク上のコンピュータから本製品で原稿のファクスや印刷ができます。
本書は、本製品をネットワーク上で使用するために必要な設定方法について説明しています。

次の表では、各動作環境でサポートするネットワークの機能と接続について示しています。

オペレーティングシステム（OS）	Windows® 2000 Windows® XP Windows® XP Professional x64 Edition Windows Vista®	Windows Server® 2003 Windows Server® 2003 x64 Edition	Mac OS® X 10.2.4以降
10/100BASE-TX 有線LAN（TCP/IP）	○	○	○
IEEE802.11b/g 無線LAN（TCP/IP）	○	○	○
印刷	○	○	○
BRAdmin Light	○	○	○
BRAdmin Professional※1	○	○	
ウェブブラウザ	○	○	○
インターネット印刷（IPP）	○	○	
スキャニング	○		○
PCファクス送信	○		○
PCファクス受信	○		
リモートセットアップ	○		○
ステータスモニタ	○		○
オートマチックドライバインストーラ	○	○	

※1 BRAdmin Professional は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））よりダウンロードしてください。

特長と機能

ネットワークプリンタ機能

本製品のネットワークインターフェースはTCP/IPに対応しています。TCP/IPの印刷プロトコルを使用して、ネットワーク上のコンピュータから直接印刷できます。

ネットワークスキャン機能

モノクロまたはカラーでスキャンした画像データを、ネットワーク上のコンピュータへ直接保存できます。

ネットワーク PCファクス送信機能

アプリケーションで作成したファイルを、ファクスとして送信できます。あらかじめ PC ファクスアドレス帳に相手先を登録しておくと、ファクスの送信時に便利です。

ネットワーク PCファクス受信機能（Windows® のみ）

受信したファクスを、本製品とネットワーク接続しているコンピュータに送ります。コンピュータ上で内容を確認してから印刷できます。

管理ユーティリティ

● BRAdmin Light

BRAdmin Lightは、ネットワークに接続されているブラザー製品の初期設定用ユーティリティです。ネットワーク上のブラザー製品の検索やステータス表示、IPアドレスなどのネットワークの基本設定が可能です。

BRAdmin Lightは、Windows® 2000/XP、Windows Vista®、Windows Server® 2003、Mac OS® X 10.2.4以降のコンピュータで利用できます。

Windows®をご使用の場合は、本製品に付属の かんたん設置ガイドを参照し、BRAdmin Lightをインストールしてください。

Macintosh®をご使用の場合は、プリンタドライバをインストールすると、自動的にBRAdmin Lightもインストールされます。すでにプリンタドライバをインストールしている場合は、再度インストールする必要はありません。

詳しくは、「BRAdmin Lightで設定する」P.40 を参照してください。

● BRAdmin Professional（Windows® のみ）

BRAdmin Professionalは、ネットワークに接続されているブラザー製品の管理をするためのユーティリティです。Windows® システムが稼動するパソコンからネットワーク上のブラザー製品の検索、状態の閲覧、ネットワーク設定の変更ができます。

BRAdmin Professionalは、BRAdmin Lightの機能が拡張されています。詳しい情報とダウンロードについては、次のURLを参照してください。

サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）

● ウェブブラウザ

ウェブブラウザとは、HTTP（ハイパーテキスト転送プロトコル）を使用してネットワークに接続されているブラザー製品を管理するためのユーティリティです。このユーティリティは、ネットワーク上にあるブラザー製品の情報を取得し、ウェブブラウザを使用して本製品およびネットワークの設定が可能です。

詳しくは、「ウェブブラウザで管理する」P.34 を参照してください。

● ネットワークリモートセットアップ機能

本製品にネットワーク経由でアクセスして各種設定ができます。

詳しくは、「ネットワークリモートセットアップで管理する」P.44 を参照してください。

1章

ネットワークで使う前に

ネットワーク導入作業の流れ

すでに かんたん設置ガイドの手順にしたがってドライバのインストールをした場合は、ネットワークの設定は自動的に完了しています。
ここでは、手動でインストールする手順を説明しています。

ネットワーク接続方法を決める

↓

お使いの環境に合わせて本製品をどのように接続するかを決めます。
P.13 を参照してください。

IP アドレスを決める

↓

本製品に割り当てる IP アドレスを決めます。P.17 を参照してください。

本製品とコンピュータを LAN ケーブルで接続する

↓

接続方法については、かんたん設置ガイド「STEP2 パソコンに接続する」を参照してください。

ネットワークの設定を行う

↓

操作パネルを使用して、本製品をネットワーク上で利用できるように IP アドレスなどを設定します。
ウェブブラウザを使用する場合はP.34 を参照してください。
BRAdmin Light を使用する場合はP.40 を参照してください。

ポートを追加し、プリンタドライバをインストールする

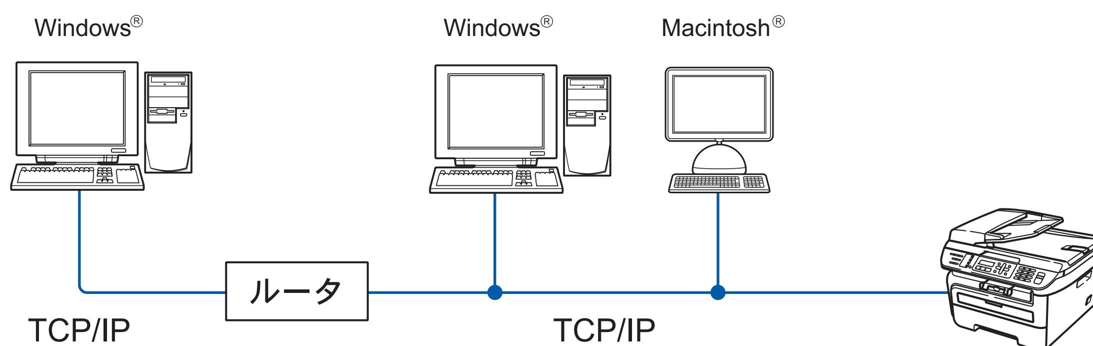
ネットワークの接続方法を決める

接続方法は、各コンピュータから直接本製品と通信して印刷する方法（ピアツーピア）と、本製品に接続されているコンピュータを経由して印刷する方法（ネットワーク共有）があります。

有線LANの場合

ピアツーピア接続

ピアツーピア接続では、各コンピュータが本製品と直接データを送受信します。ファイルの送受信を操作するサーバやプリントサーバなどは必要ありません。
各コンピュータにプリンタポートの設定をします。

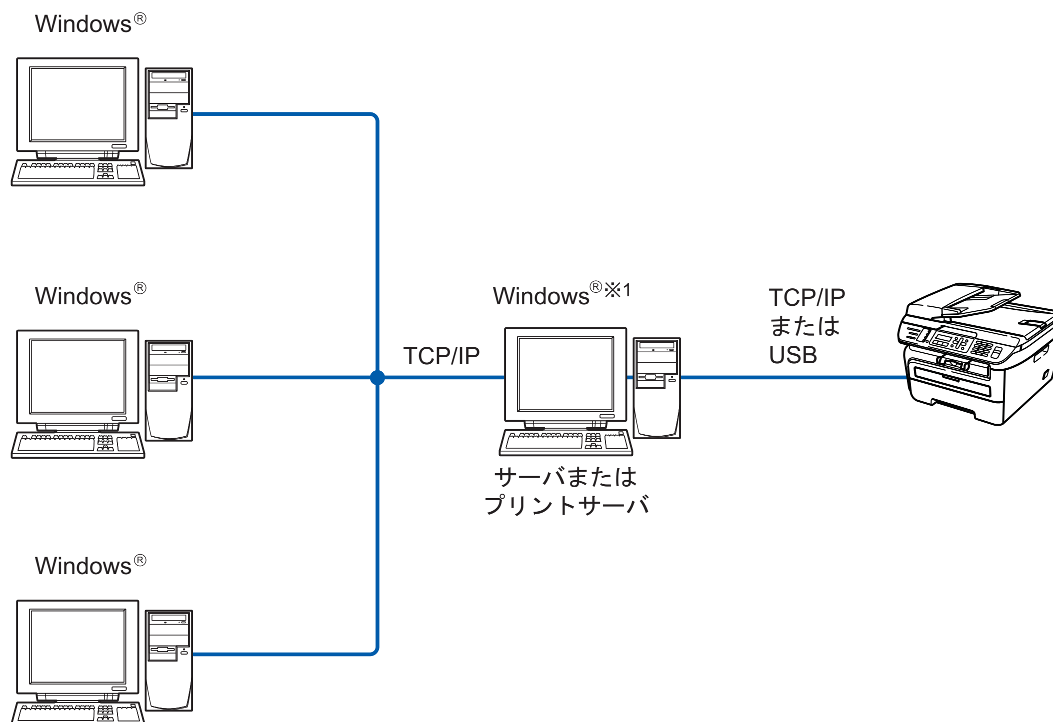


- コンピュータ 2，3台程度の小規模なネットワーク環境では、ネットワーク共有印刷よりも簡単に設定できるピアツーピア印刷をおすすめします。ネットワーク共有印刷については、P.14 を参照してください。
- 各コンピュータにTCP/IPプロトコルの設定を行います。
- 本製品にもIPアドレスを設定する必要があります。
- ルータがある場合、ルータの先からも利用可能です。（ゲートウェイの設定が必要）

補足
本書ではピアツーピア接続の設定方法について記載しています。

ネットワーク共有

ネットワーク共有では、各コンピュータが本製品とデータを送受信するには、サーバまたはプリントサーバを経由する必要があります。このサーバまたはプリントサーバですべての印刷作業を制御します。
本製品に直接接続されているコンピュータにのみプリンタポートを設定し、そのコンピュータを経由して他のコンピュータも本製品を共有できます。ただし、本製品に接続されているコンピュータの電源が入っていないと、他のコンピュータは本製品を使用できません。



- 大規模なネットワーク環境では、ネットワーク共有印刷環境をおすすめします。
- 本製品と直接接続するコンピュータ（※1）は、TCP/IP印刷プロトコルを使用してください。
- 本製品と直接接続するコンピュータ（※1）には、本製品に適したIPアドレスを設定する必要があります。
- 本製品と直接接続するコンピュータ（※1）をUSBインターフェースを経由して接続することもできます。
- 本製品と直接接続するコンピュータ（※1）は、プリンタドライバがインストール済みであることが必要です。
- 本製品と直接接続するコンピュータ（※1）の電源が入っていなければ、本製品を使用できません。
- Windows®のみ設定可能です。

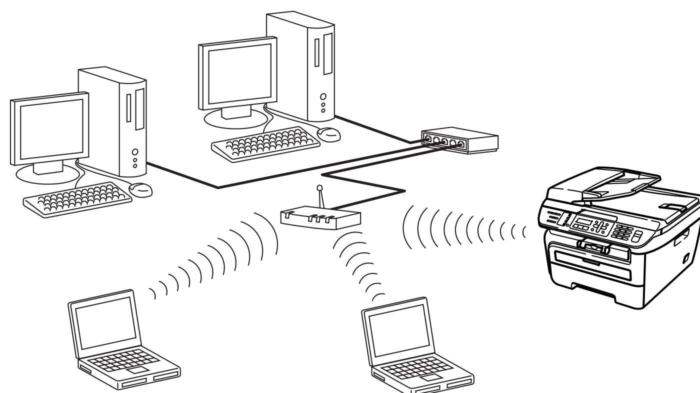
補足
ネットワーク共有の設定方法については、Windows® オペレーティングシステムの共有プリンタに関する説明やヘルプを参照してください。

無線LANの場合

無線LANには、インフラストラクチャモードとアドホックモードの2つのタイプがあります。

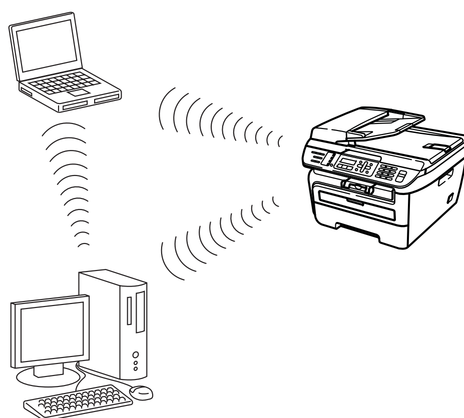
インフラストラクチャモード

インフラストラクチャモードのネットワークでは、ネットワークの中心に無線 LAN アクセスポイントが設置されています。無線LANアクセスポイントは、有線のネットワークへ橋渡しをする他にゲートウェイとしても機能します。本製品をインフラストラクチャモードに設定している場合は、すべての印刷ジョブを無線LANアクセスポイントを経由して受け取ります。



アドホックモード

アドホックモードのネットワーク（ピアツーピアネットワークともいいます）では、無線LANアクセスポイントが存在しません。それぞれの無線機器は個別に直接通信します。本製品をアドホックモードに設定している場合は、印刷データを送信するコンピュータからすべての印刷ジョブを直接受け取ります。



ネットワーク接続に必要な環境を整える

本製品をネットワーク上で使用するために、あらかじめ準備したり調べておくものについて説明します。

準備するもの

● LAN ケーブル

本製品とコンピュータ、またはハブなどの機器同士をつなぐケーブルです。LANケーブルにはいろいろな規格がありますが、現在一般的なのはカテゴリ5Eやカテゴリ6 という規格のケーブルです。5E のE は「Enhanced」の略で、「強化された」という意味を持っています。カテゴリ5Eやカテゴリ6 のケーブルはカテゴリ5 のケーブルよりもノイズに強い作りになっています。

また、同じカテゴリのケーブルにも「ストレートケーブル」と「クロスケーブル」の2 種類があります。ストレートケーブルはADSL モデムとコンピュータの接続、コンピュータとハブの接続に使用されるケーブルで、ほとんどの場合はストレートケーブルで接続が可能です。クロスケーブルは2 台のコンピュータ同士を直接接続するときなどに使用されます。

ケーブルの長さは、機器間の距離に多少の余裕を持って購入してください。ただし、最大ケーブル長は10BASE-T/100BASE-TX とも100m となっているため、それ以下になるようにしてください。

補足

無線LAN をご利用の場合でも、無線対応していないパソコンとネットワーク接続するときは、LANケーブルが必要です。この場合、パソコンと無線LAN アクセスポイントをLANケーブルで接続してください。詳しくは、無線LAN アクセスポイントの説明書をご覧ください。

● ハブ

複数台のコンピュータなどをネットワーク接続するときに必要な集線装置です。ハブには、大きく分けて「リピータハブ」と「スイッチングハブ」があります。リピータハブは主に 10BASE-T で使用される集線装置です。スイッチングハブは主に、100BASE-TXや1000BASE-Tに使用される集線装置で、信号の流れを制御してコリジョンという信号の衝突が起きないようにする機能を持っています。

ハブに接続できる機器の数はハブのポート数によって決まります。お使いの環境から、何台の機器を接続するかを検討して購入してください。

● ルータ

ADSL やCATV、光ファイバー（FTTH）などのインターネット網と、家庭・オフィスのLAN（内部ネットワーク）を中継する機器です。複数台のコンピュータから同時にインターネットに接続することができるようになります。ルータを使用すると、接続した各機器に自動でIPアドレスを割り当てるDHCP機能や、LAN内の独自のIPアドレス（プライベートIPアドレス）を持つ機器に、必要に応じてインターネット用のIPアドレス（グローバルIPアドレス）を割り当てるNAT機能が使えるようになります。

さらにインターネット接続に必要なプロトコルに対応していたり、インターネットからの不正なアクセスを防ぐセキュリティ機能なども持っています。

補足

無線LAN をご利用の場合は、無線LAN アクセスポイント（無線LANルータ）を使用してください。

IPアドレスを決める

● IP アドレスとは

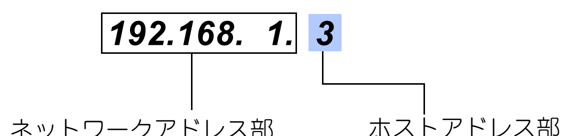
IP アドレスは、接続しているコンピュータの住所にあたるものです。TCP/IP ネットワークに接続するコンピュータなどの機器（ノード）には、必ずIP アドレスを割り当てる必要があります。

IP アドレスは、0 ～255 までの数字を「.（ピリオド）」で区切って「192.168.1.3」のように表現します。

ローカルネットワークでは、IP アドレスはサブネットマスクによって「ネットワークアドレス部」と「ホストアドレス部」に分割されています。サブネットマスクを設定することにより、ホストアドレス部だけでそのネットワーク全体を管理できます。IP アドレスとサブネットマスクは常にセットで管理してください。

192.168.　1.3	***IP アドレス***
255.255.255.0	**サブネットマスク**

と設定されている場合、



という意味を持っています。このうち利用可能なホストアドレス部の値は、予約された"0"と"255"を除いた1 ～254 の範囲で、「192.168.1.3」は、

192.168.1.1~254

の中のひとつのアドレスであることがわかります。このネットワークに本製品を追加する場合は、ホストアドレス部が重複しないようにしてください。

補足

予約されているアドレス
上記の例では、192.168.1.0 がネットワークアドレス、192.168.1.255 がブロードキャストアドレスとなり、本製品に割り当てることはできません。

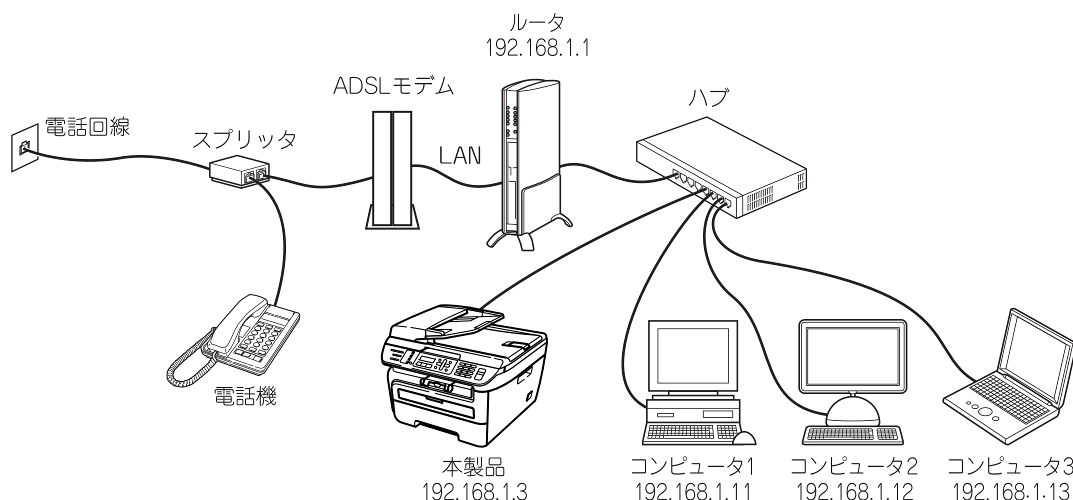
● IP アドレスの決め方

本製品を同じネットワーク上に接続するためには、現在使用しているルータなどの初期値に合わせると簡単に設定、管理することができます。IP アドレスを手動で設定する場合は以下のように設定します。

ルータの LAN 側 IP アドレスが「192.168.1.1」、サブネットマスクが「255.255.255.0」である場合、接続する本製品やコンピュータにネットワークアドレス部は同じ値を設定し、ホストアドレス部にはそれぞれ異なる値を割り当てます。ここでは「2～254」の範囲で設定します。以下の例を参考に、接続する機器のIP アドレスを設定してください。

例）

機器名(ノード)	IPアドレス	サブネットマスク
ルータ	192.168.1.　1	255.255.255.0
本製品	192.168.1.　3	255.255.255.0
コンピュータ1	192.168.1.11	255.255.255.0
コンピュータ2	192.168.1.12	255.255.255.0
コンピュータ3	192.168.1.13	255.255.255.0



補足

● ネットワーク管理者がいるときは
事務所などで多くの機器をネットワーク接続している場合は、ネットワークを管理している担当者に使用できるIP アドレスなどを問い合わせてください。数値を適当に設定すると、ネットワーク接続できないなどトラブルの原因になります。

● ネットワーク内にルータがあるときは
ルータにもIPアドレスが割り当てられています。そのIPアドレスを本製品またはコンピュータに設定しないでください。ルータのIPアドレスはルータの取扱説明書を確認するか、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

● DHCP環境でお使いの場合
ルータ以外にDHCPサーバが設置されているときは、ルータのDHCPサーバ機能を無効にするか、本製品のIPアドレス取得方法を「Static」にしてください。P.23
ルータについては、かんたん設置ガイド「STEP2 パソコンに接続する」を参照してください。

2章

ネットワークの設定

操作パネルで設定をする

この章では、操作パネルにある各種ボタンと液晶ディスプレイ（LCD）を使用して、有線LANを設定する方法について説明します。
本製品の操作パネルのボタンを利用することで、コンピュータから操作しなくてもネットワークの各設定項目を修正できます。

操作パネル

操作パネルは、各設定項目を表示したり、ダイヤルボタンやワンタッチダイヤルなどで入力した文字を表示します。

操作パネルを使用すれば、「LAN」設定メニューを通じてネットワーク設定をすることができます。
メニュー、5 JKL の順に押します。

```
LAN
1.有線LAN
```

このようにLANのメインメニューへ入ることができます。この章では有線LANに関する下記の設定について説明しています。
無線LANの設定方法については第3章「無線LANの設定」P.47 を参照してください。

- 1. TCP/IP設定（有線LAN）........ P.22 を参照してください。
- 2. イーサネット（有線LAN）の設定........ P.30 を参照してください。
- 3. LAN設定の初期化........ P.32 を参照してください。
- 4. LAN設定内容リストの出力........ P.33 を参照してください。

補足

一度ネットワーク上で有効な IP アドレスを本製品に割り当てた後は、お使いのウェブブラウザからネットワークを通じてすべての設定項目を変更可能です。また、本製品に付属のCD-ROM内に収録されているBRAdmin Lightを、ご使用いただくことで同様に設定が可能です。

操作パネルから文字を入力する

ネットワーク設定で必要なIPアドレスやノード名などは、ダイヤルボタンを使用して入力できます。
ネットワーク設定の関連機能で入力できる文字の一覧は下表にまとめています。
ダイヤルボタンを表にある回数押すことで、そのボタンに割り当てられた文字を入力することができます。［⁎］と［#］には記号が割り当てられています。

ダイヤルボタン文字対応表

ボタン ＼ 回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	@	.	/	1													
2	a	b	c	A	B	C	2										
3	d	e	f	D	E	F	3										
4	g	h	i	G	H	I	4										
5	j	k	l	J	K	L	5										
6	m	n	o	M	N	O	6										
7	p	q	r	s	P	Q	R	S	7								
8	t	u	v	T	U	V	8										
9	w	x	y	z	W	X	Y	Z	9								
0	0																
⁎																	
#	.	@	-	_	'	スペース	:	;	<	=	>	?	[	]	^		

入力時の画面には、一覧の文字のうち設定する機能で利用できる文字のみ表示され、例えばIPアドレスの設定画面では数字のみが表示されます。
電話帳機能ではカナ文字も入力できます。

- カーソルを移動する

  ◄または►をお使いください。

- 入力した文字を修正する

  入力を間違えたときは、◄または►を使って修正する文字にカーソルを移動し、クリア/バックを押して削除後、正しい文字を入力し直します。途中の文字を入力し忘れたときは、間違えた箇所までカーソルを移動して入力し直してください。

補足

入力できる文字の種類は、設定項目により異なります。

TCP/IPの設定（有線LAN）

有線LANでTCP/IPを使用して印刷するには、本製品にIPアドレスとサブネットマスクを設定します。ルータの先に本製品が接続されている場合は、ルータのアドレス（ゲートウェイ）も設定します。

補足

本製品の初期設定は、次の通りです。
- IPアドレス：169.254.x.x（APIPA機能による自動割当）

注意

■DHCP、BOOTP、RARPまたはAPIPA機能を使用していない場合は、初期設定のIPアドレスは192.0.0.192になります。

■DHCP、BOOTP、RARP または APIPA 機能を使用しない場合は、自動的に IP アドレスを取得しないように、IP の取得方法を手動（static（固定））に設定します。P.23

このメニューは10の項目で構成されています。

- IP取得方法
- IPアドレス
- サブネットマスク
- ゲートウェイ
- ノード名
- WINS設定
- WINSサーバ
- DNSサーバ
- APIPA
- IPv6

補足

TCP/IPを設定する他の方法
- ウェブブラウザを使用する場合はP.34を参照してください。
- その他TCP/IPを設定する方法はP.145を参照してください。

IP取得方法

1 メニュー、5 JKL、1、1、1 の順に押す

▲または▼で選択してOKで決定することも可能です。

2 ▲または▼で押して「Auto」、「Static」、「RARP」、「BOOTP」または「DHCP」のいずれかを選択する

```
IP取得方法
Auto                  *
```

お買い上げ時は「Auto」になっています。

3 OKを押す

IP アドレス取得方法が確定されます。

- 「Auto」、「RARP」、「BOOTP」または「DHCP」を選択した場合は、次の手順4を実行します。
- 「Static」を選択した場合は、手順5に進みます。

4 IP アドレスの取得を試みる回数を設定して、OKを押す

お買い上げ時の設定は「00003」です。IP アドレスの取得に失敗する場合は、数値を大きくします。

5 停止/終了を押す

設定メニューを終了します。

補足

IP取得方法を「Auto」に設定すると、「DHCP」、「BOOTP」、「RARP」の順にネットワーク内のIPアドレス配布サーバを探して、IPアドレスを取得します。これらのサーバが見つからなかった場合は、「APIPA」機能により、IPアドレスが自動的に割り当てられます。

IPアドレス

本製品の現在のIPアドレスが表示されます。IPアドレスを変更する場合は、IP取得方法をStatic（手動）に指定してください。設定するIPアドレスについてはネットワーク管理者にお問い合わせください。
Static以外のIP取得方法が選ばれている場合は、DHCP、RARPまたはBOOTPのプロトコルを使用してIPアドレスを自動的に取得します。

1 メニュー、5 JKL、1、1、2 ABC **の順に押す**

▲または▼で選択してOKで決定することも可能です。

2 **IP アドレスを入力する**

右記は例です。
設定済みの場合は、「変更しますか　1. はい　2. いいえ」と表示されます。
そのときは1を押します。2 ABCを押すと、設定画面へ戻ります。

```
IPｱﾄﾞﾚｽ
192.168.001.003
```

3 OK **を押す**

IP アドレスが登録されます。

4 停止/終了 **を押す**

設定メニューを終了します。

サブネットマスク

本製品の現在のサブネットマスクが表示されます。DHCP、RARPまたはBOOTP、APIPAを使用していない場合は、サブネットマスクを手動で入力してください。設定するサブネットマスクについてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

1 メニュー、5 JKL、1、1、3 DEF **の順に押す**

▲または▼で選択してOKで決定することも可能です。

2 **サブネットマスクを入力する**

右記は例です。
設定済みの場合は、「変更しますか　1. はい　2. いいえ」と表示されます。
そのときは1を押します。2 ABCを押すと、設定画面へ戻ります。

```
ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ
255.255.255.0
```

3 OK **を押す**

サブネットマスクが登録されます。

4 停止/終了 **を押す**

設定メニューを終了します。

ゲートウェイ

本製品の現在のゲートウェイアドレスが表示されます。DHCP、RARPまたはBOOTP、APIPAを使用していない場合はアドレスを手動で指定します。ゲートウェイやルータを使用しない場合はお買い上げ時の設定(000.000.000.000)にしておいてください。アドレスが不明な場合はネットワーク管理者へお問い合わせください。

1 **メニュー、5 JKL、1、1、4 GHI の順に押す**

▲または▼で選択してOKで決定することも可能です。

2 **ゲートウェイアドレスを入力する**

右記は例です。
設定済みの場合は、「変更しますか　1. はい　2. いいえ」と表示されます。
そのときは 1 を押します。2 ABC を押すと、設定画面へ戻ります。

```
ｹﾞｰﾄｳｪｲ
192.168.001.001
```

3 **OKを押す**

ゲートウェイアドレスが登録されます。

4 **停止/終了を押す**

設定メニューを終了します。

ノード名（NetBIOS名）

ノード名をネットワークに登録するために使用します（WINSサーバに登録されているNetBIOS名になります）。
お買い上げ時のノード名は、有線LANの場合は“BRNxxxxxxxxxxxx”です。

1 **メニュー、5 JKL、1、1、5 JKL の順に押す**

▲または▼で選択してOKで決定することも可能です。

2 **1 を押す**

2 ABC で設定メニューへ戻ります。

```
BRNxxxxxxxxxxxx
変更しますか 1.はい 2.いいえ
```

3 **ノード名を入力する**

```
ﾉｰﾄﾞ名
BRNxxxxxxxxxxxx
```

補足

ボタンを押す回数に応じて、入力できる文字が変わります。詳しくはP.21を参照してください。
ノード名は、最大15文字まで入力できます。

4 **OKを押す**

ノード名が登録されます。

5 **停止/終了を押す**

設定メニューを終了します。

WINS設定

この項目で本製品がWINSをどのように解決するかを設定します。

Auto

DHCPサーバから自動的にプライマリー、セカンダリーのWINSサーバアドレスを取得します。「IP取得方法」が「Auto」に設定されている必要があります。P.23

Static

手動でWINSサーバアドレスを設定します。

1 メニュー、5 JKL、1、1、6 MNO **の順に押す**

▲または▼で選択してOKで決定することも可能です。

2 ▲**または**▼**を押して「Auto」、「Static」のどちらかを選択する**

WINS設定
Auto　＊

お買い上げ時は「Auto」になっています。

3 OK **を押す**

WINS 設定が登録されます。

4 停止/終了 **を押す**

設定メニューを終了します。

目次
本書の使い方
ネットワークで使う前に
ネットワークの設定
無線LANの設定
Windows環境で使う
Macintosh環境で使う
トラブルシューティング
付録

WINSサーバ

WINSサーバの設定をします。

● プライマリ WINS サーバ IP アドレス

この項目でプライマリWINS（Windows® Internet Name Service）サーバのIPアドレスを登録します。
0以外の値が設定されている場合、本製品はプライマリWINSサーバのIPアドレスとしてその値を登録します。

● セカンダリ WINS サーバ IP アドレス

この項目でセカンダリWINS（Windows® Internet Name Service）サーバのIPアドレスを登録します。セカンダリWINSサーバはプライマリWINSサーバの機能の一部を補完し、プライマリサーバが見つからないときに機能します。
0以外の値が設定されている場合、本製品はセカンダリWINSサーバのIPアドレスとしてその値を登録します。
ネットワーク内にセカンダリのWINSサーバが存在しない場合は入力しなくても構いません。

1 **メニュー、5 JKL、1、1、7 PQRS の順に押す**

▲または▼で選択してOKで決定することも可能です。

2 **▲または▼を押して「プライマリ」または「セカンダリ」のWINS サーバを選択する**

```
WINS ｻｰﾊﾞ
ﾌﾟﾗｲﾏﾘ
```

3 **OKを押す**

設定済みの場合は、「変更しますか　1. はい　2. いいえ」と表示されます。
そのときは1を押します。2 ABCを押すと、設定画面へ戻ります。

4 **WINS サーバのアドレスを入力する**

```
WINS ｻｰﾊﾞ
000.000.000.000
```

5 **OKを押す**

WINS サーバのアドレスが登録されます。

6 **停止/終了を押す**

設定メニューを終了します。

本書の使い方・目次
ネットワークで使う前に
ネットワークの設定
無線LANの設定
Windows環境で使う
Macintosh環境で使う
トラブルシューティング
付録

DNSサーバ

DNS（ドメインネームシステム)サーバの設定をします。

● プライマリ DNS サーバ IP アドレス

この項目でプライマリDNS（Domain Name System）サーバのアドレスを指定します。

● セカンダリ DNS サーバ IP アドレス

この項目でセカンダリDNSサーバのアドレスを指定します。セカンダリDNSサーバはプライマリDNSサーバの機能の一部を補完し、プライマリサーバが見つからない場合に機能します。
ネットワークのトラフィックが大きい環境で使用する場合に設定してください。
ネットワーク内にセカンダリのDNSサーバが存在しない場合は入力しなくても構いません。

1 メニュー、5 JKL、1、1、8 TUV **の順に押す**

▲または▼で選択してOKで決定することも可能です。

2 **▲または▼を押して「プライマリ」または「セカンダリ」の DNS サーバを選択する**

DNS ｻｰﾊﾞ
ﾌﾟﾗｲﾏﾘ

3 OK **を押す**

設定済みの場合は、「変更しますか　1. はい　2. いいえ」と表示されます。
そのときは1を押します。2 ABCを押すと、設定画面へ戻ります。

4 **DNS サーバのアドレスを入力する**

DNS ｻｰﾊﾞ
000. 000. 000. 000

5 OK **を押す**

DNS サーバのアドレスが登録されます。

6 停止/終了 **を押す**

設定メニューを終了します。

APIPA

APIPAの設定を「オン」にすると、169.254.0.0/16の中からIPアドレスを自動的に割り当てられます。
「オフ」に設定した場合は、IPアドレスを手動で設定するか、LAN設定をDHCPにしてIPアドレスを自動的に取得し使用してください。

1 メニュー、5 JKL、1、1、9 WXYZ の順に押す

▲または▼で選択してOKで決定することも可能です。

2 ▲または▼を押して「オン」または「オフ」のどちらかを選択する

```
APIPA
オン            *
```

お買い上げ時は「オン」に設定されています。

3 OK を押す

APIPA の設定が登録されます。

4 停止/終了 を押す

設定メニューを終了します。

IPv6

本製品は次世代インターネットプロトコルIPv6に対応しています。IPv6プロトコルを使用する場合は、「オン」に設定してください。お買い上げ時は、「オフ」に設定されています。IPv6プロトコルでの設定方法については、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））をご覧ください。

1 メニュー、5 JKL、1、1、0 の順に押す

▲または▼で選択してOKで決定することも可能です。

2 ▲または▼を押して「オン」、「オフ」のどちらかを選択する

```
IPv6
オフ            *
```

3 OK を押す

IPv6 の設定が登録されます。

4 停止/終了 を押す

設定メニューを終了します。

補足

IPv6プロトコルの設定を「オン」にすると、有線LAN、無線LANの両方に適用されます。

イーサネットの設定（有線LANのみ）

この設定の変更を有効にするためには、本製品を再起動する必要があります。

注意

誤った設定をした場合、本製品にアクセスできなくなることがあります。

1 メニュー、5 JKL、1、2 ABC の順に押す

▲または▼で選択してOKで決定することも可能です。

2 ▲または▼を押してリンクモードを選択する

イーサネット
Auto ＊

選べるモードは以下のとおりです。
（お買い上げ時は Auto に設定されています）

- Auto
- 100B-FD
- 100B-HD
- 10B-FD
- 10B-HD

3 OKを押す

イーサネットの設定が登録されます。

4 停止/終了を押す

設定メニューを終了します。

● Ethernet リンクモードについて

Auto：

100BASE-TX（全二重/半二重）、10BASE-T（全二重/半二重）モードを自動的に選択します。

100B-FD/100B-HD/10B-FD/10B-HD：

それぞれのリンクモードに固定されます。

- 100B-FD　：100BASE-TX Full Duplex
- 100B-HD　：100BASE-TX Half Duplex
- 10B-FD　：10BASE-T Full Duplex
- 10B-HD　：10BASE-T Half Duplex

有線LAN有効

本製品を有線LANに接続して使用する場合は、「ｵﾝ」に設定してください。

1 メニュー、5 JKL、1、4 GHI の順に押す

▲または▼で選択してOKで決定することも可能です。

2 ▲または▼を押して「ｵﾝ」を選択する

有線LAN有効
ｵﾝ　＊

3 OKを押す

有線 LAN が有効になります。

4 停止/終了を押す

設定メニューを終了します。

LAN設定の初期化

現在のLAN設定を全てお買い上げ時の設定に初期化できます。初期化すると本製品は自動的に再起動します。

補足

この設定では、IPアドレスやメールアドレスなど、すでに設定しているネットワークのすべての情報を初期化します。
有線LANと無線LANの設定については、個別に初期化することができます。有線LANの初期化については次項を参照してください。無線LANの初期化については P.106 を参照してください。

1 メニュー、5 JKL、0 の順に押す

▲または▼で選択してOKで決定することも可能です。

2 1 を押す

2 ABC を押すと、設定メニューに戻ります。

```
LAN設定リセット
1.決定 2.キャンセル
```

3 1 を押す

- 2 ABC を押すと、設定メニューに戻ります。
- 1 を押すと、数秒後に本製品が再起動します。

```
再起動しますか?
1.する 2.しない
```

有線LAN設定の初期化

現在の有線LAN設定を全てお買い上げ時の設定に初期化できます。

1 メニュー、5 JKL、1、3 DEF の順に押す

▲または▼で選択してOKで決定することも可能です。

2 1 を押す

2 ABC を押すと有線 LAN の初期化をキャンセルし、設定メニューに戻ります。

```
初期設定に戻す
1.決定 2.キャンセル
```

LAN設定内容リストの出力

補足

ノード名（NetBIOS名）：LAN設定内容リストにはノード名が表示されます。お買い上げ時のノード名は、有線LANの場合は“BRNxxxxxxxxxxxx”、無線LANの場合は“BRWxxxxxxxxxxxx”です。

現在のネットワークに関する設定内容を印刷できます。



レポート を押す



7 PQRS を押す

または で「LAN 設定内容リスト」選択して OK で決定することも可能です。

LAN 設定内容リストが印刷されます。

7. LAN設定内容リスト
LAN設定内容リスト

ウェブブラウザで管理する

概要

標準のウェブブラウザで、HTTP（Hyper Text Transfer Protocol）を使用して、ネットワークに接続されているブラザー製品を管理することができます。
Windows®の場合はMicrosoft Internet Explorer 6.0以降またはFirefox 1.0以降、Macintosh®の場合はSafari 1.0以降を推奨いたします。

補足

- どのウェブブラウザの場合も、JavaScriptおよびクッキーを有効にして使用してください。
- SafariでJavaScriptを有効にするには、1.2以降にアップグレードすることを推奨いたします。
- 他のウェブブラウザを使用する場合は、HTTP 1.0およびHTTP 2.0と互換性があることを確認してください。

IPアドレスの自動設定機能（APIPA）が、IPアドレスを169.254.1.0から169.254.254.255の範囲で自動的に割り当てます。
お買い上げ時にAPIPAは有効になっていますが、無効にするときはP.29を参照してください。
APIPAが無効になっているときは、本製品の初期設定のIPアドレスは192.0.0.192です。変更するときには操作パネル、ウェブブラウザまたはBRAdmin LightやBRAdmin Professionalを使用してください。
BRAdmin Professionalは、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））よりダウンロードできます。

ウェブブラウザを使用して、次の情報を本製品から取得することができます。
1. 本製品のステータス情報
2. 本製品のセットアップ情報の設定と変更
3. 電話帳登録と変更（ウェブブラウザからは漢字登録が可能です。）
4. ネットワーク設定情報と変更
5. 本製品とネットワークのバージョン情報

● 条件

- 本製品とコンピュータのTCP/IP設定が完了していること。

● 設定の流れ

1. TCP/IPプロトコルによってコンピュータがネットワーク接続されていることを確認します。
2. ウェブブラウザを起動し、本製品のIPアドレスまたはノード名（NetBIOS名）を入力します。

ウェブブラウザを使用して本製品にアクセスする方法

ウェブブラウザを使用して本製品にアクセスする方法

1 ウェブブラウザのアドレス入力欄に、http://IP アドレス を入力する



［IP アドレス］はご使用になる本製品の IP アドレスです。

例）本製品の IP アドレスが 192.168.1.3 の場合
　ウェブブラウザに http://192.168.1.3 と入力します。

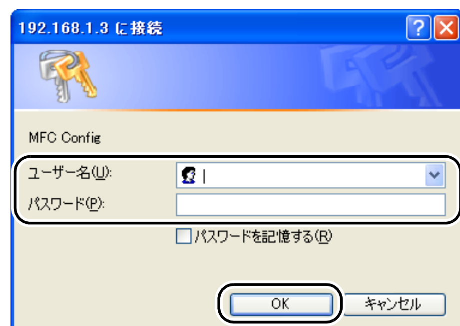
- 本製品のIPアドレスの確認は、P.24 を参照してください。
- Windows®のドメイン/ワークグループ環境の場合は、ノード名（NetBIOS名）を使用することもできます。
- DNSを使用している場合は、DNS名を入力します。

2 目的の管理機能へのリンクをクリックする

ネットワークの設定を表示または変更する場合は、［ネットワーク設定］をクリックします。



3 ［ユーザー名］と［パスワード］を入力し、［OK］をクリックする



補足
お買い上げ時のユーザー名は“admin”で、パスワードは“access”です。

4 必要に応じて設定を変更してください。

補足

- プロトコル設定を変更した場合は、変更内容を有効にするため［OK］をクリックして、本製品を再起動してください。
- hosts ファイルを編集した場合や、または DNS サーバを使用している場合は、IP アドレスではなく、本製品に割り当てた名前を入力します。本製品は、TCP/IPおよびNetBIOSをサポートしているため、本製品のNetBIOS名を入力することもできます。NetBIOS名は、LAN設定内容リストで確認できます。LAN設定内容リストを印刷するには、P.33を参照してください。NetBIOS 名は、ノード名の最初の 15 文字が割り当てられます。お買い上げ時のNetBIOS名は、有線LANの場合は"BRNxxxxxxxxxxxx"です。
- Mac OS® X ユーザーの方は、ステータスモニタの本製品アイコンをクリックしてウェブブラウザを起動することで、本製品にアクセスすることができます。
  詳しくは「画面で見るマニュアル（HTML形式）」を参照してください。

パスワードについて

ウェブブラウザでは、2段階のパスワードによる管理が可能です。一般ユーザーで管理できるのは「基本設定」「ファクス設定」「コピー設定」です。

一般ユーザー

ユーザー名：user
パスワード：access

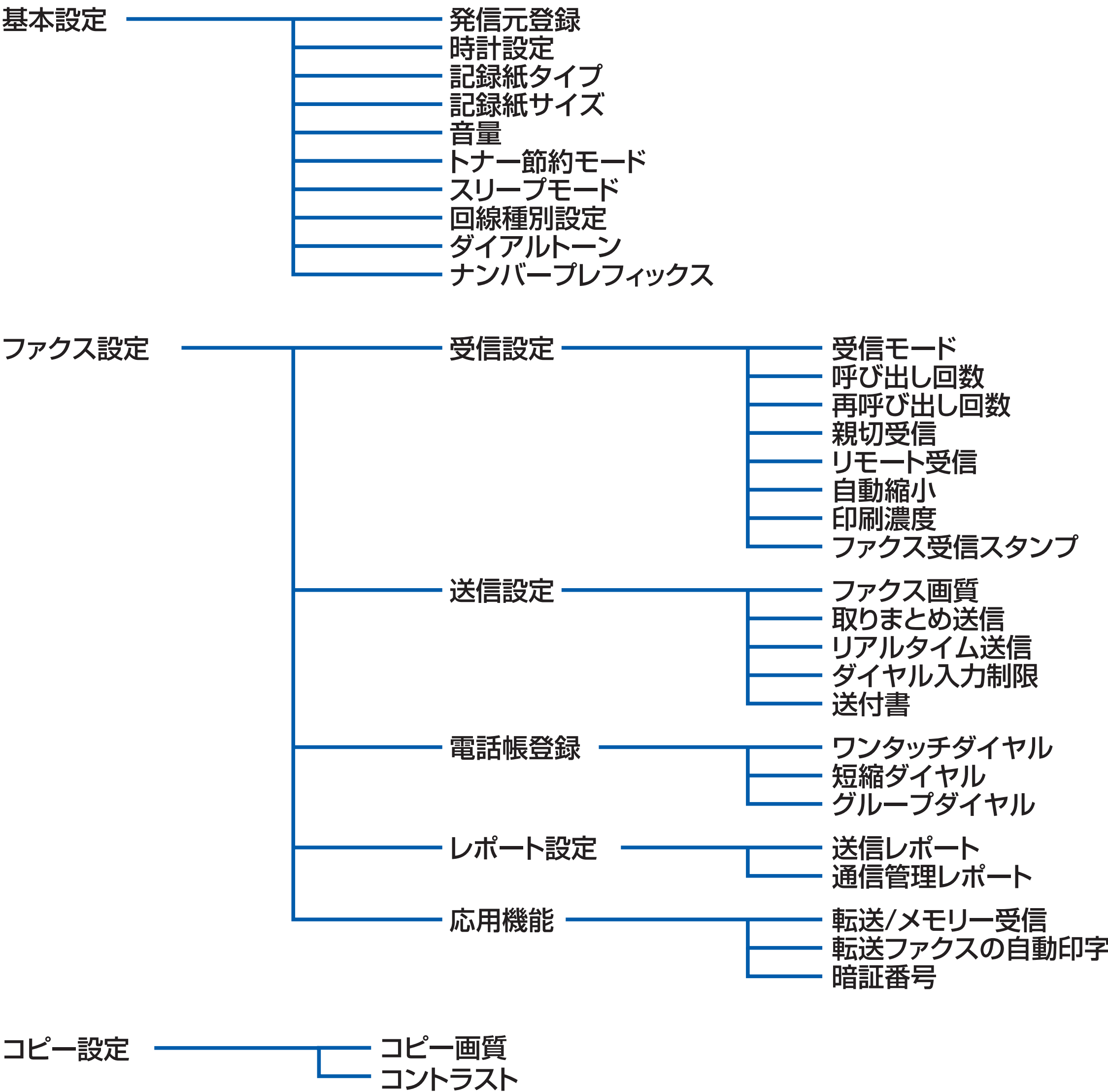
また、ネットワーク管理者用のパスワード管理では、全ての機能を管理できます。

管理者

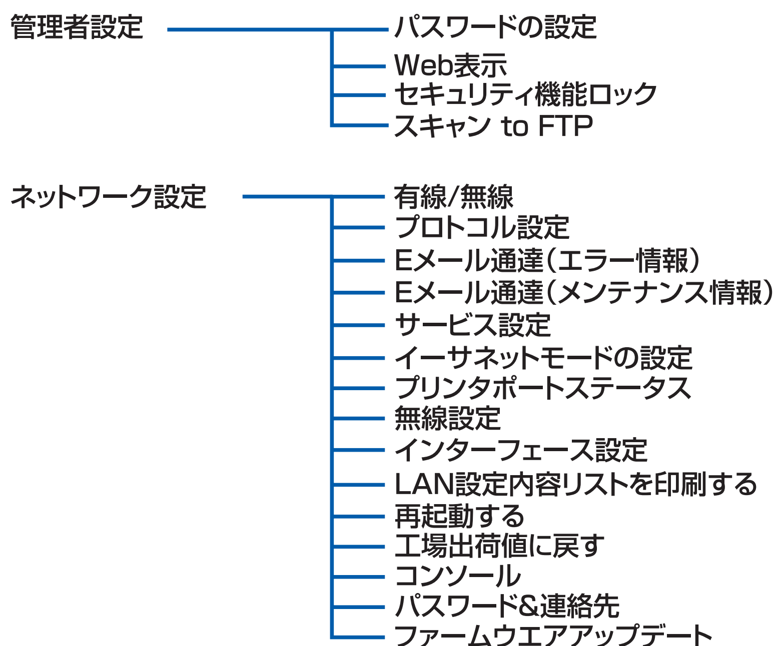
ユーザー名：admin
パスワード：access

ウェブブラウザを使用して本製品を設定する

一般ユーザーパスワードで管理できる項目は、以下の項目です。
なお、管理者用のパスワードではすべての項目を管理できます。



次の項目は、管理者用のパスワードでなければ管理できません。



Eメール通達機能について

E メール通達機能では、あらかじめ登録しておいたネットワーク管理者に、本製品の状態やトラブルが起きたときにその内容をEメールでお知らせすることができます。
例えば、トナー切れや紙づまりが起きたときなどに、登録しておいたメールアドレスにお知らせメールが届きます。

E メール通達機能を利用するには、メールアドレスとSMTP サーバの設定が必要です。使用している環境に応じて設定してください。設定はウェブブラウザP.38またはBRAdmin ProfessionalP.46をお使いください。

ユーザー認証を必要とするSMTP サーバを経由して、E メール通達機能を使用するには、「POP before SMTP」または「SMTP-AUTH」の認証方法を使用する必要があります。これらの方法は、無許可のユーザーがメールサーバに不正アクセスするのを防ぐものです。ウェブブラウザおよびBRAdmin Professionalを使用して設定することができます。

補足

POP3/SMTP認証の設定をEメールサーバのいずれかに合わせせる必要があります。使用前の設定については、ネットワーク管理者またはインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。

BRAdmin Lightで設定する

BRAdmin Lightのインストール

BRAdmin Lightは、ネットワークに接続されたブラザー製品を設定するユーティリティソフトです。
ネットワーク上のブラザー製品の検索やステータス表示、IPアドレスなどのネットワークの基本設定が行えます。
Mac OS® Xを使用している場合は、ドライバをインストールするとBRAdmin Lightも同時にインストールされます。

補足

- TCP/IP ネットワークで接続された本製品を自動的に検索し、IP アドレスなどのネットワーク設定を変更できるので、ネットワーク管理が簡単に行えるようになります。
- BRAdmin Lightは、Windows® 2000/XP/Windows Vista®、Windows Server® 2003およびMac OS® X 10.2.4 以降に対応しています。
- さらに高度なプリンタ管理を必要とされる場合は、BRAdmin Professional （Windows® 版のみ）をご利用ください。BRAdmin Professional は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））よりダウンロードしてご使用ください。

BRAdmin Light（Windows®版）をインストールする

1 付属の CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブにセットする

2 「その他ソフトウェアとユーティリティ」をクリックする



3 「BRAdmin Light」をクリックし、画面の指示にしたがってインストールする



補足

- Windows® XP/Windows Vista® で、「インターネット接続ファイアウォール」(Windows ファイアウォール）を有効にしている場合は、BRAdmin Light の「稼動中のデバイスの検索」機能が利用できません。利用する場合は、一時的に無効に設定してください。詳しい説明は、P.134 を参照してください。
- アンチウィルスソフトのファイアウォール機能が設定されている場合、BRAdmin Lightの「稼動中のデバイスの検索」機能が利用できません。利用する場合は、一時的に無効にしてください。

本書の使い方・目次
ネットワークで使う前に
ネットワークの設定
無線LANの設定
Windows環境で使う
Macintosh環境で使う
トラブルシューティング
付録

ネットワークインターフェースの設定

TCP/IPを利用して印刷するには、本製品にIPアドレスを割り当てる必要があります。

使用するコンピュータと同じネットワーク上に本製品が接続されている場合は、IP アドレスとサブネットマスクを設定します。コンピュータと本製品の間にルータが接続されている場合は、さらに「ゲートウェイ」のアドレスも設定します。

補足

ゲートウェイの設定
ルータはネットワークとネットワークを中継する装置です。異なるネットワーク間の中継地点で送信されるデータを正しく目的の場所に届ける働きをしています。このルータが持つIPアドレスをゲートウェイのアドレスとして設定します。ルータのIPアドレスはネットワーク管理者に問い合わせるか、ルータの取扱説明書をご覧ください。

IPアドレスは以下の方法で割り当てます。

- IPアドレス配布サーバを利用している場合
  本製品は各種の IP アドレス自動設定機能に対応しています。DHCP、BOOTP、RARP などの IP アドレス配布サーバを利用している場合は、本製品が起動したときに自動的に IP アドレスが割り当てられます。

- IPアドレス配布サーバを利用していない場合
  DHCP、BOOTP、RARP などの IP アドレス配布サーバを利用していない場合は、APIPA機能により、本製品が自動的に IP アドレスを割り当てることができます。ただし、お使いのネットワーク環境のIP アドレスの設定規則に適さない場合は、BRAdmin Light やBRAdminProfessional を使用して本製品の IP アドレスを設定してください。

補足

お買い上げ時のIPアドレス

●IPアドレス配布サーバを利用していない場合、お買い上げ時の設定は以下のとおりです。

- IPアドレス：169.254.xxx.xxx（APIPA機能による自動割当）
- パスワード：access

現在の設定値を調べるときは、「LAN設定内容リスト」を印刷します。詳しくはP.33を参照してください。

●BRAdmin Professional は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））よりダウンロードしてご使用ください。

Windows®版で設定する

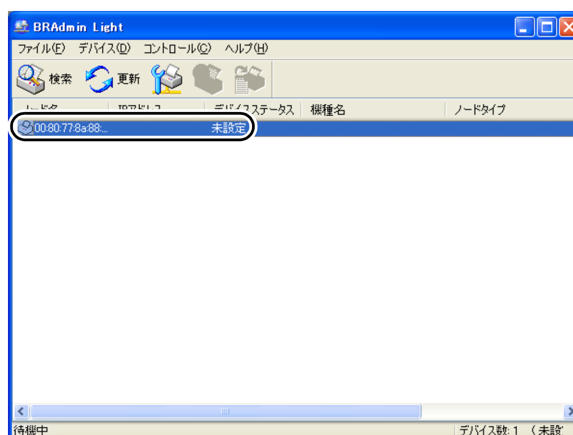
1 本製品とコンピュータをネットワークに接続した状態で、BRAdmin Light を起動する

新しいデバイスを自動的に検索します。

注意

ネットワークインターフェースがすでに設定されている場合やIPアドレスの自動設定機能によりIPアドレスが割り当て済みの場合には、ウィンドウの右側に本製品のネットワークインターフェースが表示されます。

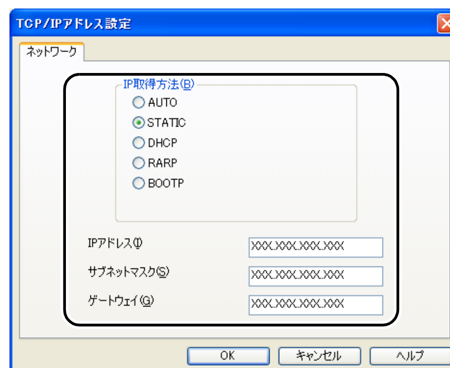
2 ［デバイスステータス］が「未設定」となっている本製品をダブルクリックする



補足

現在設定されているノード名やMACアドレスを調べるときは、「LAN設定内容リスト」を印刷します。
詳しくは P.33 を参照してください。
お買い上げ時のノード名は、有線LANの場合は“BRNxxxxxxxxxxxx”です。

3 「IP 取得方法」から［STATIC］を選択し、［IP アドレス］［サブネットマスク］［ゲートウェイ］を入力する



4 ［OK］をクリックする

本製品に IP アドレスが正しく設定されると、ウィンドウにノード名およびプリンタ名が表示されます。

補足

BRAdmin Lightを使用せずにIPアドレスを設定するときは以下の方法でもIPアドレスの設定ができます。

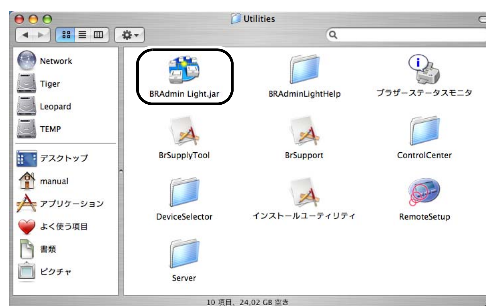
- 操作パネルで設定する場合は P.23 を参照してください。
- DHCP、RARP、BOOTPを使用する場合は P.23 P.145 を参照してください。

Mac OS® X（10.2.4以降）版で設定する

BRAdmin Lightは、ドライバをインストールすると自動的にインストールされます。

1 デスクトップ上の［Macintosh HD］から、［ライブラリ］－［Printers］－［Brother］－［Utilities］－［BRAdmin Light.jar］の順に選択する

BRAdmin Light が起動し、新しいデバイスを自動的に検索します。



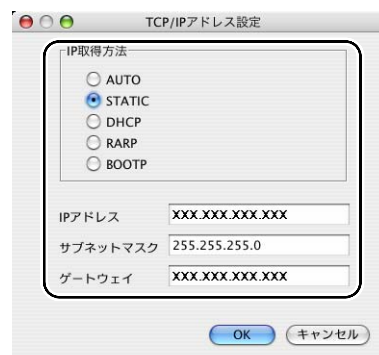
2 新しいデバイスをダブルクリックする



補足

現在設定されているノード名やMACアドレスを調べるときは、「LAN設定内容リスト」を印刷します。
詳しくはP.33を参照してください。
お買い上げ時のノード名は、有線LANの場合は“BRNxxxxxxxxxxxx”です。

3 「IP 取得方法」から［STATIC］を選択し、［IP アドレス］［サブネットマスク］［ゲートウェイ］を入力する



4 ［OK］をクリックする

アドレス情報が本製品に保存されます。

ネットワークリモートセットアップで管理する

ネットワークリモートセットアップ機能とは、本製品の設定をネットワークに接続しているパソコンから変更したり、本製品の電話帳を編集したりできます。

Windows®で設定する（Windows Server® 2003以外）

リモートセットアップを起動する



［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［MFC-7840W LAN］－［リモートセットアップ］の順に選択する

本製品への接続を開始し、設定内容をダウンロードします。ダウンロードが終わると、リモートセットアップのダイアログボックスが表示されます。
リモートセットアップの使い方、変更できる設定については、「画面で見るマニュアル（HTML 形式）」の「リモートセットアップ」を参照してください。

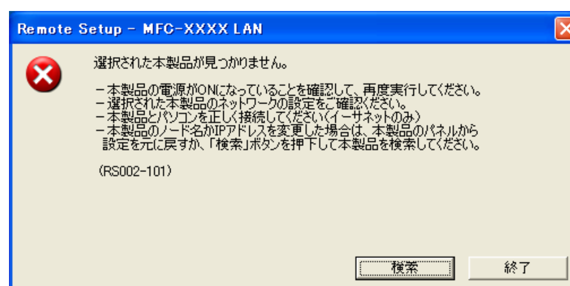
補足

BRAdmin Lightでパスワードを設定している場合は、ネットワークリモートセットアップの起動時に、パスワードを入力する必要があります。（お買い上げ時のパスワードは“access”です。）

本製品との接続に失敗した場合



エラーメッセージの［検索］をクリックする





表示される機器の一覧から、設定を変更する機器を選択し、［OK］をクリックする

選択した機器への接続を開始します。
再度機器を検索する場合は、［検索］をクリックしてください。



補足

表示される一覧に、接続先の機器が表示されない場合
［手動設定］をクリックして表示されるダイアログボックスで、接続先のIPアドレスまたはノード名を入力して設定してください。

Macintosh®で設定する

リモートセットアップを起動する

1 **[Macintosh HD] － [ライブラリ] － [Printers] － [Brother] － [Utilities] から [Remote Setup] アイコンをダブルクリックする**

本製品への接続を開始し、設定内容をダウンロードします。ダウンロードが終わると、リモートセットアップの画面が表示されます。

詳細な説明については「画面で見るマニュアル（HTML 形式）」の「リモートセットアップ」を参照してください。

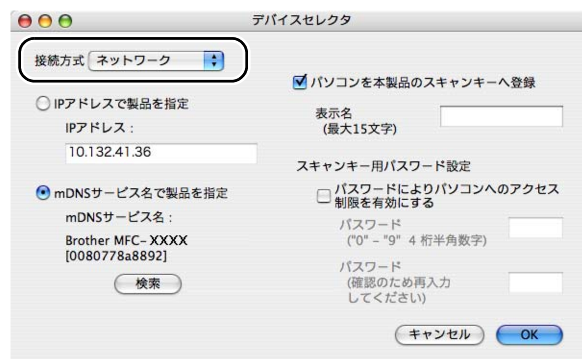
補足

ネットワークリモートセットアップの起動時に、パスワードを入力する必要があります。
（お買い上げ時のパスワードは“access”です。）

本製品との接続に失敗した場合

1 **[Macintosh HD] － [ライブラリ] － [Printers] － [Brother] － [Utilities] － [DeviceSelector] の [デバイスセレクタ] をダブルクリックする**

2 **接続方式から [ネットワーク] を選択する**



3 **[検索] をクリックする**

4 **表示される機器の一覧から、接続する機器を選択し、[OK] をクリックする**

選択した機器への接続を開始します。
再度機器を検索する場合は、[検索] をクリックしてください。

BRAdmin Professionalを使って安全に管理する（Windows®のみ）

BRAdmin Professionalを使ってネットワークプリンタを安全に管理するには、次の点に従ってください。

- BRAdmin Professionalの最新バージョンをご使用されることをおすすめします。
  BRAdmin Professional は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））からダウンロードできます。旧バージョンのBRAdmin Professionalを使ってブラザー機器を管理すると、ユーザー認証においてセキュリティ上安全ではありません。
- 旧バージョン※1 の BRAdmin からご使用のプリンタへアクセスすることを避けたい場合は、ウェブブラウザを使ってプロトコル設定画面の「SNMP詳細設定」から、旧バージョン※1のBRAdmin からのアクセスを無効にする必要があります。「ウェブブラウザで管理する」P.34を参照してください。
- Telnet、FTP、TFTP　を無効にしてください。これらのプロトコルを使って機器にアクセスすると、セキュリティ上安全ではありません。
- 従来の製品※2 と新しい製品（NC-6600h または NC-7400w）の混在したグループを BRAdmin Professional で管理している場合は、グループごとに異なるパスワードを使うことをおすすめします。

※1　Ver. 2.80以前のBRAdmin Professional、Ver. 1.10以前のMacintosh®用BRAdmin Light

※2　NC-2000シリーズ、NC-2100p、NC-3100h、NC-3100s、NC-4100h、NC-5100h、NC-5200h、NC-6100h、NC-6200h、NC-6300h、NC-6400h、NC-8000、NC-100h、NC-110h、NC-120w、NC-130h、CN-140w、NC-8100h、NC-9100h、NC-7100w、NC-7200w、NC-2200w

3章

無線LANの設定

無線LAN設定について

概要

本製品を無線LANに接続して使用する場合は、かんたん設置ガイドまたは「操作パネルから手動で無線LAN設定をする」P.56に記載されている操作パネルの「LAN」設定メニューから無線接続ウィザードを使用する方法をおすすめします。本製品をお使いの無線LANに簡単に接続することができます。
無線LAN設定とその構成方法などについてはこの章の各項目を参照してください。
TCP/IPの設定については「ネットワークインターフェースの設定」P.41を参照してください。
ネットワーク設定ソフトウェアおよびドライバのインストールに関しては、「Windows®環境で使う」の「ネットワークプリンタとして使う」P.108または「Macintosh®環境で使う」の「ネットワークプリンタとして使う」P.123を参照してください。

注意

■本製品を無線LANアクセスポイント（または無線LAN対応のパソコン）の近くに設置してください。

■本製品の近くに、微弱な電波を発する電気製品（特に電子レンジやデジタルコードレス電話）を置かないでください。

■本製品と無線 LAN アクセスポイントの間に、金属、アルミサッシ、鉄筋コンクリート壁があると、接続しにくくなる場合があります。

■環境によっては、有線 LAN 接続や USB 接続と比べて、通信速度が劣る場合があります。写真などの大きなデータを印刷する場合は、有線LANまたはUSB接続で印刷することをおすすめします。

■本製品は有線 LAN と無線 LAN の両方で使用できますが、同時に使用することはできません。どちらか一方を選択する必要があります。

無線LANの用語

無線LANを構成するには、お使いのコンピュータを既存の無線LAN設定に合わせます。ここでは、無線LANの構成に役立つ用語と概念を説明します。

SSID（ネットワーク名）とチャンネル

無線LANの接続先を指定するにはSSIDとチャンネルを設定する必要があります。

● SSID

それぞれの無線LANでは独自のSSIDを持っています。SSIDは無線LANアクセスポイントまたはアドホックモードのネットワーク機器に割り当てられていますので、接続する予定のネットワークの無線LANアクセスポイントまたはアドホックモードのネットワーク機器と同じSSIDに設定してください。

● チャンネル

無線LANではチャンネルを使用します。IEEE802.11 b では14チャンネル、IEEE802.11 g では13チャンネルまで使用できますが、近所で無線LANアクセスポイントが使用されている場合、電波干渉を生じさせないために使用するチャンネル間を5チャンネル離して設定するのが理想的です。

認証方式と暗号化方式について

有線LANとは異なり、通信範囲が物理的に限られていない無線LAN環境下では、セキュリティに関する設定を行い、傍受や不正アクセスを未然に防ぐ必要があります。セキュリティに関する設定には、認証方式（ネットワークにアクセスをしようとしている機器にアクセス権があるかどうかを判断する方法）と暗号化方式（データを暗号化することにより第三者による傍受を防ぐ方法）の設定があります。
本製品を無線LANに確実に接続するためには、これらの設定を正しく行う必要があります。
ここでは、本製品がサポートする認証方式および暗号化方式を紹介します。

● 認証方式

本製品がサポートする認証方式は次の通りです。

- オープンシステム：
  認証を行わず、すべてのアクセスを許可します。
- 共有キー：
  あらかじめ秘密のネットワークキーを設定しておいて、同じキーを使用している機器にのみアクセスを許可します。
  本製品では共有キーとしてWEP-Keyを使用しています。
- WRA-PSK/WPA2-PSK：
  定期的に変更されるネットワークキーを使用して認証を行います。高いセキュリティを実現できます。WRA-PSK/WPA2-PSKによる認証を使用する場合には、接続する相手の機器もWRA-PSK/WPA2-PSKに対応している必要があります。
  WPA2-PSKは、WPA-PSK方式よりセキュリティの高い認証方式になっています。
- LEAP：
  Cisco LEAP（ライト拡張認識プロテクト）は、認証用にユーザー IDとパスワードを使用します。

● 暗号化方式

本製品は下記の暗号化方式をサポートしています。

- なし：　暗号化を行いません。
- WEP：　Wired Equivalency Protocolの略。無線LANの暗号化技術です。
  無線LANでの通信は傍受（内容を盗み見られること）が容易なため、送信されるデータを暗号化して傍受者に内容を知られないようにすることで、有線LANでの通信と同様の安全性を持たせます。
- TKIP：　Temporal Key Integrity protocolの略。暗号キーの更新も含めて、重要データの暗号化を強化します。
  無線LANのセキュリティ保護に使用される次世代のWEPで、WEPの弱点を修正しています。
- AES：　Advanced Encryption Standardの略。無線LANのプライバシー保護の新しい方法です。
  米国政府の次世代標準暗号化方式で、TKIPより強力な暗号化方法を提供します。
- CKIP：　Cisco Key Integrity Protocolの略。Cisco 社独自のセキュリティプロトコルです。
  キー メッセージ整合性チェックとメッセージ シーケンス番号を使用して、インフラストラクチャモードでのセキュリティを強化しています。
  CKIPはCisco版のTKIPです。

暗号化キー（ネットワークキー）

本製品で使用する暗号化方式において、設定する暗号化キーは次の通りです。

- **WEP暗号化方式**

  WEP暗号化キーは次の規定に従い、64bit または128bit キーに対応する値をASCII 文字か16 進数フォーマットで入力します。
  - 64（40）bit　ASCII 文字：半角5 文字で入力します。
    例）"Hello"（大文字と小文字は区別されます）
  - 64（40）bit　16 進数：10 桁の16 進数で半角入力します。
    例）"71f2234aba"
  - 128（104）bit　ASCII 文字：半角13 文字で入力します。
    例）"Wirelesscomms"（大文字と小文字は区別されます）
  - 128（104）bit　16 進数：26 桁の16 進数で半角入力します。
    例）"71f2234ab56cd709e5412aa3ba"
- **TKIP/AES暗号化方式**

  PSK（事前共有キー）をASCII文字/半角8～63文字以内で入力します。
  TKIPやAESの暗号キーは、PSK（事前共有キー）などを元に生成され、定期的に更新されます。
- **CKIP暗号化方式**

  LEAP認証用で使用するIDには64文字以内、パスワードには32文字以内のASCII文字を半角で入力します。
  CKIPの暗号化キーは、IDとパスワードなどを元に生成され、定期的に更新されます。

本書の用語について

本書では、無線LAN に関する用語は、社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）発行の「無線LAN のセキュリティに関するガイドライン（改訂版）」で推奨されている統一用語を使用しています。

主な推奨用語	各メーカーで使用されている用語
SSID	ネットワーク名、ESS-ID、ESSID
アドホックモード	ピアツーピア通信、無線LANパソコン通信
インフラストラクチャモード	アクセスポイント通信、アクセスポイント経由通信
キーインデックス	WEPキー番号、キー番号
共有キー認証	シェアードキー認証
無線LAN	ワイヤレスLAN
無線LAN アクセスポイント	無線LANルータ、ワイヤレス・ブロードバンドルータ
無線LAN端末	無線LAN子機、ワイヤレスステーション

無線LAN設定の流れ

インフラストラクチャモードの場合

1 ネットワーク環境を確認します。P.53

インフラストラクチャモード
無線LANアクセスポイントとコンピュータが接続されている

または

アドホックモード P.52
無線LANアクセスポイントなしで無線通信可能なコンピュータが接続されている

2 無線 LAN の設定方法を確認します。P.54

- 操作パネルから無線接続ウィザードを使用（推奨）
- 無線LANアクセスポイントの簡単設定を使用
- WPS※1のPIN方式を使用（※1 Wi-Fi Protected Setup™）
-  ブラザーインストーラを使用
  - 一時的にLANケーブルを使用
  - 無線LANアクセスポイントの簡単設定を使用

3 本製品の無線 LAN 設定をします。

本製品の無線LANを設定する

操作パネルから無線接続ウィザード	無線LANアクセスポイントの簡単設定	WPSのPIN方式	一時的にLANケーブルを使用	無線LANアクセスポイントの簡単設定（インストーラ）
P.56	P.58	P.60	Windows® P.62 Macintosh® P.78	Windows® P.68 Macintosh® P.83

ドライバおよびソフトウェアをインストールする（かんたん設置ガイド参照）

OK! **無線 LAN 設定とドライバおよびソフトウェアのインストールが完了です。**

本書の使い方・目次
ネットワークで使う前に
ネットワークの設定
無線LANの設定
Windows環境で使う
Macintosh環境で使う
トラブルシューティング
付録

アドホックモードの場合

1 ネットワーク環境を確認します。P.53

アドホックモード 無線LANアクセスポイントなしで無線通信可能なコンピュータが接続されている	または	インフラストラクチャモードP.51 無線LANアクセスポイントとコンピュータが接続されている

2 無線 LAN の設定方法を確認します。P.54

操作パネルから無線接続ウィザードを使用（推奨）	 ブラザーインストーラを使用

3 本製品の無線 LAN 設定をします。

本製品の無線LANを設定する	
P.56	Windows® P.71 Macintosh® P.86

ドライバおよびソフトウェアをインストールする（かんたん設置ガイド参照）

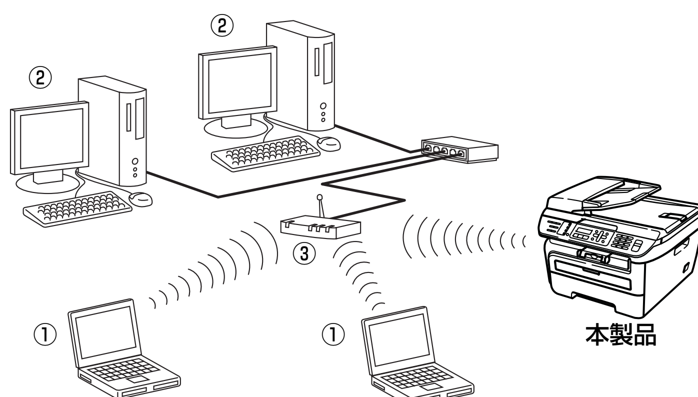
OK! 無線 LAN 設定とドライバおよびソフトウェアのインストールが完了です。

本書の使い方・目次
ネットワークで使う前に
ネットワークの設定
無線LANの設定
Windows環境で使う
Macintosh環境で使う
トラブルシューティング
付録

ネットワーク環境を確認する

ネットワーク上の無線LANアクセスポイントとコンピュータが接続されている場合（インフラストラクチャモード）

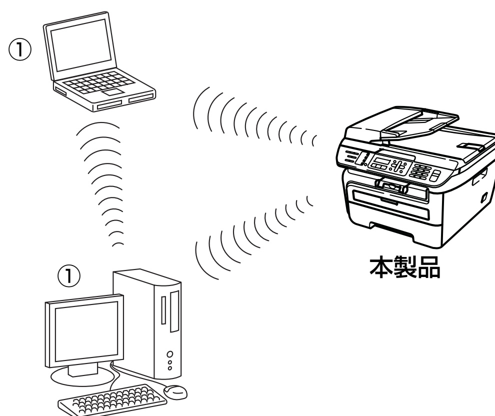
インフラストラクチャモードのネットワークでは、ネットワークの中心に無線LAN アクセスポイントが設置されています。無線LANアクセスポイントは、有線LANへ橋渡しをする他にゲートウェイとしても機能します。本製品をインフラストラクチャモードに設定している場合は、すべての印刷ジョブを無線LANアクセスポイントを経由して受け取ります。



①無線LANで無線LANアクセスポイントに接続されているコンピュータ
②有線LANで無線LANアクセスポイントに接続されているコンピュータ
③無線LANアクセスポイント

ネットワーク上に無線LANアクセスポイントがなく、無線通信可能なコンピュータが接続されている場合（アドホックモード）

アドホックモードのネットワーク（ピアツーピアネットワークともいいます）では、無線LANアクセスポイントが存在しません。それぞれの無線LAN機器は個別に直接通信します。本製品をアドホックモードに設定している場合は、印刷データを送信するコンピュータからすべての印刷ジョブを直接受け取ります。



①無線LAN対応コンピュータ

無線LAN設定の方法を確認する

本製品の無線LAN設定をする場合は、次の4つの方法があります。

- 本製品の操作パネルから手動で無線LAN設定をする（推奨）
- 無線LANアクセスポイントの簡単設定（AOSS™、WPS※1のPBC※2方式)、SecureEasySetup™）を使用する
- WPS※1のPIN※3方式を使用する
- 本製品に付属のCD-ROM内のブラザーインストーラを使用する

※1　Wi-Fi Protected Setup™
※2　Push Button Configuration
※3　Personal Identification Number（個人暗証番号）

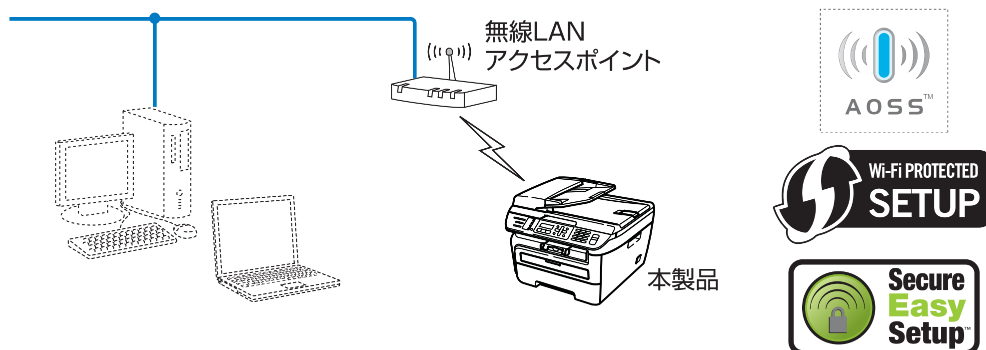
設定手順はご使用のネットワーク環境によって異なります。

操作パネルから手動で無線LAN設定をする

本製品の無線LAN設定をする場合は、操作パネルから無線接続ウィザードを使用することをおすすめします。
インストールを始める前にお使いの無線 LAN 環境を確認してください。「操作パネルから手動で無線 LAN 設定をする」P.56 を参照してください。

操作パネルと無線LANアクセスポイントの簡単設定を使用する（インフラストラクチャモードのみ）

本製品を接続する無線LANアクセスポイントがAOSS™、WPS（PBC※1方式）、SecureEasySetup™のいずれかに対応している場合は、操作パネルから無線LANアクセスポイントの簡単設定を使用して、自動で本製品の無線LAN設定ができます。



※1　Push Button Configuration

WPS（Wi-Fi Protected Setup™）のPIN方式を使用する（インフラストラクチャモードのみ）

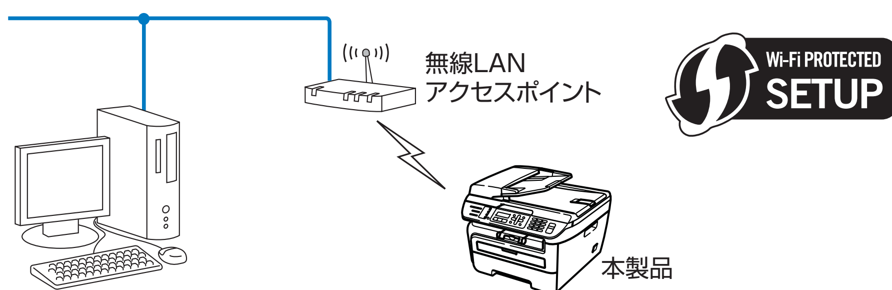
本製品を接続する無線LANアクセスポイントがWPSに対応している場合は、WPSのPIN※1方式を使用して本製品の無線LAN設定をすることもできます。

● 無線 LAN アクセスポイントをレジストラ※2として使用する場合の接続



※1　Personal Identification Number（個人暗証番号）
※2　レジストラとは無線LANの登録管理機器です。

● コンピュータからなど別の機器をレジストラ※1 として使用する場合の接続



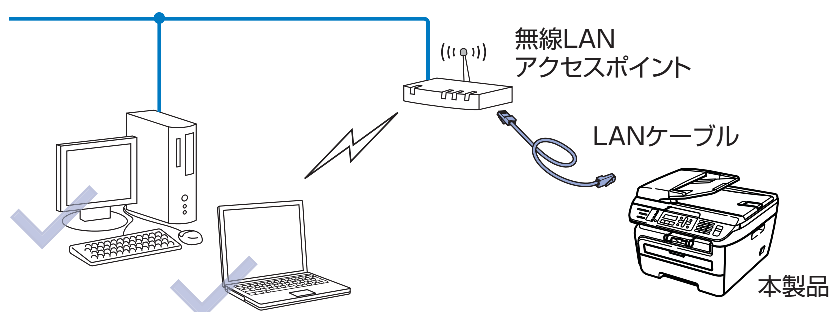
※1　レジストラとは無線LANの登録管理機器です。

ブラザーインストーラを使用する

付属のCD-ROM内のブラザーインストーラを使用して、本製品の無線LAN設定をすることもできます。このインストーラを使用すると、画面の指示に従って操作するだけで本製品を無線LANに簡単に接続します。インストールを始める前にお使いの無線LAN環境を確認してください。

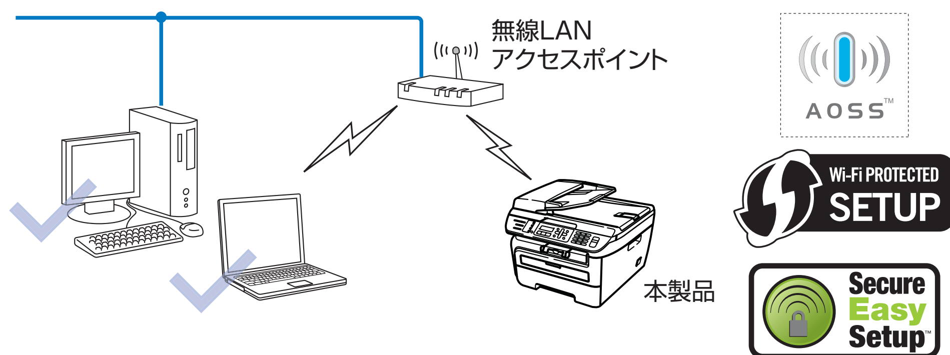
● LAN ケーブルを使用して手動で無線 LAN 設定をする（インフラストラクチャモードのみ）

無線LANアクセスポイントと本製品を一時的にLANケーブルを使用して接続し、本製品の無線LAN設定をします。
無線LANアクセスポイントと同じネットワーク上のコンピュータから本製品を遠隔設定することができます。



● 無線 LAN アクセスポイントの簡単設定を使用して自動で無線 LAN 設定をする（インフラストラクチャモードのみ）

本製品に接続する無線LANアクセスポイントがAOSS™、WPS（PBC※1方式）、SecureEasySetup™のいずれかに対応している場合に、無線LANアクセスポイントの簡単設定を使用して、本製品の無線LAN設定をします。



※1　Push Button Configuration

● 手動で無線 LAN 設定をする（アドホックモードのみ）

本製品に接続する無線LAN対応コンピュータのみを使用して、本製品の無線LAN設定をします。



操作パネルから手動で無線LAN設定をする

本製品の操作パネルからウィザード形式で、SSID、認証方式、暗号化方式、ネットワークキーを設定します。

注意

■本製品を無線 LAN に接続する場合は、インストール前にネットワーク管理者にお問い合わせいただき、無線 LAN の設定を確認してください。

■本製品の無線 LAN 設定が既に設定されている場合は、ネットワーク設定をリセットしてください。詳しくは、「LAN 設定の初期化」P.32 を参照してください。

補足

操作パネルの文字の入力方法については、「操作パネルから文字を入力する」P.94 を参照してください。

1 **電源コードが差し込まれていることを確認し、本製品の電源スイッチを ON にする**

2 **メニュー、5 JKL、2 ABC、2 ABC の順に押す**

▲または▼で選択してOKで決定することも可能です。

無線LAN
2. 無線接続ｳｨｻﾞｰﾄﾞ

3 **1 を押す**

2 ABC で設定メニューへ戻ります。

無線LAN有効 ?
1. ｵﾝ 2. ｵﾌ

補足

一度設定に失敗しネットワーク設定をリセットせずにやり直している場合など、無線LAN有効が「ｵﾝ」になっている場合は、このメッセージは表示されません。手順4へ進んでください。

SSID の検索が開始されます。

SSID検索中

4 **▲または▼で接続先の SSID を選択し、OKを押す**

SSIDを選択
XXXXXX

補足

接続先のSSID が表示されない場合は、以下の手順で設定してください。

（1）　▲または▼で<New SSID> を選択し、OKを押す

（2）　ダイヤルボタンで接続先のSSID を入力し、OKを押す

（3）　▲または▼で通信モードを選択し、OKを押す

「ｲﾝﾌﾗｽﾄﾗｸﾁｬ」または「ｱﾄﾞﾎｯｸ」のいずれかを選択します。

※「ｱﾄﾞﾎｯｸ」を選択した場合は、手順5に進みます。

本書の使い方・目次
ネットワークで使う前に
ネットワークの設定
無線LANの設定
Windows環境で使う
Macintosh環境で使う
トラブルシューティング
付録

5 **通信モードがインフラストラクチャの場合は、▲または▼で認証方式を選択し、OKを押す**

- オープンシステム認証の場合：手順6に進みます。
- 共有キー認証の場合：手順7に進みます。
- WPA/WPA2-PSKの場合：手順9に進みます。
- LEAPの場合：手順11に進みます。

認証方式
ｵｰﾌﾟﾝｼｽﾃﾑ認証　＊

6 **▲または▼で暗号化方式を選択し、OKを押す**

「なし」または「WEP」のいずれかを選択します。
「なし」を選択した場合は、手順 12 に進みます。

暗号化方式
なし　＊

7 **▲または▼で使用する WEP キーを選択し、OKを押す**

キーが「****************」と表示されている場合は、「1. 変更する 2.しない」と表示されるので、1 を押します。

WEPｷｰ設定
ｷｰ1：

ｷｰ1：****************
1. 変更する　2. しない

8 **暗号化キーを入力し、OKを押す**

手順 12 に進みます。

WEP：

9 **▲または▼で暗号化方式を選択し、OKを押す**

「TKIP」または「AES」のいずれかを選択します。

暗号化方式
TKIP　＊

10 **PSK（ネットワーク）を入力し、OKを押す**

手順 12 に進みます。

PSK(ﾈｯﾄﾜｰｸｷｰ)：

11 **ユーザー ID を入力する**

認証方式で「LEAP」を選択した場合に入力します。

ﾕｰｻﾞｰID：

12 **ユーザーパスワードを入力する**

認証方式で「LEAP」を選択した場合に入力します。

ﾕｰｻﾞｰﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ：

13 **1 を押す**

2 ABC を押すと、SSID の選択に戻ります。手順 3 からやり直してください。
本製品と接続先の機器（無線 LAN アクセスポイントなど）が無線で接続されます。
正常に接続されると、液晶ディスプレイに「接続しました」と表示されます。

設定を適用しますか?
1. する　2. しない

補足
接続できなかった場合は、ネットワーク設定をリセット P.32 し、手順2からやり直してください。

OK! **無線 LAN 設定は完了しました。**

続いて本製品に付属の CD-ROM から、本製品を動作させるために必要なドライバおよびソフトウェアをインストールします。
詳しくは、かんたん設置ガイドを参照してください。

操作パネルと無線LANアクセスポイントの簡単設定を使用する

無線LANアクセスポイントがAOSS™、WPS（Wi-Fi Protected Setup™）（PBC※1 方式）、SecureEasySetup™のいずれかに対応している場合は、コンピュータを使用しないで、簡単に本製品の無線LAN設定ができます。
操作パネルの「SES/WPS/AOSS」設定メニューから設定し、無線LANアクセスポイントが簡単設定方式のどのモード（AOSS™、WPSまたはSecureEasySetup™）を使用しているかを自動検出します。
無線LANアクセスポイントと本製品のボタンを押すと、無線LAN設定およびセキュリティ設定が行われます。無線LANアクセスポイントの簡単設定の操作手順については、無線LANアクセスポイントの取扱説明書を参照してください。
※1　Push Button Configuration

補足

AOSS™、WPSまたはSecureEasySetup™に対応している無線LANアクセスポイントには、次のマークが示されています。







注意

■本製品を無線LANに接続する場合は、インストール前にネットワーク管理者にお問い合わせいただき、無線LANの設定を確認してください。

■本製品の無線 LAN 設定が既に設定されている場合は、ネットワーク設定をリセットしてください。詳しくは、「LAN 設定の初期化」P.32 を参照してください。

1 **電源コードが差し込まれていることを確認し、本製品の電源スイッチをONにする**

2 **メニュー、5 JKL、2 ABC、3 DEF の順に押す**

```
無線LAN
3.SES/WPS/AOSS
```

▲ または ▼ で選択して OK で決定することも可能です。

3 **1 を押す**

```
無線LAN有効 ?
1.オン 2.オフ
```

2 ABC で設定メニューへ戻ります。

補足

一度設定に失敗しネットワーク設定をリセットせずにやり直している場合など、無線LAN有効が「オン」になっている場合は、このメッセージは表示されません。手順4へ進んでください。

4 **AOSS™、WPSまたはSecureEasySetup™に対応している無線LANアクセスポイントの自動検出を2分間行う**

```
無線接続中
```

5 **無線LANアクセスポイントを対応するモード（AOSS™、WPSまたはSecureEasySetup™）にする**

詳しくは、無線LANアクセスポイントに付属の取扱説明書を参照してください。

本書の使い方・目次
ネットワークで使う前に
ネットワークの設定
無線LANの設定
Windows環境で使う
Macintosh環境で使う
トラブルシューティング
付録

6 「接続しました」と表示されるまで待つ

無線 LAN アクセスポイントとの接続に成功すると、「接続しました」と表示されます。
これで本製品を無線 LAN で使用できます。

- 「アクセスポイント複数検出」と表示された場合は、無線LANアクセスポイントの複数検出を示しています。対応するモードが実行中の無線LANアクセスポイントを2つ以上検出しています。AOSS™またはWPSの無線LANアクセスポイントを1つにして、手順2からやり直してください。
- 「接続 失敗」と表示された場合は、本製品は無線LANアクセスポイントに正常に接続されていません。手順2からやり直してください。SecureEasySetup™で接続している場合は、無線LANアクセスポイントが複数ある可能性があります。無線LANアクセスポイントを1つにして、手順2からやり直してください。
- 「無線接続中」と表示された後「接続 失敗」と表示された場合は、本製品は無線LANアクセスポイントに正常に接続されていません。手順2からやり直してください。やり直しても同じメッセージが表示される場合は、ネットワーク設定をリセットしてP.32、手順2からやり直してください。

● 操作パネルの「SES/WPS/AOSS」メニューで表示されるメッセージ

メッセージ	状態	解決方法
無線接続中	• 無線LANアクセスポイントを検索中 • 無線LANアクセスポイントにアクセス中 • 無線LANアクセスポイントから設定をダウンロード中	―
AOSS接続中 WPS接続中 SES接続中	無線 LAN アクセスポイントに接続中	―
接続しました	接続成功	―
アクセスポイント複数検出	無線 LAN アクセスポイントを複数検出	AOSS™ または WPS の無線 LAN アクセスポイントを 1 つにして、手順 2 からやり直す
接続 失敗	接続失敗	• 手順2からやり直す • やり直しても同じメッセージが表示される場合は、ネットワーク設定をリセットして P.32 、手順2からやり直す
	「無線接続中」表示後に、このメッセージが表示された場合	
	無線 LAN アクセスポイントを複数検出	SecureEasySetup™ の無線 LAN アクセスポイントを 1 つにして、手順 2 からやり直す

OK! 無線 LAN 設定は完了しました。

続いて本製品に付属の CD-ROM から、本製品を動作させるために必要なドライバおよびソフトウェアをインストールします。
詳しくは、かんたん設置ガイドを参照してください。

本書の使い方・目次
ネットワークで使う前に
ネットワークの設定
無線LANの設定
Windows環境で使う
Macintosh環境で使う
トラブルシューティング
付録

WPS（Wi-Fi Protected Setup™）のPIN方式を使用する

無線LANアクセスポイントがWPS（Wi-Fi Protected Setup™）（PIN※1方式）に対応している場合は、PIN方式を利用して簡単に本製品の無線LAN設定ができます。PIN（個人暗証番号）方式とは、Wi-Fi アライアンスが開発した接続方法のひとつです。登録者（本製品）が作成するPINをレジストラ（無線LANの登録管理機器）に入力すれば、無線LAN設定およびセキュリティ設定が行われます。
無線LANアクセスポイントのWPSの操作手順については、無線LANアクセスポイントの取扱説明書を参照してください。
※1　Personal Identification Number（個人暗証番号）

補足

WPSに対応している無線LANアクセスポイントには、次のマークが示されています。



注意

■本製品を無線LANに接続する場合は、インストール前にネットワーク管理者にお問い合わせいただき、無線LANの設定を確認してください。

■本製品の無線 LAN 設定が既に設定されている場合は、ネットワーク設定をリセットしてください。詳しくは、本製品の無線LAN設定が既に設定されている場合は、ネットワーク設定をリセットしてください。詳しくは、「LAN設定の初期化」P.32 を参照してください。

1 電源コードが差し込まれていることを確認し、本製品の電源スイッチをONにする

2 メニュー、5 JKL、2 ABC、4 GHI の順に押す

▲または▼で選択してOKで決定することも可能です。

無線LAN
4.WPS(PIN方式)

3 1 を押す

2 ABC で設定メニューへ戻ります。

無線LAN有効 ?
1.ｵﾝ 2.ｵﾌ

補足

一度設定に失敗しネットワーク設定をリセットせずにやり直している場合など、無線LAN有効が「ｵﾝ」になっている場合は、このメッセージは表示されません。手順4へ進んでください。

4 本製品がWPSのPIN方式に切り替わり、8桁のPIN（個人暗証番号）が表示され、WPS（PIN方式）に対応している無線LANアクセスポイントを5分間自動検出する

WPS接続中
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ:XXXXXXXX

5 無線LANアクセスポイントと同じネットワーク上にあるコンピュータからウェブブラウザを起動する
ウェブブラウザの入力欄に http://access_point_ip_address/ を入力する

（access_point_ip_address は、レジストラ※1として使用される機器のIPアドレスです。）
※1　通常は無線LANアクセスポイントがレジストラです。

6 WPS 設定ページへ進み、手順４で表示された８桁の PIN（個人暗証番号）をレジストラに入力し、画面上の指示に従って操作します。

補足

●WPS 設定ページは、無線 LAN アクセスポイントのメーカーによって異なります。詳しくは、無線 LAN アクセスポイントに付属の取扱説明書を参照してください。

●Windows　Vista® のコンピュータをレジストラとして使用する場合は、あらかじめネットワークに登録しておく必要があります。詳しくは、無線LANアクセスポイントに付属の取扱説明書を参照してください。

（1）　［スタート］－［ネットワーク］の順にクリックします。
（2）　［無線デバイスを追加します］をクリックします。
（3）　本製品を選択し、［次へ］をクリックします。
（4）　手順3で表示されたPINを入力し、［次へ］をクリックします。
（5）　接続するネットワークを選択し、［次へ］をクリックします。
（6）　［閉じる］をクリックします。

7 「接続しました」と表示されるまで待つ

無線 LAN アクセスポイントとの接続に成功すると、「接続しました」と表示されます。
これで本製品を無線 LAN で使用できます。

•「接続 失敗」と表示された場合は、本製品は無線LANアクセスポイントに正常に接続されていません。手順2からやり直してください。やり直しても同じメッセージが表示される場合は、本製品のネットワーク設定をリセットP.32し、手順2からやり直してください。

OK! 無線 LAN 設定は完了しました。

続いて本製品に付属の CD-ROM から、本製品を動作させるために必要なドライバおよびソフトウェアをインストールします。
詳しくは、かんたん設置ガイドを参照してください。

ブラザーインストーラを使用する（Windows®）

本製品に付属のCD-ROM内に収録されているブラザーインストーラを使用して、ネットワーク環境に本製品を接続することができます。

補足

操作パネルから無線LAN設定をする（推奨）場合は、「操作パネルから手動で無線LAN設定をする」P.56または かんたん設置ガイドを参照してください。

注意

本製品を無線LANに接続する場合は、インストール前にネットワーク管理者にお問い合わせいただき、無線LANの設定を確認してください。

インフラストラクチャモードでの無線LAN設定

LANケーブルを使用して手動で無線LAN設定をする

注意

■本製品の無線 LAN 設定が既に設定されている場合は、ネットワーク設定をリセットしてください。詳しくは、「LAN 設定の初期化」P.32を参照してください。

■パーソナルファイアウォール（Windows®ファイアウォールなど）を有効にしている場合は、一時的にファイアウォール機能を無効にしてください。無線LANの設定が完了した後で、パーソナルファイアウォールを有効にしてください。

■設定にはLANケーブルが必要です。

■実行中のすべてのアプリケーションソフトを終了してから、行ってください。

1 **電源コードが差し込まれていることを確認し、本製品の電源スイッチを ON にする**

2 **コンピュータの電源を入れる**

管理者権限をもつユーザでログオンします。

3 **本製品に付属の CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブにセットする**

トップメニューが表示されます。

補足

画面が表示されないときは、「マイコンピュータ（コンピュータ）」からCD-ROMドライブをダブルクリックし、「start.exe」をダブルクリックしてください。

4 [その他ソフトウェアとユーティリティ] をクリックする



5 [無線 LAN 設定ウィザード] をクリックする



6 [手動設定インストール（推奨）] を選択し、[次へ] をクリックする

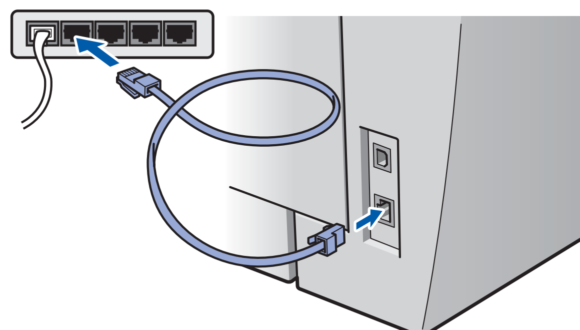


7 [LAN ケーブルを使用します（推奨）] を選択し、[次へ] をクリックする

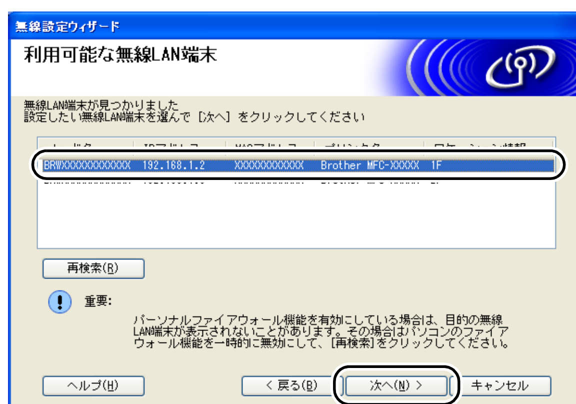


8 LAN ケーブルで本製品を無線 LAN アクセスポイントに接続し、［次へ］をクリックする





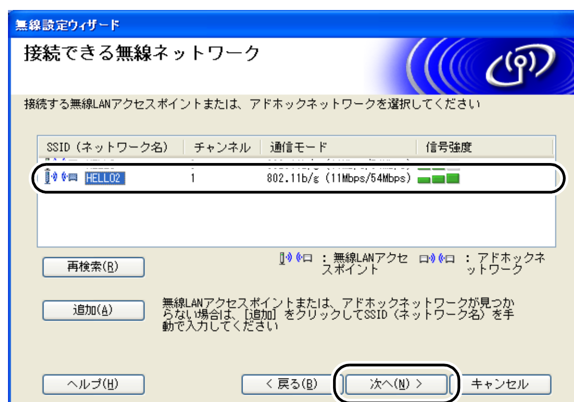
9 無線 LAN 端末が複数ある場合は、一覧から本製品を選択し、［次へ］をクリックする



補足

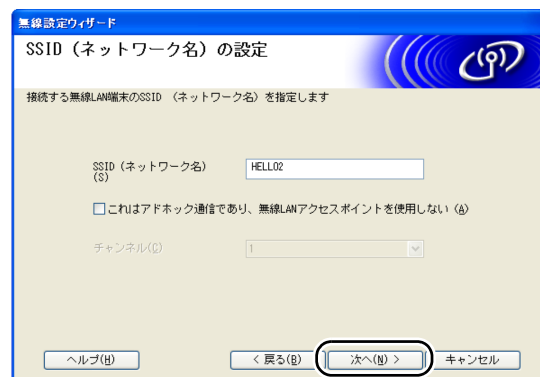
- お買い上げ時のノード名は、無線LANの場合は“BRWxxxxxxxxxxxx”です。
- 一覧が空白の場合は、無線 LAN アクセスポイントおよび本製品の電源スイッチが ON になっていることを確認し、［再検索］をクリックします。
- LAN 設定内容リストを印刷して本製品の IP アドレスとノード名を確認できます。詳しくは、「LAN 設定内容リストの出力」P.33 を参照してください。

10 無線 LAN アクセスポイントが複数ある場合は、一覧から本製品を接続する無線 LAN アクセスポイントを選択し、［次へ］をクリックする



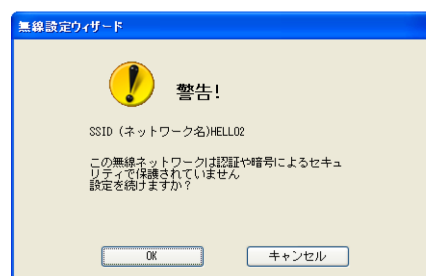
補足

- 本製品のお買い上げ時のSSIDは“SETUP”です。このSSIDは選択しないでください。
- 一覧が空白の場合は、無線 LAN アクセスポイントの電源スイッチが ON になっていること、SSID が割り当てられていることを確認します。さらに本製品と無線LANアクセスポイントが無線通信の範囲内に設置されていることを確認し、［再検索］をクリックします。
- SSIDを出力しないように無線LANアクセスポイントが設定されている場合は、無線LANアクセスポイントのSSIDが表示されません。その場合は、［追加］をクリックすると、手動で追加できます。画面上の指示に従って「SSID（ネットワーク名）」を入力し、［次へ］をクリックします。



注意

無線 LAN が認証や暗号化によってセキュリティで保護されていない場合は、右の画面が表示されます。
［キャンセル］をクリックしてインストールを中止し、無線 LAN アクセスポイントのセキュリティを設定することをおすすめします。セキュリティを設定しないで使用した場合、通信内容を盗み見られたり、ネットワークに不正に侵入される恐れがあります。
無線LANアクセスポイントのセキュリティ設定後に、再度インストールを進めてください。



11 本製品が接続する無線 LAN アクセスポイントに設定している認証方式、暗号化方式、ネットワークキーなどを設定し、［次へ］をクリックする

補足

- 複数のWEPキーを設定したいときは、［詳細］をクリックします。
- ネットワークの認証または暗号化設定が分からないときは、ネットワーク管理者に問い合わせてください。
- ネットワークキーが無線　LAN　アクセスポイントのネットワークキーと異なっていても、エラーは表示されません。

12 設定を確認し、［次へ］をクリックする

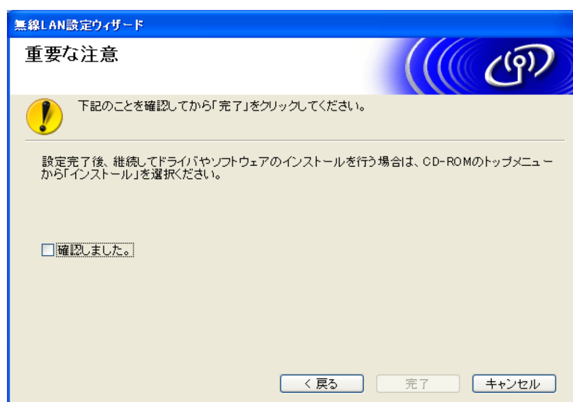
本製品に無線 LAN 設定の内容が送信されます。
［キャンセル］をクリックすると、設定は無効になります。

補足

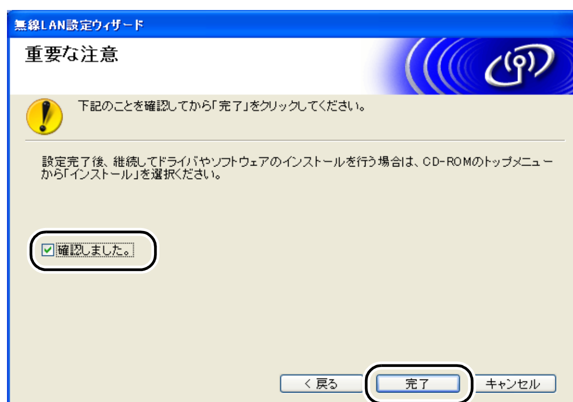
本製品のIPアドレスを変更する場合は、［IPアドレスの変更］をクリックして手動で設定してください。

13 無線 LAN アクセスポイントと本製品から接続している LAN ケーブルを外し、［次へ］をクリックする

14 右の画面が表示されたら、本製品の初期化が終了するまでしばらく待つ



15 ［確認しました］をチェックして、［完了］をクリックする



補足

無線LAN設定に失敗した場合は、ネットワーク設定をリセット P.32 し、再度設定してください。

OK! **無線 LAN 設定は完了しました。**

続いて本製品に付属の CD-ROM から、本製品を動作させるために必要なドライバおよびソフトウェアをインストールします。
詳しくは、かんたん設置ガイドを参照してください。

本書の使い方・目次
ネットワークで使う前に
ネットワークの設定
無線LANの設定
Windows環境で使う
Macintosh環境で使う
トラブルシューティング
付録

無線LANアクセスポイントの簡単設定を使用して自動で無線LAN設定をする

注意

■本製品の無線 LAN 設定が既に設定されている場合は、ネットワーク設定をリセットしてください。詳しくは、「LAN 設定の初期化」P.32 を参照してください。

■実行中のすべてのアプリケーションソフトを終了してから、行ってください。

1 **電源コードが差し込まれていることを確認し、本製品の電源スイッチを ON にする**

2 **メニュー、5 JKL、2 ABC、7 PQRS の順に押す**

▲または▼で選択して OK で決定することも可能です。

無線LAN
7. 無線LAN有効

3 **▲または▼を押して「オン」を選択する**

お買い上げ時は「オフ」に設定されています。

無線LAN有効
オン　＊

4 **OK を押す**

5 **コンピュータの電源を入れる**

管理者権限をもつユーザでログオンします。

6 **本製品に付属の CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブにセットする**

トップメニューが表示されます。

補足

画面が表示されないときは、「マイコンピュータ（コンピュータ）」からCD-ROMドライブをダブルクリックし、「start.exe」をダブルクリックしてください。

7 **［その他ソフトウェアとユーティリティ］をクリックする**



本書の使い方・目次
ネットワークで使う前に
ネットワークの設定
無線LANの設定
Windows環境で使う
Macintosh環境で使う
トラブルシューティング
付録

8 [無線 LAN 設定ウィザード］をクリックする



9 [自動設定インストール］を選択し、[次へ］をクリックする



10 画面の内容を確認し、[次へ］をクリックする



11 メニュー、5 JKL、2 ABC、3 DEF の順に押す

▲または▼で選択してOKで決定することも可能です。

無線LAN
3.SES/WPS/AOSS

12 AOSS™、WPS（Wi-Fi Protected Setup™）またはSecureEasySetup™に対応している無線 LAN アクセスポイントの自動検出を 2 分間行う

無線接続中

13 無線 LAN アクセスポイントを対応するモード（AOSS™、WPS または SecureEasySetup™）にする

詳しくは、無線 LAN アクセスポイントに付属の取扱説明書を参照してください。

14 「接続しました」と表示されるまで待つ

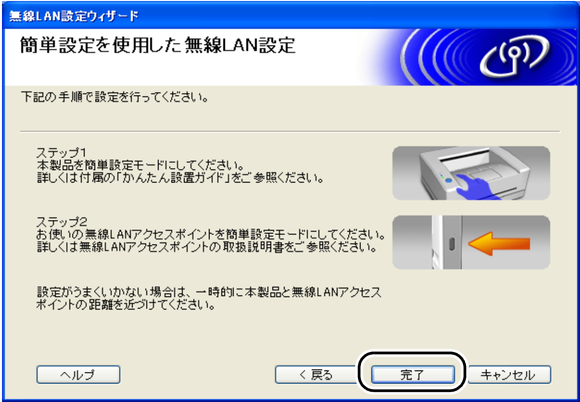
無線 LAN アクセスポイントとの接続に成功すると、「接続しました」と表示されます。
これで本製品を無線 LAN で使用できます。

- 「ｱｸｾｽﾎﾟｲﾝﾄ複数検出」と表示された場合は、無線LANアクセスポイントの複数検出を示しています。
  対応するモードが実行中の無線LANアクセスポイントを2つ以上検出しています。AOSS™またはWPSの無線LANアクセスポイントを1つにして、手順11からやり直してください。
- 「接続 失敗」と表示された場合は、本製品は無線LANアクセスポイントに正常に接続されていません。手順11からやり直してください。SecureEasySetup™で接続している場合は、無線LANアクセスポイントが複数ある可能性があります。無線LANアクセスポイントを1つにして、手順11からやり直してください。やり直しても同じメッセージが表示される場合は、ネットワーク設定をリセットしてP.106、手順11からやり直してください。
- 「無線接続中」と表示された後「接続 失敗」と表示された場合は、本製品は無線LANアクセスポイントに正常に接続されていません。手順11からやり直してください。

● 操作パネルの「SES/WPS/AOSS」メニューで表示されるメッセージ

メッセージ	状態	解決方法
無線接続中	• 無線LANアクセスポイントを検索中 • 無線LANアクセスポイントにアクセス中 • 無線LANアクセスポイントから設定をダウンロード中	–
AOSS接続中 WPS接続中 SES接続中	無線 LAN アクセスポイントに接続中	–
接続しました	接続成功	–
ｱｸｾｽﾎﾟｲﾝﾄ複数検出	無線 LAN アクセスポイントを複数検出	AOSS™ または WPS の無線 LAN アクセスポイントを 1 つにして、手順 11 からやり直す
接続 失敗	接続失敗 「無線接続中」表示後に、このメッセージが表示された場合	• 手順11からやり直す • やり直しても同じメッセージが表示される場合は、ネットワーク設定をリセットして P.106 、手順11からやり直す
	無線 LAN アクセスポイントを複数検出	SecureEasySetup™ の無線 LAN アクセスポイントを 1 つにして、手順 11 からやり直す

15 ［完了］をクリックする



OK! 無線 LAN 設定は完了しました。

続いて本製品に付属の CD-ROM から、本製品を動作させるために必要なドライバおよびソフトウェアをインストールします。
詳しくは、かんたん設置ガイドを参照してください。

アドホックモードでの無線LAN設定

手動で無線LAN設定をする

注意

■本製品の無線 LAN 設定が既に設定されている場合は、ネットワーク設定をリセットしてください。詳しくは、「LAN 設定の初期化」P.32 を参照してください。

■パーソナルファイアウォール（Windows® ファイアウォールなど）を有効にしている場合は、一時的にファイアウォール機能を無効にしてください。無線LANの設定が完了した後で、パーソナルファイアウォールを有効にしてください。

■実行中のすべてのアプリケーションソフトを終了してから、行ってください。

1 **電源コードが差し込まれていることを確認し、本製品の電源スイッチを ON にする**

2 **メニュー、5 JKL、2 ABC、7 PQRS の順に押す**

または で選択して OK で決定することも可能です。

```
無線LAN
7. 無線LAN有効
```

3 **または を押して「オン」を選択する**

お買い上げ時は「オフ」に設定されています。

```
無線LAN有効
オン                  *
```

4 **OK を押す**

5 **コンピュータの電源を入れる**

管理者権限をもつユーザでログオンします。

6 **本製品に付属の CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブにセットする**

トップメニューが表示されます。

補足

画面が表示されないときは、「マイコンピュータ（コンピュータ）」からCD-ROMドライブをダブルクリックし、「start.exe」をダブルクリックしてください。

7 **［その他ソフトウェアとユーティリティ］をクリックする**



8 ［無線 LAN 設定ウィザード］をクリックする



9 ［手動設定インストール（推奨）］を選択し、［次へ］をクリックする



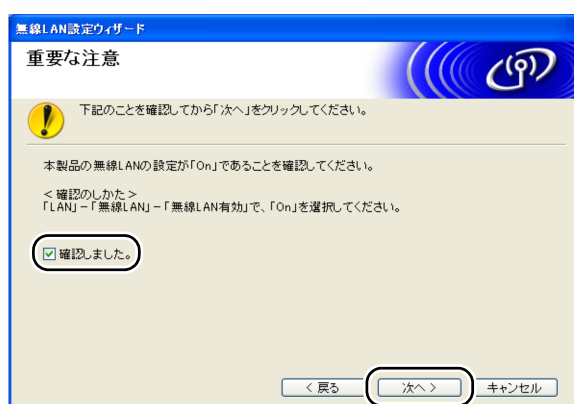
10 ［LAN ケーブルを使用しません］を選択し、［次へ］をクリックする



11 「重要な注意」の内容をお読みになり、［確認しました。］をチェックして、［次へ］をクリックする

補足

手順2、3で無線LAN設定は有効になっています。



12 コンピュータの無線 LAN 設定を一時的に変更するため、現在の設定をメモする

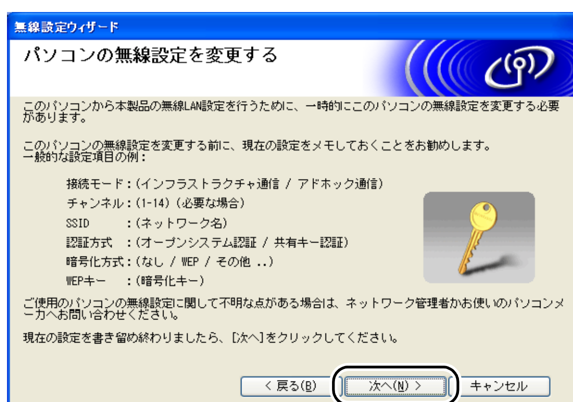
注 意

SSIDやチャンネルなど、必ずコンピュータの現在の設定をメモしておいてください。コンピュータを元の無線LAN設定に戻すときに必要です。

一般的な設定項目の例を次に示します。このページを印刷してメモの際にご利用ください。

項目	コンピュータの現在の無線LAN設定
接続モード： （インフラストラクチャ /アドホック）	
チャンネル：（1～14）	
SSID：（ネットワーク名）	
認証方式： （オープンシステム認証/共有キー認証）	
暗号化方式：（なし/ WEP /その他...）	
WEPキー（暗号化キー）：	

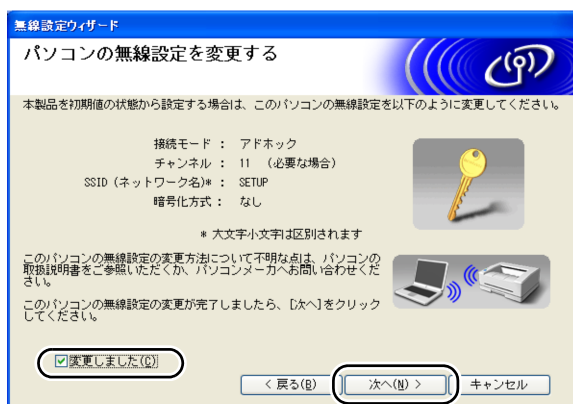
13 メモし終わったら、［次へ］をクリックする



14 無線 LAN 設定されていない本製品と接続するために、コンピュータの無線 LAN 設定を一時的に画面に表示されている設定に変更する

（右の画面は一例です。実際の画面に表示されている設定に変更してください。）

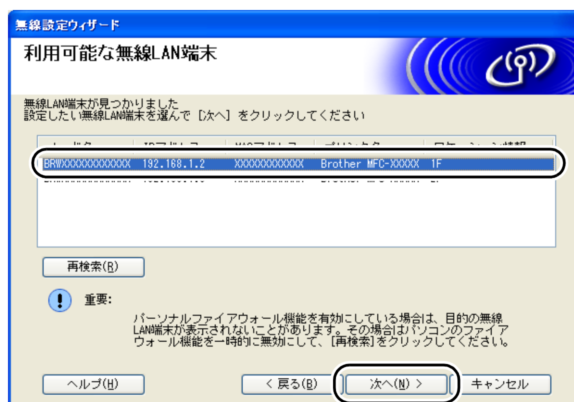
無線 LAN 設定の変更が完了したら、［変更しました］をチェックし、［次へ］をクリックする



補足

- 無線 LAN 設定の変更後、コンピュータの再起動を促すメッセージが表示された場合は、コンピュータを再起動後、手順6に戻ってやり直します。ただし、手順12～14は［次へ］をクリックするだけで次に進んでください。
- コンピュータの無線 LAN 設定を変更する場合は、「コンピュータの無線 LAN 設定を変更する」P.77を参照してください。

15 無線 LAN 端末が複数ある場合は、一覧から本製品を選択し、［次へ］をクリックする



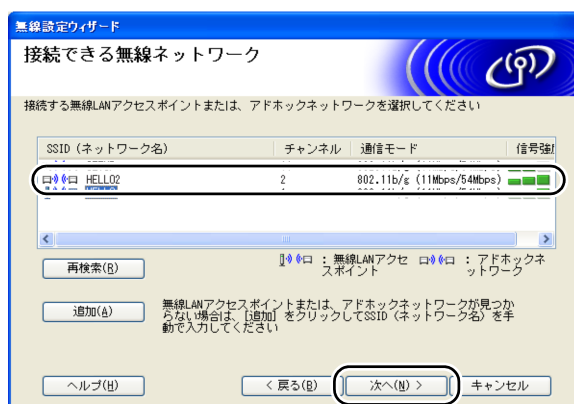
補足

●お買い上げ時のノード名は、無線LANの場合は“BRWxxxxxxxxxxxx”です。

●一覧が空白の場合は、無線 LAN アクセスポイントおよび本製品の電源スイッチが ON になっていることを確認し、［再検索］をクリックします。

●LAN 設定内容リストを印刷して本製品の IP アドレスとノード名を確認できます。詳しくは、「LAN 設定内容リストの出力」P.33 を参照してください。

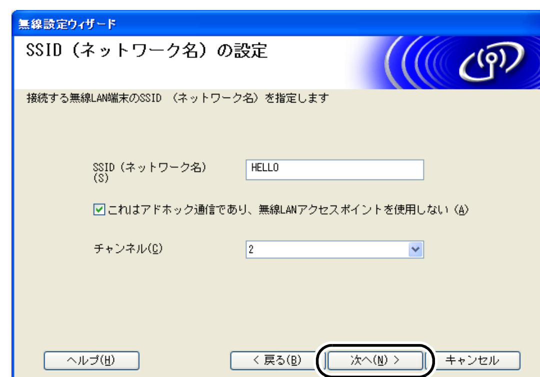
16 無線 LAN アクセスポイントまたはアドホックネットワークが複数ある場合は、一覧から本製品を接続するアドホックネットワークを選択し、［次へ］をクリックする



補足

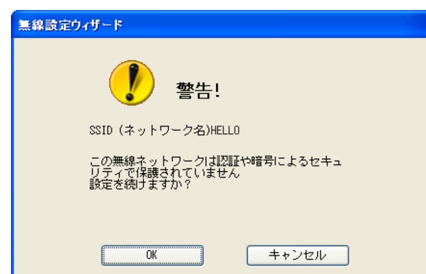
●一覧が空白の場合は、本製品が無線通信の範囲内に設置されていることを確認し、［再検索］をクリックします。

●接続するアドホックネットワークが一覧にない場合は、［追加］をクリックすると、手動で追加できます。「これはアドホックモードであり、無線LANアクセスポイントを使用しない」をチェックし、「SSID（ネットワーク名）」と「チャンネル」を入力し、［次へ］をクリックします。

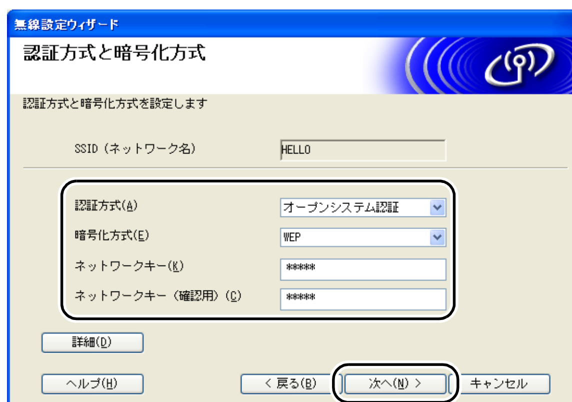


注意

無線LANが認証や暗号化によってセキュリティで保護されていない場合は、右の画面が表示されます。［キャンセル］をクリックし、セキュリティを設定することをおすすめします。［追加］をクリックして手動でアドホックネットワークを追加し、セキュリティを設定してください。
設定を続ける場合は［OK］をクリックして、手順18に進みます。ただし、セキュリティを設定しないで使用した場合、通信内容を盗み見られたり、ネットワークに不正に侵入される恐れがあります。



17 **本製品が接続するアドホックネットワークに設定している認証方式、暗号化方式、ネットワークキーなどを設定し、［次へ］をクリックする**

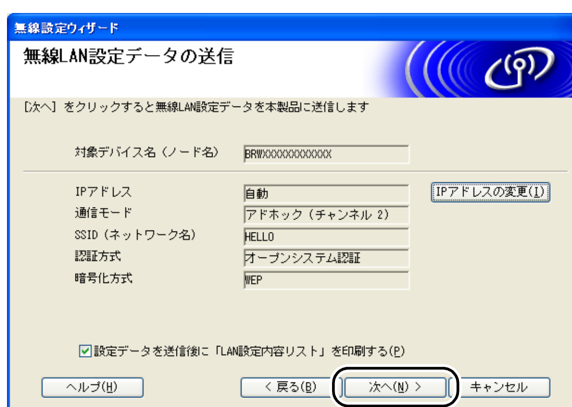


補足

- 複数のWEPキーを設定したいときは、［詳細］をクリックします。
- ネットワークの認証または暗号化設定が分からないときは、ネットワーク管理者に問い合わせてください。
- ネットワークキーが接続するアドホックネットワークのネットワークキーと異なっていても、エラーは表示されません。

18 **設定を確認し、［次へ］をクリックする**

本製品に無線 LAN 設定の内容が送信されます。
［キャンセル］をクリックすると、設定は無効になります。

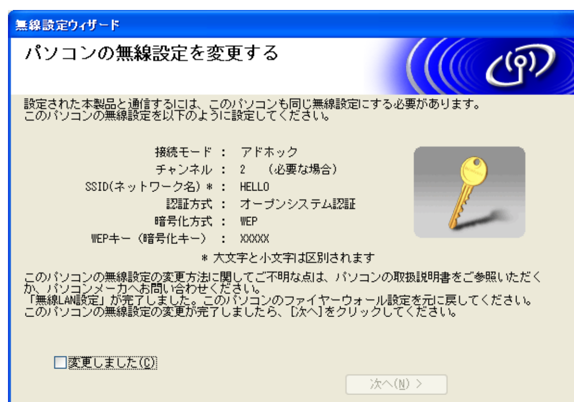


補足

本製品のIPアドレスを変更する場合は、［IPアドレスの変更］をクリックして手動で設定してください。

19 右の画面が表示されるまでしばらく待ち、本製品と通信する場合は、コンピュータの無線LAN設定を画面に表示されている設定に変更する

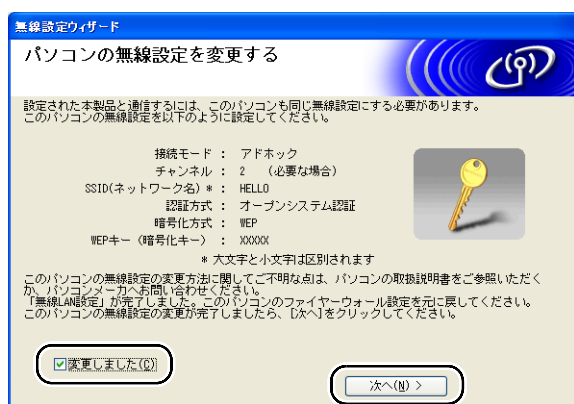
（右の画面は一例です。実際の画面に表示されている設定に変更してください。）



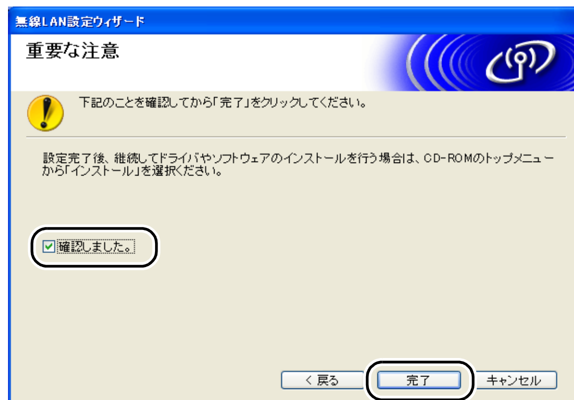
補足

コンピュータの無線LAN設定を変更する場合は、「コンピュータの無線LAN設定を変更する」P.77を参照してください。

20 コンピュータの無線LAN設定の変更が完了したら、［変更しました］をチェックして、［次へ］をクリックする



21 ［確認しました］をチェックして、［完了］をクリックする



補足

無線LAN設定に失敗した場合は、ネットワーク設定をリセットP.32し、再度設定してください。

OK! **無線LAN設定は完了しました。**

続いて本製品に付属のCD-ROMから、本製品を動作させるために必要なドライバおよびソフトウェアをインストールします。
詳しくは、かんたん設置ガイドを参照してください。

コンピュータの無線LAN設定を変更する

● Windows Vista® の場合

① ［スタート］－［コントロールパネル］の順にクリックします。
②「ネットワークとインターネット」をクリックし、「ネットワークと共有センター」をクリックします。
③「ネットワークに接続」をクリックします。
一覧に本製品のSSIDが表示されます。
④「SETUP」を選択し、「接続」をクリックします。
⑤「接続します」をクリックします。
IPアドレスが「0.0.0.0」から「169.254.xxx.xxx」へ変更されます。（xxxは1～254までの数字）画面に表示されるまでに数分かかることがあります。
⑥「閉じる」をクリックします。
⑦「ワイヤレスネットワーク接続（SETUP）」の「状態の表示」をクリックします。
⑧「詳細」をクリックし、「ネットワーク接続の詳細」を確認します。

● Windows® XP SP2 ユーザーの場合

① ［スタート］－［コントロールパネル］の順にクリックします。
②「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。
③「ネットワーク接続」をクリックします。
④「ワイヤレス ネットワーク接続」アイコンを右クリックし、「利用できるワイヤレス ネットワークの表示」をクリックします。
一覧に本製品のSSIDが表示されます。
⑤「SETUP」を選択し、「接続」をクリックします。
⑥ ワイヤレスネットワーク接続状況を確認します。
IPアドレスが「0.0.0.0」から「169.254.xxx.xxx」へ変更されます。（xxxは1～254までの数字）画面に表示されるまでに数分かかることがあります。

ブラザーインストーラを使用する（Macintosh®）

本製品に付属のCD-ROM内に収録されているブラザーインストーラを使用して、ネットワーク環境に本製品を接続することができます。

補足

操作パネルから無線LAN設定をする（推奨）場合は、「操作パネルから手動で無線LAN設定をする」P.56 または かんたん設置ガイドを参照してください。

注意

本製品を無線LANに接続する場合は、インストール前にネットワーク管理者にお問い合わせいただき、無線LANの設定を確認してください。

インフラストラクチャモードでの無線LAN設定

LANケーブルを使用して手動で無線LAN設定をする

注意

■本製品の無線 LAN 設定が既に設定されている場合は、ネットワーク設定をリセットしてください。詳しくは、「LAN 設定の初期化」P.32 を参照してください。

■パーソナルファイアウォールを有効にしている場合は、一時的にファイアウォール機能を無効にしてください。無線LANの設定が完了した後で、パーソナルファイアウォールを有効にしてください。

■設定にはLANケーブルが必要です。

■実行中のすべてのアプリケーションソフトを終了してから、行ってください。

1 電源コードが差し込まれていることを確認し、本製品の電源スイッチを ON にする

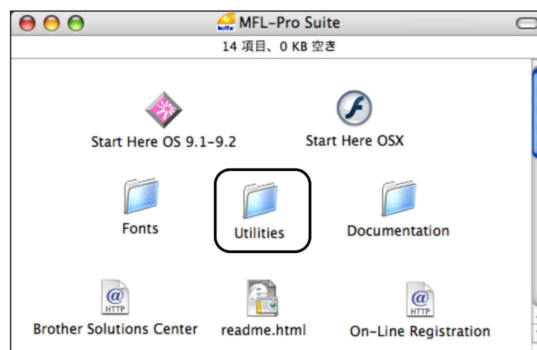
2 Macintosh® の電源を入れる

管理者権限をもつユーザでログインします。

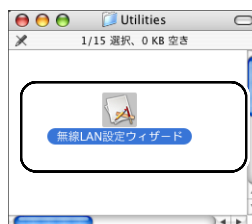
3 本製品に付属の CD-ROM を Macintosh® の CD-ROM ドライブにセットする

4 [MFL-Pro Suite] アイコンをダブルクリックする

[Utilities] アイコンをダブルクリックする



5 [無線 LAN 設定ウィザード] をクリックする



6 [手動設定インストール（推奨)] を選択し、[次へ] をクリックする

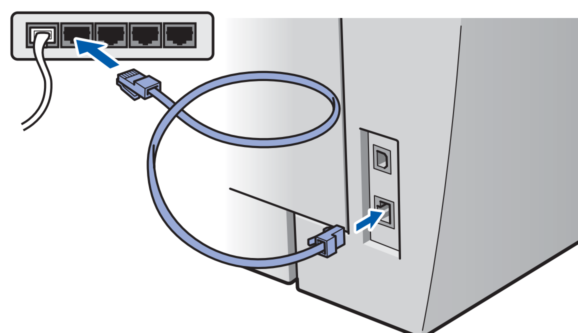


7 [LAN ケーブルを使用します（推奨)] を選択し、[次へ] をクリックする

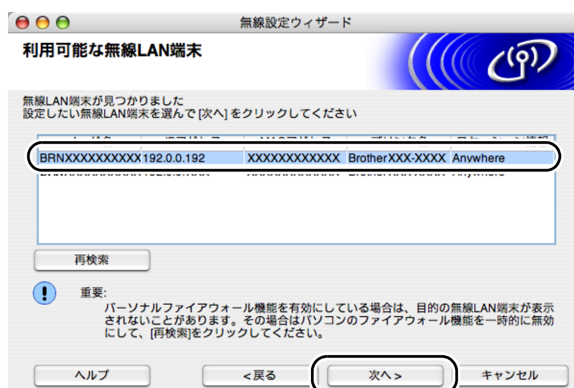


8 LAN ケーブルで本製品を無線 LAN アクセスポイントに接続し、[次へ] をクリックする





9 無線 LAN 端末が複数ある場合は、一覧から本製品を選択し、［次へ］をクリックする



補足

- ●お買い上げ時のノード名は、無線LANの場合は“BRWxxxxxxxxxxxx”です。
- ●一覧が空白の場合は、無線 LAN アクセスポイントおよび本製品の電源スイッチが ON になっていることを確認し、［再検索］をクリックします。
- ●LAN 設定内容リストを印刷して本製品の IP アドレスとノード名を確認できます。詳しくは、「LAN 設定内容リストの出力」P.33を参照してください。

10 無線 LAN アクセスポイントが複数ある場合は、一覧から本製品を接続する無線 LAN アクセスポイントを選択し、［次へ］をクリックする



補足

- ●本製品のお買い上げ時のSSIDは“SETUP”です。このSSIDは選択しないでください。
- ●一覧が空白の場合は、無線 LAN アクセスポイントの電源スイッチが ON になっていること、SSID が割り当てられていることを確認します。さらに本製品と無線LANアクセスポイントが無線通信の範囲内に設置されていることを確認し、［再検索］をクリックします。
- ●SSIDを出力しないように無線LANアクセスポイントが設定されている場合は、無線LANアクセスポイントのSSIDが表示されません。その場合は、［追加］をクリックすると、手動で追加できます。画面上の指示に従って「SSID（ネットワーク名）」を入力し、［次へ］をクリックします。



本書の使い方・目次
ネットワークで使う前に
ネットワークの設定
無線LANの設定
Windows環境で使う
Macintosh環境で使う
トラブルシューティング
付録

注意

無線 LAN が認証や暗号化によってセキュリティで保護されていない場合は、右の画面が表示されます。
［キャンセル］をクリックしてインストールを中止し、無線 LAN アクセスポイントのセキュリティを設定することをおすすめします。セキュリティを設定しないで使用した場合、通信内容を盗み見られたり、ネットワークに不正に侵入される恐れがあります。
無線LANアクセスポイントのセキュリティ設定後に、再度インストールを進めてください。



11 本製品が接続する無線 LAN アクセスポイントに設定している認証方式、暗号化方式、ネットワークキーなどを設定し、［次へ］をクリックする

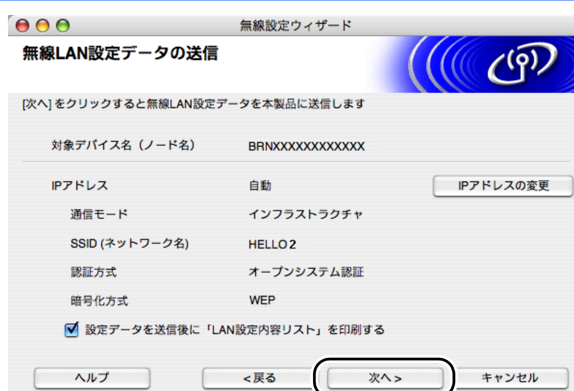


補足

- 複数のWEPキーを設定したいときは、［詳細］をクリックします。
- ネットワークの認証または暗号化設定が分からないときは、ネットワーク管理者に問い合わせてください。
- ネットワークキーが無線 LAN アクセスポイントのネットワークキーと異なっていても、エラーは表示されません。

12 設定を確認し、［次へ］をクリックする

本製品に無線 LAN 設定の内容が送信されます。
［キャンセル］をクリックすると、設定は無効になります。



補足

本製品のIPアドレスを変更する場合は、［IPアドレスの変更］をクリックして手動で設定してください。

13 無線 LAN アクセスポイントと本製品から接続している LAN ケーブルを外し、［次へ］をクリックする



14 右の画面が表示されたら、本製品の初期化が終了するまでしばらく待つ



15 ［確認しました］をチェックして、［完了］をクリックする



補足

無線LAN設定に失敗した場合は、ネットワーク設定をリセットP.32し、再度設定してください。



無線 LAN 設定は完了しました。

続いて本製品に付属の CD-ROM から、本製品を動作させるために必要なドライバおよびソフトウェアをインストールします。
詳しくは、かんたん設置ガイドを参照してください。

無線LANアクセスポイントの簡単設定を使用して自動で無線LAN設定をする

注意

■本製品の無線 LAN 設定が既に設定されている場合は、ネットワーク設定をリセットしてください。詳しくは、「LAN 設定の初期化」P.32を参照してください。

■実行中のすべてのアプリケーションソフトを終了してから、行ってください。

1 **電源コードが差し込まれていることを確認し、本製品の電源スイッチを ON にする**

2 **メニュー、5 JKL、2 ABC、7 PQRS の順に押す**

無線LAN
7. 無線LAN有効

▲または▼で選択して OK で決定することも可能です。

3 **▲または▼を押して「オン」を選択する**

無線LAN有効
オン *

お買い上げ時は「オフ」に設定されています。

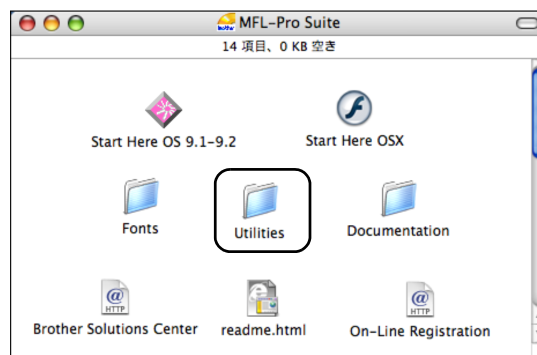
4 **OK を押す**

5 **Macintosh® の電源を入れる**

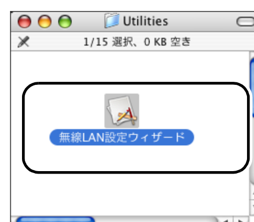
管理者権限をもつユーザでログインします。

6 **本製品に付属の CD-ROM を Macintosh® の CD-ROM ドライブにセットする**

7 **［MFL-Pro Suite］アイコンをダブルクリックする**
［Utilities］アイコンをダブルクリックする



8 **［無線 LAN 設定ウィザード］をクリックする**



9 ［自動設定インストール］を選択し、［次へ］をクリックする



10 画面の内容を確認し、［次へ］をクリックする



11 メニュー、5 JKL、2 ABC、3 DEF の順に押す

▲または▼で選択してOKで決定することも可能です。

```
無線LAN
3.SES/WPS/AOSS
```

12 AOSS™、WPS（Wi-Fi Protected Setup™）またはSecureEasySetup™に対応している無線 LAN アクセスポイントの自動検出を 2 分間行う

```
無線接続中
```

13 無線LANアクセスポイントを対応するモード（AOSS™、WPSまたはSecureEasySetup™）にする

詳しくは、無線 LAN アクセスポイントに付属の取扱説明書を参照してください。

14 「接続しました」と表示されるまで待つ

無線 LAN アクセスポイントとの接続に成功すると、「接続しました」と表示されます。
これで本製品を無線 LAN で使用できます。

- 「ｱｸｾｽﾎﾟｲﾝﾄ複数検出」と表示された場合は、無線LANアクセスポイントの複数検出を示しています。対応するモードが実行中の無線LANアクセスポイントを2つ以上検出しています。AOSS™またはWPSの無線LANアクセスポイントを1つにして、手順11からやり直してください。
- 「接続 失敗」と表示された場合は、本製品は無線LANアクセスポイントに正常に接続されていません。手順11からやり直してください。SecureEasySetup™で接続している場合は、無線LANアクセスポイントが複数ある可能性があります。無線LANアクセスポイントを1つにして、手順11からやり直してください。
- 「無線接続中」と表示された後「接続 失敗」と表示された場合は、本製品は無線LANアクセスポイントに正常に接続されていません。手順11からやり直してください。やり直しても同じメッセージが表示される場合は、ネットワーク設定をリセットしてP.32、手順11からやり直してください。

本書の使い方・目次
ネットワークで使う前に
ネットワークの設定
無線LANの設定
Windows環境で使う
Macintosh環境で使う
トラブルシューティング
付録

● 操作パネルの「SES/WPS/AOSS」メニューで表示されるメッセージ

メッセージ	状態	解決方法
無線接続中	• 無線LANアクセスポイントを検索中 • 無線LANアクセスポイントにアクセス中 • 無線LANアクセスポイントから設定をダウンロード中	–
AOSS接続中 WPS接続中 SES接続中	無線 LAN アクセスポイントに接続中	–
接続しました	接続成功	–
アクセスポイント複数検出	無線 LAN アクセスポイントを複数検出	AOSS™ または WPS の無線 LAN アクセスポイントを 1 つにして、手順 11 からやり直す
接続 失敗	接続失敗	• 手順11からやり直す • やり直しても同じメッセージが表示される場合は、ネットワーク設定をリセットして P.32 、手順11からやり直す
	「無線接続中」表示後に、このメッセージが表示された場合	
	無線 LAN アクセスポイントを複数検出	SecureEasySetup™ の無線 LAN アクセスポイントを 1 つにして、手順 11 からやり直す

15 【完了】をクリックする



OK! **無線 LAN 設定は完了しました。**

続いて本製品に付属の CD-ROM から、本製品を動作させるために必要なドライバおよびソフトウェアをインストールします。
詳しくは、かんたん設置ガイドを参照してください。

本書の使い方・目次
ネットワークで使う前に
ネットワークの設定
無線LANの設定
Windows環境で使う
Macintosh環境で使う
トラブルシューティング
付録

アドホックモードでの無線LAN設定

手動で無線LAN設定をする

注意

■本製品の無線 LAN 設定が既に設定されている場合は、ネットワーク設定をリセットしてください。詳しくは、「LAN 設定の初期化」P.32 を参照してください。

■パーソナルファイアウォールを有効にしている場合は、一時的にファイアウォール機能を無効にしてください。無線LANの設定が完了した後で、パーソナルファイアウォールを有効にしてください。

■実行中のすべてのアプリケーションソフトを終了してから、行ってください。

1 電源コードが差し込まれていることを確認し、本製品の電源スイッチを ON にする

2 メニュー、5 JKL、2 ABC、7 PQRS の順に押す

▲または▼で選択して OK で決定することも可能です。

```
無線LAN
7.無線LAN有効
```

3 ▲または▼を押して「オン」を選択する

お買い上げ時は「オフ」に設定されています。

```
無線LAN有効
オン                *
```

4 OK を押す

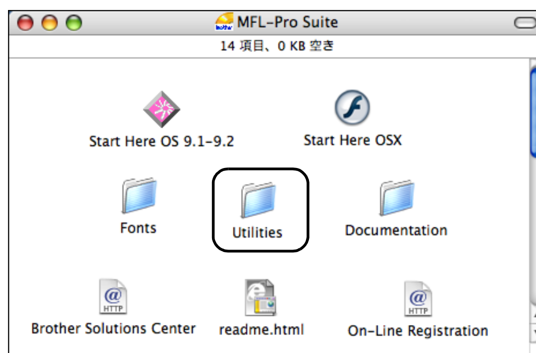
5 Macintosh® の電源を入れる

管理者権限をもつユーザでログインします。

6 本製品に付属の CD-ROM を Macintosh® の CD-ROM ドライブにセットする

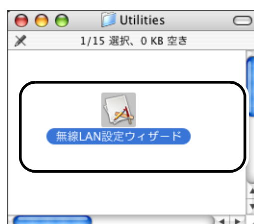
7 [MFL-Pro Suite] アイコンをダブルクリックする

[Utilities] アイコンをダブルクリックする



本書の使い方・目次
ネットワークで使う前に
ネットワークの設定
無線LANの設定
Windows環境で使う
Macintosh環境で使う
トラブルシューティング
付録

8 ［無線 LAN 設定ウィザード］をクリックする



9 ［手動設定インストール（推奨）］を選択し、［次へ］をクリックする



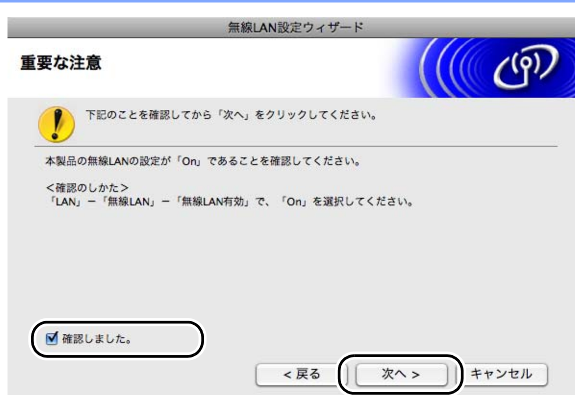
10 ［LAN ケーブルを使用しません］を選択し、［次へ］をクリックする



11 「重要な注意」の内容をお読みになり、［確認しました。］をチェックして、［次へ］をクリックする

補足

手順2、3で無線LAN設定は有効になっています。



12 Macintosh® の無線 LAN 設定を一時的に変更するため、現在の設定をメモする

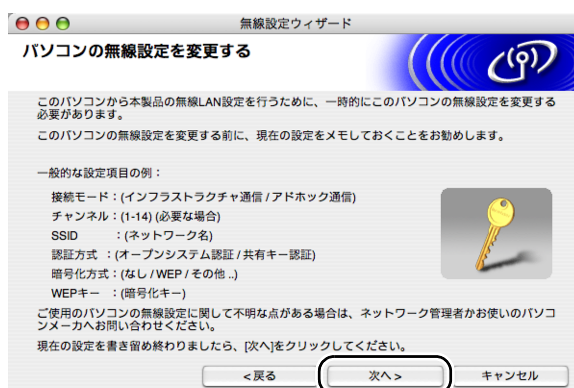
注意

SSIDやチャンネルなど、必ずMacintosh®の現在の設定をメモしておいてください。コンピュータを元の無線LAN設定に戻すときに必要です。

一般的な設定項目の例を次に示します。このページを印刷してメモの際にご利用ください。

項目	Macintosh®の現在の無線LAN設定
接続モード： （インフラストラクチャ /アドホック）	
チャンネル：（1〜14）	
SSID：（ネットワーク名）	
認証方式： （オープンシステム認証/共有キー認証）	
暗号化方式：（なし/ WEP /その他...）	
WEPキー（暗号化キー）：	

13 メモし終わったら、［次へ］をクリックする



14 無線 LAN 設定されていない本製品と接続するために、Macintosh® の無線 LAN 設定を一時的に画面に表示されている設定に変更する

（右の画面は一例です。実際の画面に表示されている設定に変更してください。）

無線 LAN 設定の変更が完了したら、［変更しました］をチェックし、［次へ］をクリックする

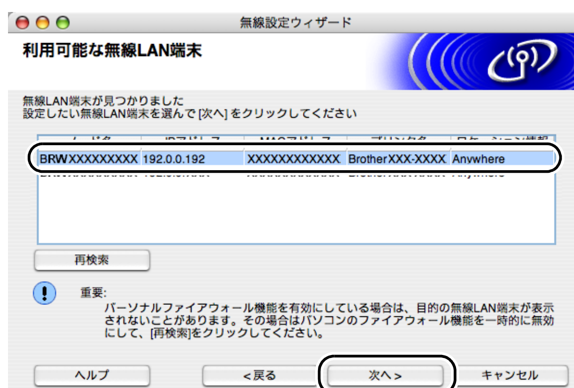


補足

- 無線LAN設定の変更後、Macintosh®の再起動を促すメッセージが表示された場合は、Macintosh®を再起動後、手順6に戻ってやり直します。ただし、手順12〜14は［次へ］をクリックするだけで次に進んでください。
- Macintosh®の無線LAN設定を変更する場合は、「Macintosh®の無線LAN設定を変更する」P.92 を参照してください。

本書の使い方・目次
ネットワークで使う前に
ネットワークの設定
無線LANの設定
Windows環境で使う
Macintosh環境で使う
トラブルシューティング
付録

15 無線 LAN 端末が複数ある場合は、一覧から本製品を選択し、［次へ］をクリックする



補足

- お買い上げ時のノード名は、無線LANの場合は“BRWxxxxxxxxxxxx”です。
- 一覧が空白の場合は、無線 LAN アクセスポイントおよび本製品の電源スイッチが ON になっていることを確認し、［再検索］をクリックします。
- LAN 設定内容リストを印刷して本製品の IP アドレスとノード名を確認できます。詳しくは、「LAN 設定内容リストの出力」P.33 を参照してください。

16 無線 LAN アクセスポイントまたはアドホックネットワークが複数ある場合は、一覧から本製品を接続するアドホックネットワークを選択し、［次へ］をクリックする



補足

- 一覧が空白の場合は、本製品が無線通信の範囲内に設置されていることを確認し、［再検索］をクリックします。
- 接続するアドホックネットワークが一覧にない場合は、［追加］をクリックすると、手動で追加できます。「これはアドホックモードであり、無線LANアクセスポイントを使用しない」をチェックし、「SSID（ネットワーク名）」と「チャンネル」を入力し、［次へ］をクリックします。



本書の使い方・目次
ネットワークで使う前に
ネットワークの設定
無線LANの設定
Windows環境で使う
Macintosh環境で使う
トラブルシューティング
付録

注意

無線LANが認証や暗号化によってセキュリティで保護されていない場合は、右の画面が表示されます。[キャンセル] をクリックし、セキュリティを設定することをおすすめします。[追加] をクリックして手動でアドホックネットワークを追加し、セキュリティを設定してください。
設定を続ける場合は [OK] をクリックして、手順18に進みます。ただし、セキュリティを設定しないで使用した場合、通信内容を盗み見られたり、ネットワークに不正に侵入される恐れがあります。



17 本製品が接続するアドホックネットワークに設定している認証方式、暗号化方式、ネットワークキーなどを設定し、[次へ] をクリックする



補足

- 複数のWEPキーを設定したいときは、[詳細] をクリックします。
- ネットワークの認証または暗号化設定が分からないときは、ネットワーク管理者に問い合わせてください。
- ネットワークキーが接続するアドホックネットワークのネットワークキーと異なっていても、エラーは表示されません。

18 設定を確認し、[次へ] をクリックする

本製品に無線 LAN 設定の内容が送信されます。
[キャンセル] をクリックすると、設定は無効になります。



補足

本製品のIPアドレスを変更する場合は、[IPアドレスの変更] をクリックして手動で設定してください。

19 **右の画面が表示されるまでしばらく待ち、本製品と通信する場合は、コンピュータの無線LAN 設定を画面に表示されている設定に変更する**

（右の画面は一例です。実際の画面に表示されている設定に変更してください。）



補足

Macintosh®の無線LAN設定を変更する場合は､「Macintosh®の無線LAN設定を変更する」P.92 を参照してください。

20 **Macintosh® の無線 LAN 設定の変更が完了したら、［変更しました］をチェックして、［次へ］をクリックする**



21 **［確認しました］をチェックして、［完了］をクリックする**



補足

無線LAN設定に失敗した場合は、ネットワーク設定をリセットP.32 し、再度設定してください。

OK! 無線 LAN 設定は完了しました。

続いて本製品に付属の CD-ROM から､本製品を動作させるために必要なドライバおよびソフトウェアをインストールします。
詳しくは、かんたん設置ガイドを参照してください。

Macintosh®の無線LAN設定を変更する

① メニューバーの［AirMac］アイコンをクリックし、［“インターネット接続”を開く］をクリックします。
② ［ネットワーク］タブをクリックし、利用可能な無線LAN端末を確認します。
ネットワークオプションに本製品が表示されます。
③「SETUP」を選択します。
無線LANに正常に接続されています。

操作パネルで設定を変更する

ここでは、操作パネルにある各種ボタンと液晶ディスプレイ（LCD）を使用して、無線LANを設定する方法について説明します。本製品の操作パネルのボタンを利用することで、コンピュータから操作しなくてもネットワークの各設定項目を修正できます。

操作パネル

操作パネルは、各設定項目を表示したり、ダイヤルボタンやワンタッチダイヤルなどで入力した文字を表示します。

操作パネルを使用すれば、「LAN」設定メニューの「無線LAN」設定メニューを通じてネットワーク設定をすることができます。

メニュー、5 JKL、2 ABC の順に押します。

```
無線LAN
1.TCP/IP設定
```

「無線LAN」メニューでは、次の項目が設定できます。

- 1. TCP/IP設定（無線LAN）........ P.95 を参照してください。
- 2. 無線LAN設定........ P.56 を参照してください。
- 3. 無線LANの状態表示........ P.103 を参照してください。
- 4. 無線LANの初期化........ P.106 を参照してください。

補足

一度ネットワーク上で有効な IP アドレスを本製品に割り当てた後は、お使いのウェブブラウザからネットワークを通じてすべての設定項目を変更可能です。また、本製品に付属のCD-ROM内に収録されているBRAdmin Lightを、ご使用いただくことで同様に設定が可能です。

操作パネルから文字を入力する

ネットワーク設定で必要なIPアドレスやノード名などは、ダイヤルボタンを使用して入力できます。
ネットワーク設定の関連機能で入力できる文字の一覧は下表にまとめています。
ダイヤルボタンを表にある回数押すことで、そのボタンに割り当てられた文字を入力することができます。［＊］と［#］には記号が割り当てられています。

ダイヤルボタン文字対応表

ボタン＼回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	@	.	/	1													
2	a	b	c	A	B	C	2										
3	d	e	f	D	E	F	3										
4	g	h	i	G	H	I	4										
5	j	k	l	J	K	L	5										
6	m	n	o	M	N	O	6										
7	p	q	r	s	P	Q	R	S	7								
8	t	u	v	T	U	V	8										
9	w	x	y	z	W	X	Y	Z	9								
0	0																
＊																	
#	.	@	-	_	'	スペース	:	;	<	=	>	?	[	]	^		

入力時の画面には、一覧の文字のうち設定する機能で利用できる文字のみ表示され、例えばIPアドレスの設定画面では数字のみが表示されます。
電話帳機能ではカナ文字も入力できます。

- カーソルを移動する
  ◄または►をお使いください。

- 入力した文字を修正する
  入力を間違えたときは、◄または►を使って修正する文字にカーソルを移動し、クリア/バックを押して削除後、正しい文字を入力し直します。途中の文字を入力し忘れたときは、間違えた箇所までカーソルを移動して入力し直してください。

補足
入力できる文字の種類は、設定項目により異なります。

TCP/IPの設定（無線LAN）

無線LANでTCP/IPを使用して印刷するには、本製品にIPアドレスとサブネットマスクを設定します。ルータの先に本製品が接続されている場合は、ルータのアドレス（ゲートウェイ）も設定します。

補足

本製品の初期設定は、次の通りです。

- IPアドレス：169.254.x.x（APIPA機能による自動割当）

注意

■DHCP、BOOTP、RARPまたはAPIPA機能を使用していない場合は、初期設定のIPアドレスは192.0.0.192になります。

■DHCP、BOOTP、RARP または APIPA 機能を使用しない場合は、自動的に IP アドレスを取得しないように、IP の取得方法を手動（static（固定））に設定します。P.96

このメニューは10の項目で構成されています。

- IP取得方法
- IPアドレス
- サブネットマスク
- ゲートウェイ
- ノード名
- WINS設定
- WINSサーバ
- DNSサーバ
- APIPA
- IPv6

補足

TCP/IPを設定する他の方法

- ウェブブラウザを使用する場合はP.34を参照してください。
- その他TCP/IPを設定する方法はP.145を参照してください。

本書の使い方・目次
ネットワークで使う前に
ネットワークの設定
無線LANの設定
Windows環境で使う
Macintosh環境で使う
トラブルシューティング
付録

IP取得方法

1 メニュー、5 JKL、2 ABC、1、1 **の順に押す**

▲または▼で選択してOKで決定することも可能です。

2 **▲または▼で押して「Auto」、「Static」、「RARP」、「BOOTP」または「DHCP」のいずれかを選択する**

```
IP取得方法
Auto                  *
```

お買い上げ時は「Auto」になっています。

3 **OKを押す**

IPアドレス取得方法が確定されます。

- 「Auto」、「RARP」、「BOOTP」または「DHCP」を選択した場合は、次の手順4を実行します。
- 「Static」を選択した場合は、手順5に進みます。

4 **IPアドレスの取得を試みる回数を設定して、OKを押す**

お買い上げ時の設定は「00003」です。IPアドレスの取得に失敗する場合は、数値を大きくします。

5 停止/終了 **を押す**

設定メニューを終了します。

補足

IP取得方法を「Auto」に設定すると、「DHCP」、「BOOTP」、「RARP」の順にネットワーク内のIPアドレス配布サーバを探して、IPアドレスを取得します。これらのサーバが見つからなかった場合は、「APIPA」機能により、IPアドレスが自動的に割り当てられます。

IPアドレス

本製品の現在のIPアドレスが表示されます。IPアドレスを変更する場合は、IP取得方法をStatic（手動）に指定してください。設定するIPアドレスについてはネットワーク管理者にお問い合わせください。
Static以外のIP取得方法が選ばれている場合は、DHCP、RARPまたはBOOTPのプロトコルを使用してIPアドレスを自動的に取得します。

1 メニュー、5 JKL、2 ABC、1、2 ABC **の順に押す**

▲または▼で選択してOKで決定することも可能です。

2 **IP アドレスを入力する**

右記は例です。
設定済みの場合は、「変更しますか　1. はい　2. いいえ」と表示されます。
そのときは1を押します。2 ABCを押すと、設定画面へ戻ります。

```
IPｱﾄﾞﾚｽ
192.168.001.003
```

3 OK **を押す**

IP アドレスが登録されます。

4 停止/終了 **を押す**

設定メニューを終了します。

サブネットマスク

本製品の現在のサブネットマスクが表示されます。DHCP、RARPまたはBOOTP、APIPAを使用していない場合、サブネットマスクを手動で入力してください。設定するサブネットマスクについてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

1 メニュー、5 JKL、2 ABC、1、3 DEF **の順に押す**

▲または▼で選択してOKで決定することも可能です。

2 **サブネットマスクを入力する**

右記は例です。
設定済みの場合は、「変更しますか　1. はい　2. いいえ」と表示されます。
そのときは1を押します。2 ABCを押すと、設定画面へ戻ります。

```
ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ
255.255.255.0
```

3 OK **を押す**

サブネットマスクが登録されます。

4 停止/終了 **を押す**

設定メニューを終了します。

ゲートウェイ

本製品の現在のゲートウェイアドレスが表示されます。DHCP、RARPやBOOTPを使用していない場合はアドレスを手動で指定します。ゲートウェイやルータを使用しない場合はお買い上げ時の設定(000.000.000.000)にしておいてください。アドレスが不明な場合はネットワーク管理者へお問い合わせください。

1 メニュー、5 JKL、2 ABC、1、4 GHI **の順に押す**

▲または▼で選択してOKで決定することも可能です。

2 **ゲートウェイアドレスを入力する**

右記は例です。
設定済みの場合は、「変更しますか 1. はい 2. いいえ」と表示されます。
そのときは 1 を押します。2 ABC を押すと、設定画面へ戻ります。

```
ｹﾞｰﾄｳｪｲ
192.168.001.001
```

3 OK **を押す**

ゲートウェイアドレスが登録されます。

4 停止/終了 **を押す**

設定メニューを終了します。

ノード名（NetBIOS名）

ノード名をネットワークに登録するために使用します（WINSサーバに登録されているNetBIOS名になります）。
お買い上げ時のノード名は、有線LANの場合は“BRNxxxxxxxxxxxx”です。

1 メニュー、5 JKL、2 ABC、1、5 JKL **の順に押す**

▲または▼で選択してOKで決定することも可能です。

2 1 **を押す**

2 ABC で設定メニューへ戻ります。

```
BRWxxxxxxxxxxxx
変更しますか 1.はい 2.いいえ
```

3 **ノード名を入力する**

```
ﾉｰﾄﾞ名
BRWxxxxxxxxxxxx
```

補足
ボタンを押す回数に応じて、入力できる文字が変わります。詳しくは P.94 を参照してください。
ノード名は、最大15文字まで入力できます。

4 OK **を押す**

ノード名が登録されます。

5 停止/終了 **を押す**

設定メニューを終了します。

本書の使い方・目次
ネットワークで使う前に
ネットワークの設定
無線LANの設定
Windows環境で使う
Macintosh環境で使う
トラブルシューティング
付録

WINS設定

この項目で本製品がWINSをどのように解決するかを設定します。

Auto

DHCPサーバから自動的にプライマリー、セカンダリーのWINSサーバアドレスを取得します。「IP取得方法」が「Auto」に設定されている必要があります。P.96

Static

手動でWINSサーバアドレスを設定します。

1 メニュー、5 JKL、2 ABC、1、6 MNO **の順に押す**

▲または▼で選択してOKで決定することも可能です。

2 ▲または▼**を押して「Auto」、「Static」のどちらかを選択する**

```
WINS設定
Auto                *
```

お買い上げ時は「Auto」になっています。

3 OK**を押す**

WINS 設定が登録されます。

4 停止/終了**を押す**

設定メニューを終了します。

本書の使い方・目次
ネットワークで使う前に
ネットワークの設定
無線LANの設定
Windows環境で使う
Macintosh環境で使う
トラブルシューティング
付録

WINSサーバ

WINSサーバの設定をします。

● プライマリ WINS サーバ IP アドレス

この項目でプライマリWINS（Windows® Internet Name Service）サーバのIPアドレスを登録します。
0以外の値が設定されている場合、本製品はプライマリWINSサーバのIPアドレスとしてその値を登録します。

● セカンダリ WINS サーバ IP アドレス

この項目でセカンダリWINS（Windows® Internet Name Service）サーバのIPアドレスを登録します。セカンダリWINSサーバはプライマリWINSサーバの機能の一部を補完し、プライマリサーバが見つからないときに機能します。
0以外の値が設定されている場合、本製品はセカンダリWINSサーバのIPアドレスとしてその値を登録します。
ネットワーク内にセカンダリのWINSサーバが存在しない場合は入力しなくても構いません。

1 **メニュー、5 JKL、2 ABC、1、7 PQRS の順に押す**

▲ または ▼ で選択して OK で決定することも可能です。

2 **▲ または ▼ を押して「プライマリ」または「セカンダリ」の WINS サーバを選択する**

```
WINS ｻｰﾊﾞ
ﾌﾟﾗｲﾏﾘ
```

3 **OK を押す**

設定済みの場合は、「変更しますか　1. はい　2. いいえ」と表示されます。
そのときは 1 を押します。2 ABC を押すと、設定画面へ戻ります。

4 **WINS サーバのアドレスを入力する**

```
WINS ｻｰﾊﾞ
000.000.000.000
```

5 **OK を押す**

WINS サーバのアドレスが登録されます。

6 **停止/終了 を押す**

設定メニューを終了します。

DNSサーバ

DNS（ドメインネームシステム)サーバの設定をします。

● プライマリ DNS サーバ IP アドレス

この項目でプライマリDNS（Domain Name System）サーバのアドレスを指定します。

● セカンダリ DNS サーバ IP アドレス

この項目でセカンダリDNSサーバのアドレスを指定します。セカンダリDNSサーバはプライマリDNSサーバの機能の一部を補完し、プライマリサーバが見つからない場合に機能します。

ネットワークのトラフィックが大きい環境で使用する場合に設定してください。

ネットワーク内にセカンダリのDNSサーバが存在しない場合は入力しなくても構いません。

1 メニュー、5 JKL、2 ABC、1、8 TUV の順に押す

▲または▼で選択してOKで決定することも可能です。

2 ▲または▼を押して「プライマリ」または「セカンダリ」のDNS サーバを選択する

```
DNS ｻｰﾊﾞ
ﾌﾟﾗｲﾏﾘ
```

3 OKを押す

設定済みの場合は、「変更しますか　1. はい　2. いいえ」と表示されます。
そのときは1を押します。2 ABCを押すと、設定画面へ戻ります。

4 DNS サーバのアドレスを入力する

```
DNS ｻｰﾊﾞ
000.000.000.000
```

5 OKを押す

DNS サーバのアドレスが登録されます。

6 停止/終了を押す

設定メニューを終了します。

APIPA

APIPAの設定を「オン」にすると、169.254.0.0/16の中からIPアドレスを自動的に割り当てられます。
「オフ」に設定した場合は、IPアドレスを手動で設定するか、LAN設定をDHCPにしてIPアドレスを自動的に取得し使用してください。

1 メニュー、5 JKL、2 ABC、1、9 WXYZ の順に押す

▲または▼で選択して OK で決定することも可能です。

2 ▲または▼を押して「オン」または「オフ」のどちらかを選択する

```
APIPA
オン              *
```

お買い上げ時は「オン」に設定されています。

3 OK を押す

APIPA の設定が登録されます。

4 停止/終了 を押す

設定メニューを終了します。

IPv6

本製品は次世代インターネットプロトコルIPv6に対応しています。IPv6プロトコルを使用する場合は、「オン」に設定してください。お買い上げ時は、「オフ」に設定されています。IPv6プロトコルでの設定方法については、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））をご覧ください。

1 メニュー、5 JKL、2 ABC、1、0 の順に押す

▲または▼で選択して OK で決定することも可能です。

2 ▲または▼を押して「オン」、「オフ」のどちらかを選択する

```
IPv6
オフ              *
```

3 OK を押す

IPv6 の設定が登録されます。

4 停止/終了 を押す

設定メニューを終了します。

補足

IPv6プロトコルの設定を「オン」にすると、有線LAN、無線LANの両方に適用されます。

無線LANの状態

無線LAN をお使いの場合、次の状況を確認できます。
- 接続状態
- 電波状態
- SSID
- 通信モード

接続状態

無線LANをお使いの場合、接続状態を表示します。

1 メニュー、5 JKL、2 ABC、5 JKL、1 **の順に押す**

▲または▼で選択してOKで決定することも可能です。

現在の接続状態が表示されます。アクティブ（11b）またはアクティブ（11g）と表示されているときは、正常に接続されています。

2 停止/終了 **を押す**

設定メニューを終了します。

電波状態

無線LAN をお使いの場合、電波状態を表示します。

1 メニュー、5 JKL、2 ABC、5 JKL、2 ABC **の順に押す**

▲または▼で選択してOKで決定することも可能です。

現在の電波の状態（強さ）が表示されます。

2 停止/終了 **を押す**

設定メニューを終了します。

SSID

無線LAN をお使いの場合、SSID（ネットワーク名）を表示します。

1 メニュー、5 JKL、2 ABC、5 JKL、3 DEF **の順に押す**

▲または▼で選択してOKで決定することも可能です。

SSID（ネットワーク名）が表示されます。

2 停止/終了 **を押す**

設定メニューを終了します。

通信モード

無線LAN をお使いの場合、通信モードを表示します。

1 メニュー、5 JKL、2 ABC、5 JKL、4 GHI **の順に押す**

▲または▼で選択してOKで決定することも可能です。

現在の通信モード（「ｱﾄﾞﾎｯｸ」または「ｲﾝﾌﾗｽﾄﾗｸﾁｬ」）が表示されます。

2 停止/終了  **を押す**

設定メニューを終了します。

無線LAN有効

本製品を無線LANに接続して使用する場合は、「ｵﾝ」に設定してください。

1 メニュー、5 JKL、2 ABC、7 PQRS の順に押す

▲または▼で選択してOKで決定することも可能です。

2 ▲または▼を押して「ｵﾝ」を選択する

```
無線LAN有効
ｵﾝ              ＊
```

3 OK を押す

無線 LAN が有効になります。

4 停止/終了 を押す

設定メニューを終了します。

無線LANの初期化

現在の無線LAN設定を全てお買い上げ時の設定に初期化できます。

1 **メニュー、5 JKL、2 ABC、6 MNO の順に押す**

▲ または ▼ で選択して OK で決定することも可能です。

2 **1 を押す**

2 ABC を押すと、設定メニューに戻ります。

初期設定ニ戻ス
1.決定　2.キャンセル

補足

すでに設定されているすべてのネットワーク情報を初期化したい場合は、ネットワークの初期化を行う必要があります。P.32 を参照してください。

4章

Windows®環境で使う

ネットワークプリンタとして使う

LPR（Standard TCP/IP）で印刷する

概要

TCP/IPプロトコルを使用して、本製品から直接印刷出力することができます。
ネットワークサーバなどは経由せずに印刷します。
プリンタドライバの詳しい使い方については、「画面で見るマニュアル（HTML形式）」を参照してください。

● 条件

- コンピュータにLANボードが装備され、TCP/IPプロトコルがインストールされていること。
- 本製品にIPアドレス、サブネットマスクなどが設定されていること。
- コンピュータと本製品が、同一のネットワーク上にあること。

● 設定の流れ

1. TCP/IPプロトコルによってコンピュータがネットワーク接続されていることを確認します。
2. コンピュータに本製品の関連付けをします。P.109 を参照してください。

本書の使い方・目次
ネットワークで使う前に
ネットワークの設定
無線LANの設定
Windows環境で使う
Macintosh環境で使う
トラブルシューティング
付録

プリンタドライバのインストール (Windows® 2000/XP/Windows Vista®/Windows Server® 2003)

すでにプリンタドライバがインストールされている場合はP.111を参照してください。

1 本製品に付属の CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブにセットする

トップメニューが表示されます。

補足

画面が表示されないときは、「マイコンピュータ（コンピュータ）」からCD-ROMドライブをダブルクリックし、「start.exe」をダブルクリックしてください。

2 [その他ソフトウェアとユーティリティ] をクリックする



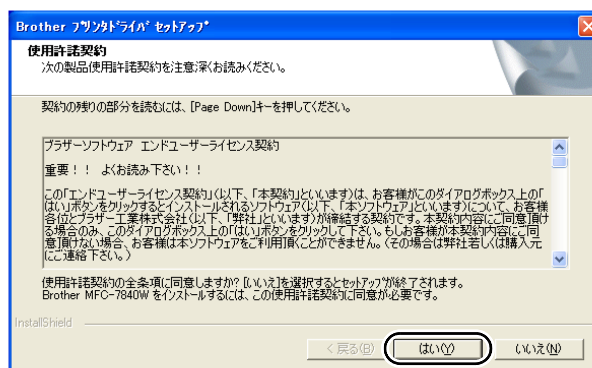
3 [プリンタドライバ（ネットワーク対応のみ)] をクリックする



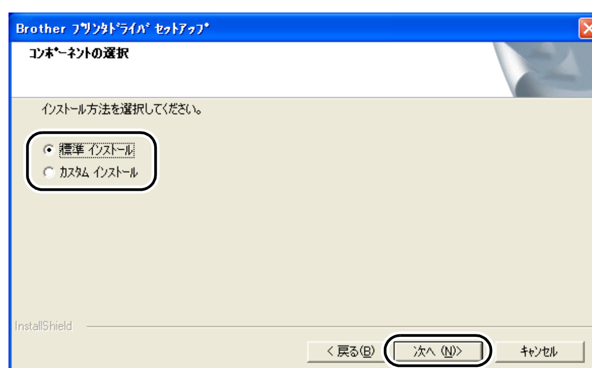
4 [次へ] をクリックする



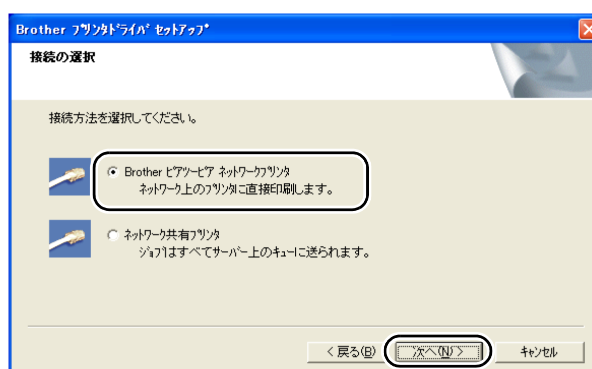
5 使用許諾契約の内容を確認し、[はい] をクリックする



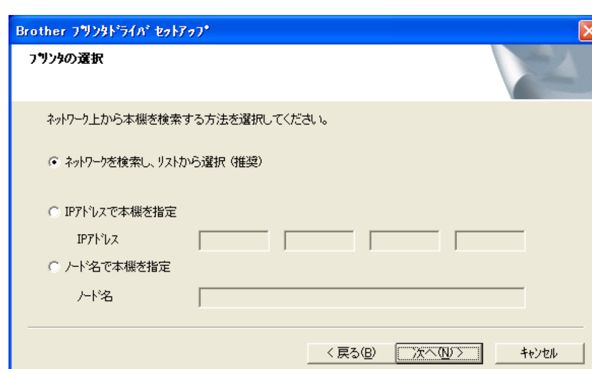
6 [標準インストール] を選択し、[次へ] をクリックする



7 [Brother ピアツーピア ネットワークプリンタ] を選択し、[次へ] をクリックする

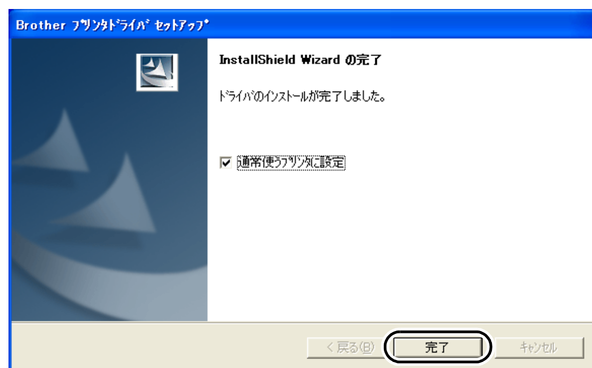


8 プリンタの選択方法を選択し、画面の指示に従ってセットアップを進める



9 **[完了] をクリックする**

プリンタドライバのインストールは完了しました。



プリンタドライバがインストール済の場合 (Windows® 2000/XP/Windows Vista®/Windows Server® 2003)

すでにプリンタドライバがインストールされている場合は、以下の手順でTCP/IPポートの追加と本製品の関連付けをします。

1 **Windows ® XP/Windows Server® 2003 の場合は、[スタート] メニューから [プリンタと FAX] をクリックする**

Windows® 2000 の場合は、[スタート] メニューから [設定]-[プリンタ] の順にクリックします。
Windows Vista® の場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］をクリックして開き、［ハードウェアとサウンド］から［プリンタ］をクリックします。

2 **設定するプリンタを右クリックする**

3 **表示されるメニューから [プロパティ] をクリックする**

4 **[ポート] タブをクリックし、[ポートの追加] をクリックする**

5 **[Standard TCP/IP Port] を選択し、[新しいポート] をクリックする**

[標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード] が表示されます。

6 **画面の指示に従ってセットアップを進める**

ネットワークスキャン機能の設定

ネットワークスキャン機能とは

ネットワークスキャン機能は、本製品のスキャン機能を使ってネットワーク経由で画像をコンピュータに送ったり、保存したり、また E メールの添付ファイルとして他のコンピュータに送り届けることや、コンピュータからネットワーク経由で本製品から画像を取得することができます。
詳しい使い方については、「画面で見るマニュアル（HTML形式）」を参照してください。

注意

■ネットワークスキャン機能を使うには、本製品にTCP/IPの設定をしておく必要があります。

- 操作パネルから設定するには P.22 を参照してください。
（ネットワークプリンタとしてのTCP/IP設定がすでに完了していれば設定済みです。）
- ウェブブラウザから設定するには P.34 を参照してください。

ネットワークスキャン機能を使用する前に

ネットワークスキャン機能を使うには、まずスキャナドライバをインストールする必要があります。

スキャナドライバのインストール

付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れると、自動的にドライバのインストールが始まります。画面の指示に従って、ドライバのインストールを継続してください。詳しくは かんたん設置ガイドの「STEP2 パソコンに接続する」を参照してください。

補足

「スキャン to FTP」および「スキャン to Eメール送信」機能は、コンピュータを使用せずに本製品単独で実行できる機能ですので、コンピュータにスキャナドライバをインストールしていなくても使用できます。

設定の変更

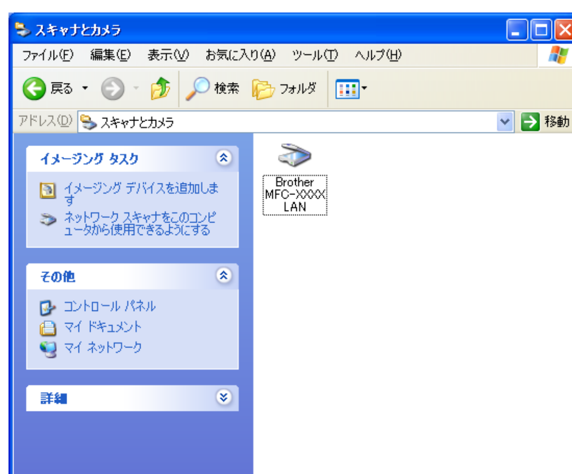
ドライバがすでにインストールされている場合、以下の手順に従って設定を変更してください。

1 「スキャナとカメラ」アイコン (スキャナとカメラ) をダブルクリックする

- Windows® XPの場合
  スタートメニューから［コントロールパネル］－（［プリンタとその他のハードウェア］）－［スキャナとカメラ］を選択します。
- Windows® 2000の場合
  スタートメニューから［設定］－［コントロールパネル］－［スキャナとカメラ］を選択します。
- Windows Vista® の場合
  スタートメニューから［コントロールパネル］をクリックして開き、［ハードウェアとサウンド］をクリックして［スキャナとカメラ］をクリックします。

2 スキャナのアイコンを選択し、［ファイル］－［プロパティ］をクリックする

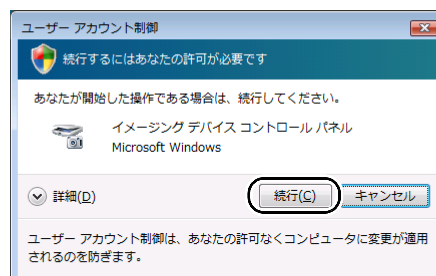
- アイコンを右クリックしたポップアップメニューからも操作できます。
- Windows Vista® の場合は、スキャナのアイコンを選択し、［プロパティ］ボタンをクリックします。



補足

Windows Vista®の場合、［ユーザーアカウント制御］画面が表示されたら次の操作をします。

・ 管理者権限でログオンしている場合は、［続行］をクリックします。



・ 一般ユーザーとしてログオンしている場合は、パスワードを入力して［OK］をクリックします。



3 「ネットワーク設定」タブで設定項目を更新する

IP アドレスを更新する場合

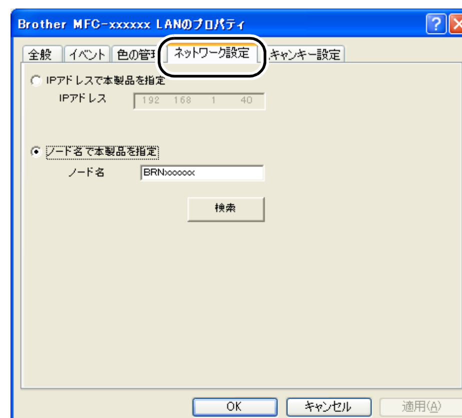
- 本製品のIPアドレスを入力します。

名前を変更する場合

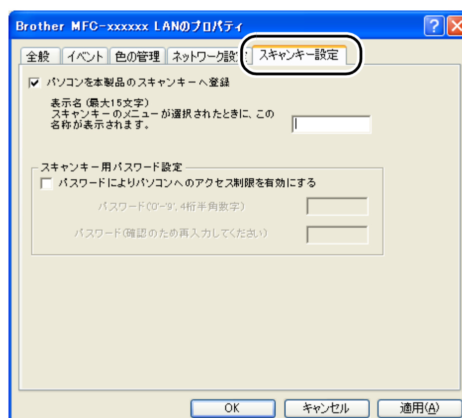
- 本製品のノード名を「ノード名」欄に入力します。

使用可能な機器一覧から指定して変更する場合

- ［検索］をクリックし、既存のLAN内からネットワークスキャンが使用できるブラザー製品を検索後、指定して［OK］をクリックします。

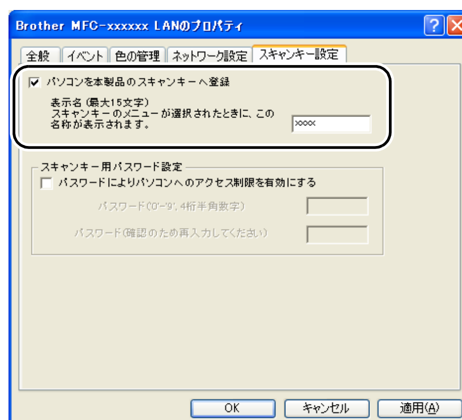


4 「スキャンキー設定」タブをクリックする



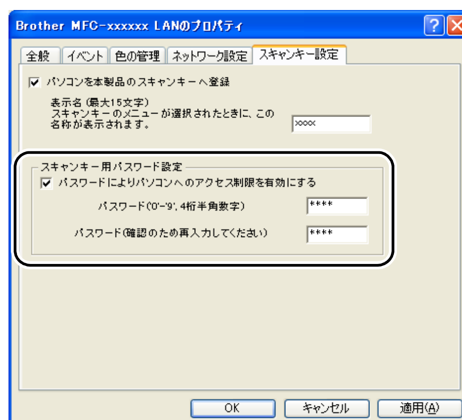
5 スキャン画像を取り込むコンピュータ名を登録する

本製品の「スキャン」ボタンを操作した時にコントロールパネル上に表示されるこのコンピュータの名です。初期設定は、お使いのコンピュータ名です。コンピュータ名は、マイコンピュータのプロパティ画面で確認できます。



6 他の人からのアクセス制限をしたい場合は、パスワードを設定する

パスワードを設定しておくと、ネットワークスキャンしたときに本製品側でパスワードを入力しなければスキャン画像が送信できなくなります。



7 ［OK］をクリックする

設定が変更されます。

ネットワークPCファクス機能を使う

ネットワークPCファクス機能とは

ネットワークPCファクス機能は、プリンタに印刷する感覚でファクス送信できる機能です。
ネットワークPCファクス機能を使うと、コンピュータ上のどのようなアプリケーションからでも本製品から相手先ファクス機器に文書を送信できます。
また送付書をつけることも可能で、コンピュータ上で送付先の電話帳を管理できるので非常に便利です。
ファクス文書が経由するのは通常の電話線です。

補足

本製品では、受信したファクスをコンピュータで確認することもできます。PC ファクス機能の詳細な説明については、「画面で見るマニュアル（HTML形式）」の「PCファクス」を参照してください。

ネットワークPCファクス機能を使う準備

ネットワークPCファクス機能では、アプリケーションから印刷を実行し、ドライバとしてBrother PC -FAXを選択するとPC-FAX ウィンドウが表示されます。このウィンドウで送信先などを設定します。PC ファクス機能の詳細な説明については、「画面で見るマニュアル（HTML形式）」の「PCファクス」を参照してください。

PCファクスの関連付け

1 **Windows® XP の場合は、［スタート］メニューから、［設定］ ー ［プリンタ］ の順に選択する**

Windows® 2000 の場合は、［スタート］メニューから［ 設定］ - ［ プリンタ］ の順にクリックします。
Windows Vista® の場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］をクリックして開き、［ハードウェアとサウンド］から［プリンタ］をクリックします。
「プリンタ」ウィンドウが表示されます。

2 **ブラザー PC-FAX のアイコンを右クリックして表示されるメニューから［プロパティ］をクリックする**

3 **［ポート］タブをクリックし、使用するポートを選択する**

複数台のブラザー MFC 製品をご使用の場合は、ネットワーク PC ファクスに使用する MFC 製品をここで指定してください。わからない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。



4 **［OK］をクリックする**

これで設定は完了です。

● **ネットワークPCファクスを使用して通常のファクス機器に電話線を通じてファクスを送信する**

送信先の欄に送付先のファクス番号を入力するか、またはあらかじめファクス番号を設定したアドレス帳からメンバーを選択してください。

インターネット印刷を使う

インターネット印刷とは

Windows® 2000/XP、Windows Vista®、Windows Server® 2003では、IPP（Internet Printing Protocol）を使用すると、インターネットを通じてプリンタに印刷ジョブを送ることができます。
例えば、東京のオフィスにあるコンピュータ上のMicrosoft® Excelアプリケーションソフトのデータを、大阪のオフィスにあるプリンタで印刷することができます。

インターネット印刷を使う準備

Windows® 2000/XP、Windows Vista®、Windows Server® 2003のIPP(Internet Printing Protocol)を用いたインターネット印刷機能を使用するには、次の手順を実行します。

注意

- ■本製品のIPアドレス設定が完了し、ネットワークに接続されている必要があります。
- ■インターネットを経由して遠隔地にある本製品に IPP 印刷機能で印刷する場合は、サーバまたはルータに各種の設定が必要です。
- ■サーバまたはルータの設定方法や、設定するデータはネットワーク管理者にお問い合わせください。
- ■お買い上げ時のユーザ名は“admin”で、パスワードは“access”に設定されています。

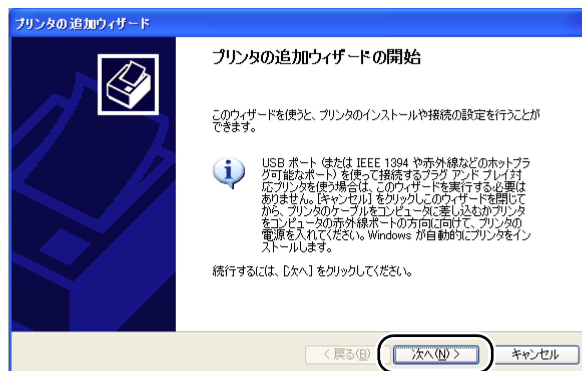
Windows® 2000/XP、Windows Server® 2003 の場合

1 **［スタート］メニューから［プリンタと FAX］をクリックし、［プリンタのインストール］をクリックする**

- Windows® 2000の場合は、［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックし、［プリンタの追加］をダブルクリックします。

［プリンタの追加ウィザード］が表示されます。

2 **［次へ］をクリックする**

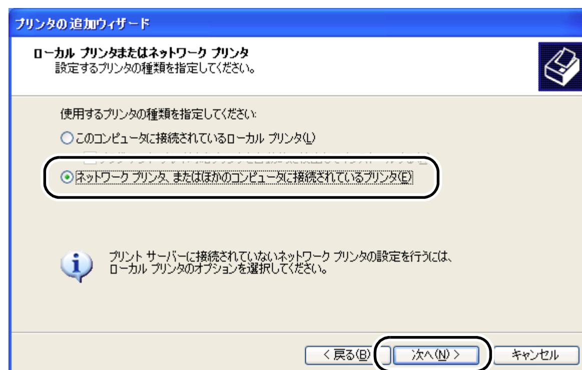


本書の使い方・目次
ネットワークで使う前に
ネットワークの設定
無線LANの設定
Windows環境で使う
Macintosh環境で使う
トラブルシューティング
付録

3 ［ネットワークプリンタまたはほかのコンピュータに接続されているプリンタ］をクリックし、［次へ］をクリックする

- Windows® 2000の場合は、［ネットワークプリンタ］をクリックします。

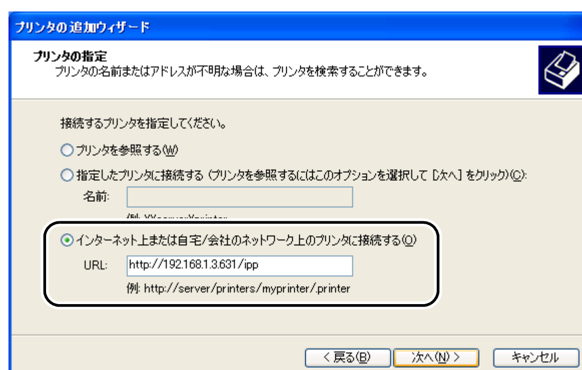
［プリンタの指定］画面が表示されます。



4 ［インターネット上または自宅 / 会社のネットワーク上のプリンタに接続する］をクリックし、［URL:］ボックスに次のURL を入力する

- Windows® 2000の場合は、［インターネットまたはイントラネット上のプリンタに接続します］をオンにし、［URL:］ボックスに次のURLを入力します。

http://IPアドレス:631/ipp



［IP アドレス］は本製品の IP アドレスです。
例）本製品の IP アドレスが 192.168.1.3 の場合
http://192.168.1.3:631/ipp

補足

- ●URLで指定している"631"はIPP標準のポート番号です。
- ●hostsファイルを編集した場合や、またはDNSサーバを使用している場合は、IPアドレスではなく、本製品に割り当てた名前を入力します。

5 ［次へ］をクリックする

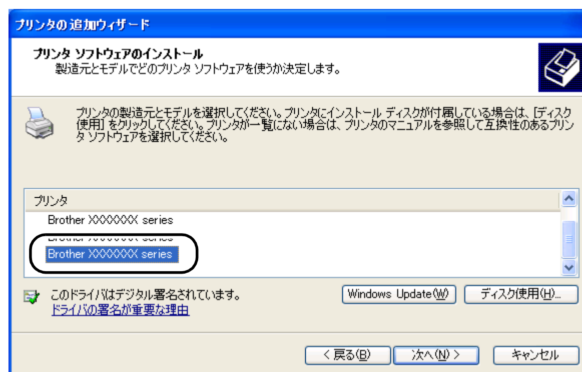
指定した URL に接続されます。

- 必要なプリンタドライバがインストールされている場合
  適したプリンタドライバがコンピュータにインストールされている場合は、そのドライバが自動的に使用されます。
  すでにインストールされているプリンタドライバを使用するかどうかを選択し、［次へ］をクリックします。
  手順8に進んでください。

- 必要なプリンタドライバがインストールされていない場合
  IPP印刷プロトコルのメリットの1つは、通信先のプリンタのモデル名が自動的に確定されることです。プリンタとの通信が確立すると、自動的にプリンタのモデル名が表示されるため、使用するプリンタドライバの種類をWindows® 2000/XP、Windows Server® 2003に対して指定する必要はありません。
  プリンタドライバがインストールされていない場合は、プリンタ追加ウィザードのプリンタ選択画面が表示されます。手順6に進んでください。

6 **使用するプリンタドライバを指定する**

［ディスク使用］をクリックし、付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットし、［参照］をクリックします。
プリンタのリストから、本製品のプリンタドライバを選択します。

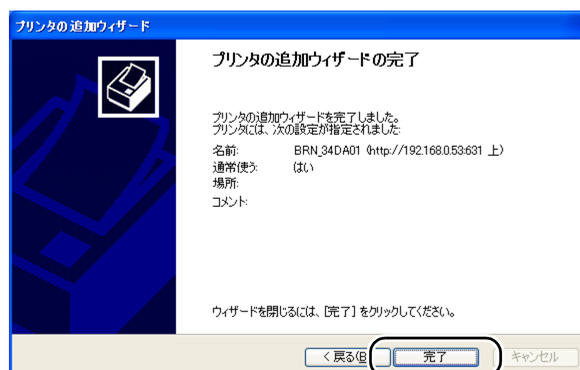


7 **［次へ］をクリックする**

8 **複数のプリンタドライバがインストールされている場合は、本製品を通常使うプリンタとして設定するかどうかを選択し、［次へ］をクリックする**

9 **［完了］をクリックする**

これで、Windows® 2000/XP、Windows Server® 2003 のインターネット印刷機能の設定は完了しました。
このコンピュータを経由してインターネット印刷ができます。

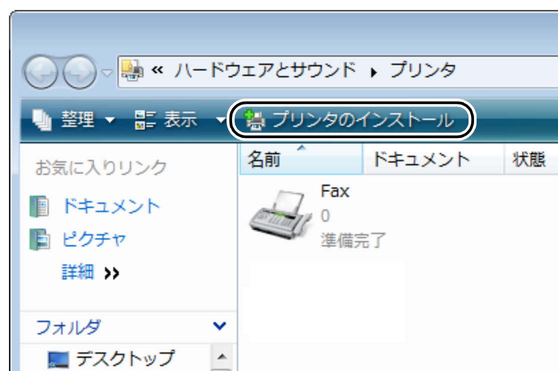


Windows Vista®の場合

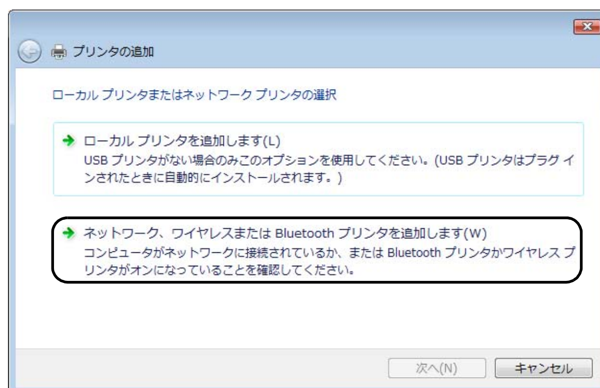
1 **［スタート］メニューから［コントロールパネル］をクリックし、［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］をクリックする**

2 **ツールバーの［プリンタのインストール］をクリックする**

［プリンタの追加］が表示されます。

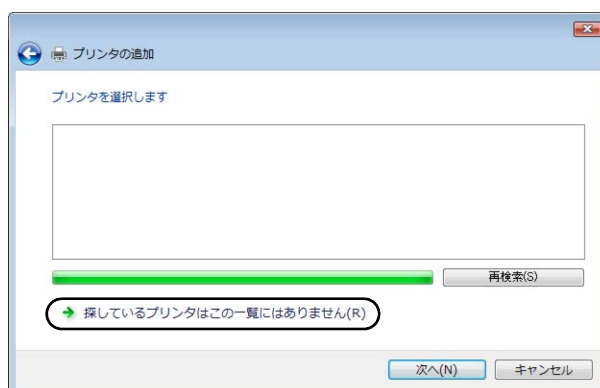


3 ［ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンタを追加します］をクリックする



4 ［探しているプリンタはこの一覧にありません］をクリックする

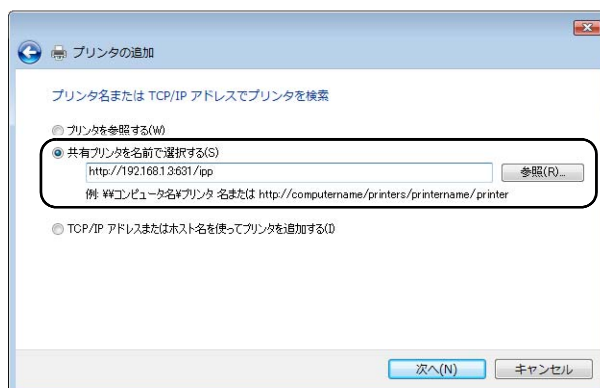
［プリンタ名または TCP/IP アドレスでプリンタを検索］が表示されます。



5 ［共有プリンタを名前で解決する］をクリックし、ボックスに次の URL を入力する

http://IPアドレス:631/ipp

［IP アドレス］は本製品の IP アドレスです。
例)本製品のIPアドレスが192.168.1.3の場合
http://192.168.1.3:631/ipp



補足

- URLで指定している"631"はIPP標準のポート番号です。
- hosts ファイルを編集した場合や、または DNS サーバを使用している場合は、IP アドレスではなく、本製品に割り当てた名前を入力します。

6 ［次へ］をクリックする

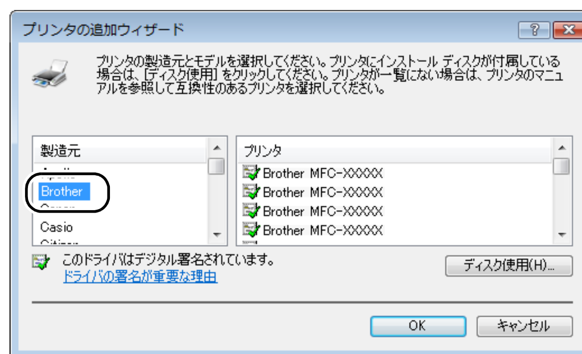
指定した URL に接続されます。

- 必要なプリンタドライバがインストールされている場合
  現在のドライバを使うかどうかを確認するメッセージが表示されます。「現在のドライバを使う（推奨）」を選択し、［次へ］をクリックします。手順10に進んでください。

- 必要なプリンタドライバがインストールされていない場合
  IPP印刷プロトコルのメリットの1つは、通信先のプリンタのモデル名が自動的に確定されることです。プリンタとの通信が確立すると、自動的にプリンタのモデル名が表示されるため、使用するプリンタドライバの種類をWindows Vista®に対して指定する必要はありません。
  プリンタドライバがインストールされていない場合は、プリンタ追加ウィザードのプリンタ選択画面が表示されます。手順7に進んでください。

7 使用するプリンタドライバを指定する

［ディスク使用］をクリックし、付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットし、［参照］をクリックします。
プリンタのリストから、本製品のプリンタドライバを選択します。



補足

- ユーザアカウント制御画面が表示された場合は、［続行］をクリックします。
- 「ドライバソフトウェアの発行元を検証できません」という警告メッセージが表示された場合は、［このドライバソフトウェアをインストールします］をクリックし、インストールを続けます。

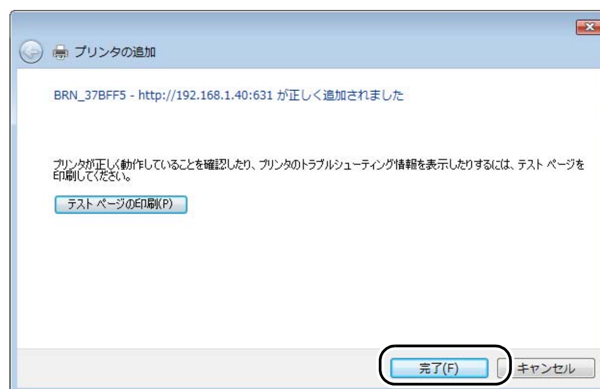
8 ［次へ］をクリックする

9 テストページを印刷する場合は、［テストページの印刷］をクリックする

正しく印刷されたか確認し、［閉じる］をクリックしてください。

10 ［完了］をクリックする

これで、Windows Vista® のインターネット印刷機能の設定は完了しました。
このコンピュータを経由してインターネット印刷ができます。



別のURLを指定する

［URL］ボックスには、次の何種類かの入力が可能です。

補足
「詳細」タブをクリックしても本製品のデータは表示されません。

<推奨>
http://IPアドレス:631/ipp
このURLの使用をお勧めします。

<HP Jetdirect互換用>
http://IPアドレス:631/ipp/port1
HP Jetdirect互換のURLです。

<詳細不明な場合>
http://IPアドレス:631/
URLの詳細を忘れた場合は、このテキストだけでも本製品に受け付けられ、データが処理されます。

<NetBIOSプロトコル>
http://NetBIOS名:631/ipp
NetBIOS名は、設定されているノード名と同じです。

補足
- ［IPアドレス］は、本製品のIPアドレスまたはノード名を入力します。
- 本製品は、TCP/IPおよびNetBIOSをサポートしているため、本製品のNetBIOS名を入力することもできます。NetBIOS名は、設定されているノード名と同じです。
  NetBIOS名は、LAN設定内容リストを印刷して確認できます。詳しくは、「LAN設定内容リストの出力」P.33を参照してください。ノード名の最初の15文字が割り当てられます。
  お買い上げ時のNetBIOS名は、有線ネットワークの場合は“BRNxxxxxxxxxxxx”、無線ネットワークの場合は“BRWxxxxxxxxxxxx”です。

5章

Macintosh®環境で使う

ネットワークプリンタとして使う

本製品は、Mac OS® X 10.2.4以降でサポートされている簡易ネットワーク設定機能に対応しています。
簡易ネットワーク設定機能を使用すれば、ネットワーク上に接続されているプリンタを簡単に使用できるようになります。
簡易ネットワーク設定機能を使う前に、プリンタドライバをインストールする必要があります。かんたん設置ガイドの手順にしたがってドライバのインストールを進めてください。自動的にネットワークの設定が完了します。IPアドレスや本製品のネットワーク構成を手動で設定する必要はありません。

Mac OS® X 10.5.xの場合

1 電源コードが差し込まれていることを確認し、本製品の電源スイッチを ON にする

2 [アップル] メニューの [システム環境設定] を選択する

3 [プリンタとファクス] をクリックする

4 [＋] をクリックする



5 本製品を選択し、［追加］ をクリックする

本製品が利用できるようになります。



Mac OS® X 10.2.4～10.4.xの場合

1 電源コードが差し込まれていることを確認し、本製品の電源スイッチを ON にする

2 [移動] メニューの [アプリケーション] を選択する

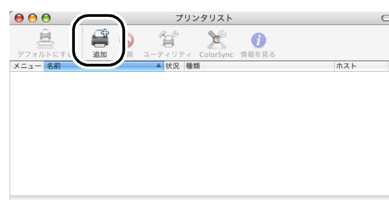
3 [ユーティリティ] フォルダをダブルクリックする

4 [プリンタ設定ユーティリティ] アイコンをダブルクリックする

Mac OS® X 10.2.x の場合は、[プリントセンター] をダブルクリックします。

5 [追加] をクリックする

- Mac OS® X 10.2.4～10.3.xの場合は、手順6に進んでください。
- Mac OS® X 10.4.x以降の場合は、手順7に進んでください。



6 右の画面の通りに選択する



7 本製品を選択し、[追加] をクリックする

本製品が利用できるようになります。

Mac OS® X 10.4.x



Mac OS® X 10.3.x



Mac OS® X 10.2.4



ネットワークスキャン機能の設定

ネットワークスキャン機能とは

ネットワークスキャン機能は、本製品のスキャン機能を使ってネットワーク経由で画像をコンピュータに送ったり、保存したり、またE メールの添付ファイルとして他のコンピュータに送り届けることや、コンピュータからネットワーク経由で本製品から画像を取得することができます。詳しい使い方については、「画面で見るマニュアル（HTML形式）」を参照してください。

注意

■ネットワークスキャン機能を使うには、本製品にTCP/IPの設定をしておく必要があります。

- 操作パネルから設定するにはP.20を参照してください。
  （ネットワークプリンタとしてのTCP/IP設定がすでに完了していれば設定済みです。）
- ウェブブラウザから設定するにはP.34を参照してください。

ネットワークスキャン機能を使用する前に

ネットワークスキャン機能を使うには、まずスキャナドライバをインストールする必要があります。

スキャナドライバのインストール

付属のCD-ROM をCD-ROM ドライブに入れると、自動的にドライバのインストールが始まります。画面の指示に従って、ドライバのインストールを継続してください。詳しくはかんたん設置ガイドの「STEP2 パソコンに接続する」を参照してください。

補足

「スキャン to FTP」および「スキャン to Eメール」機能は、ドライバのインストールを実施しなくても使用することができます。

設定の変更

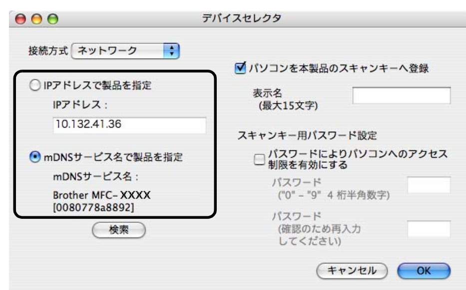
ドライバがすでにインストールされている場合、以下の手順に従って設定をしてください。

1 **［Library］フォルダの［Printers］-［Brother］-［Utilities］-［DeviceSelector］の［デバイスセレクタ］をダブルクリックする**

［デバイスセレクタ］ウィンドウが開きます。

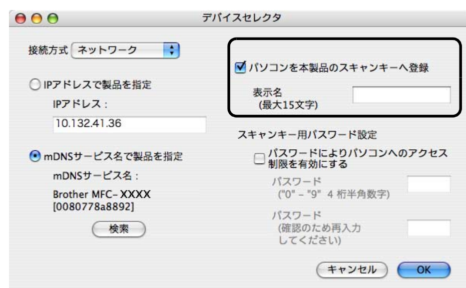
2 **IP アドレスまたは mDNS サービス名を入力する**

IP アドレスを変更する場合は、新しい IP アドレスを入力します。
［検索］ボタンをクリックすると、接続可能な製品が表示されますので、表示されるリストから選択することもできます。



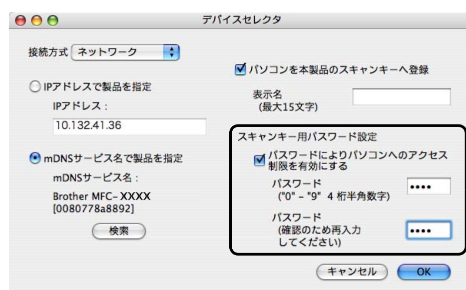
3 スキャン画像を取り込むコンピュータ名を登録する

本製品の「スキャン」ボタンを操作した時に本製品の液晶ディスプレイ上に表示されるこのコンピュータ名です。



4 他の人からのアクセス制限をしたい場合は、パスワードを設定する

パスワードを設定しておくと、ネットワークスキャンしたときに本製品側でパスワードを入力しなければスキャン画像が送信できなくなります。



5 ［OK］をクリックする

ネットワークPCファクス機能（送信のみ）を使う

ネットワークPC ファクス 機能では、アプリケーションの［ファイル］メニューから［プリント］を選び、プリントダイアログで「ファクス送信」を選択するとPC-FAX ウィンドウが表示されます。このウィンドウで送信先などを設定します。PC ファクス機能の詳細な説明については、「画面で見るマニュアル（HTML形式）」の「PCファクス」を参照してください。

ネットワークPCファクス機能とは

PC ファクス 機能を利用すると、コンピュータ上のアプリケーションで作成した印刷データを、ネットワーク上の本製品からファクスとして送信できます。
PCファクス を使うときは、あらかじめMacintosh®の アドレス帳に相手先を登録しておくと、ファクス送信先を簡単に設定できます。

補足

ファクスの送信手順やアドレス帳の使い方などについては、「画面で見るマニュアル（HTML形式）」の「PCファクス」を参照してください。

本書の使い方・目次
ネットワークで使う前に
ネットワークの設定
無線LANの設定
Windows環境で使う
Macintosh環境で使う
トラブルシューティング
付録

6章

トラブルシューティング

概要

ネットワークプリンタを使用する上で、発生する可能性のある問題とその解決方法について説明しています。

問題の種類を下記の5つに分けています。該当する問題のページを参照してください。

- 接続と設定についての問題の解決方法についてはP.130を参照してください。
- プロトコル固有の問題の解決方法についてはP.132を参照してください。
- ファイアウォールの問題の解決方法についてはP.134を参照してください。
- 無線LANの問題の解決方法については P.139 を参照してください。
- その他の問題の解決方法についてはP.142を参照してください。

接続と設定についての問題

ネットワークを通じて印刷することができない場合は、次の項目をチェックします。

1 本製品がオンラインであり、印刷できる状態であることを確認する

補足

LAN 設定内容リスト印刷して、ノード名（NetBIOS 名）と MAC アドレスを調べることができます。P.33 を参照してください。

ネットワークを通じて正常に印刷されない場合、以下を確認してください。

a. 本体背面の 10BASE/100BASE-TX ポートの近くにあるネットワーク LED が点滅していない場合は、ネットワークの設定に異常があると考えられます。

b. この場合は、LAN 設定をお買い上げ時の設定にリセットします。
- LAN 設定の初期化 P.32 を実行後、LAN 設定内容リストの出力 P.33 で LAN 設定内容リストを印刷してください。

2 設定情報は印刷できるのに通常のドキュメントが印刷できない場合は、次の手順を実行する

次の手順を実行しても印刷できない場合は、ハードウェアまたはネットワークに問題があると考えられます。

a. TCP/IP を使用している場合
コンピュータから次のコマンドを実行し、本製品へのpingテストを行います。

ping IPアドレス

［IPアドレス］は本製品のIPアドレスです。
本製品にIPアドレスがロードされるまでに、IPアドレスの設定後最大2分間程度かかる場合があります。
- 応答が正しく返される場合は、P.132 の各トラブルシューティングへ進みます。

例）**C:¥>ping 192.168.1.3**

```
Pinging 192.168.1.3 with 32 bytes of data:

Reply from 192.168.1.3: bytes=32 time<10ms TTL=255
Reply from 192.168.1.3: bytes=32 time<10ms TTL=255
Reply from 192.168.1.3: bytes=32 time<10ms TTL=255
Reply from 192.168.1.3: bytes=32 time<10ms TTL=255

Ping statistics for 192.168.1.3:
     Packets: Sent = 4, Received = 4, Lost = 0 (0% loss),
Approximate round trip times in milli-seconds:
     Minimum = 0ms, Maximum =  0ms, Average =  0ms
```

- 応答が返らない場合は、手順 3、4 を確認した後でP.132へ進みます。
  例）**C:¥>ping 192.168.1.3**

```
Pinging 192.168.1.3 with 32 bytes of data:

Request timed out.
Request timed out.
Request timed out.
Request timed out.

Ping statistics for 192.168.1.3:
    Packets: Sent = 4, Received = 0, Lost = 4 (100% loss),
Approximate round trip times in milli-seconds:
    Minimum = 0ms, Maximum =  0ms, Average =  0ms
```

3 手順 2 で接続できなかった場合は、次の項目を確認する

a. 本製品がオンラインになっていることを確認します。
b. 接続ケーブルとネットワークとの接続をチェックし、LAN 設定内容リストを印刷します。詳しくはP.33を参照してください。<Network Statistics> セクションに <Packets Received> でデータがあるかどうかを調べます。
c. LED の表示をチェックします。
本製品の背面には 2 個のネットワーク LED があります。この LED を使用して、問題の診断を行うことができます。
- 消灯
  LED が両方とも消灯している場合は、ネットワークに接続されていないことを示します。
- Link/Activity（緑色）
  リンク On：点灯　Activity：消灯
- Speed（オレンジ色）
  100BASE：点灯　10BASE：消灯

4 本製品とホストコンピュータとの間にブリッジまたはルータが存在する場合は、ホストから本製品へのデータの送受信ができるように設定されていることを確認する

例えば、ブリッジは特定の IP アドレスのデータだけが通過できるように設定されていること（フィルタリング）があります。本製品の IP アドレスが含まれるように設定してください。
ルータは特定のプロトコルだけを通過させるように設定されていることがあります。本製品で使用するプロトコルが通過できるように設定されていることを確認してください。

本書の使い方・目次
ネットワークで使う前に
ネットワークの設定
無線LANの設定
Windows環境で使う
Macintosh環境で使う
トラブルシューティング
付録

プロトコル固有の問題

TCP/IPのトラブルシューティング

ハードウェアとネットワークのチェックでは問題がないにも関わらず、TCP/IPを使用してネットワークプリンタに正しく印刷できない場合は、次の項目をチェックします。

補足

設定エラーによる原因をなくすため、項目をチェックする前に次の手順を行うことをお勧めします。

- 本製品の電源を入れ直す。
- LAN設定の初期化を行ってから設定し直し、新しい印刷キューを作成します。

1 IP アドレスの不一致や重複が原因で問題が発生していないか確認する

- 本製品に正しいIPアドレスがロードされていることを確認します。
- ネットワーク上の他のノードで、このIPアドレスが使用されていないことを確認します。TCP/IP印刷の問題で最も多い原因はIPアドレスの重複です。

2 同一のネットワークに接続されているか確認する

同一セグメント（ルータ内で物理的に同じ接続）であっても、IP アドレスに誤りがあると、別のネットワークに接続されていると認識されます。すでに利用中のコンピュータがある場合は、接続しているネットワークの情報を調べます。

- Windows® 2000/XP/Windows Vista®の場合
  Windows®メニューのコマンドプロンプトからipconfig/allを実行します。
- Mac OS® X 10.2.4以降の場合
  「システム環境設定」の「ネットワーク」で確認できます。

例）利用中のコンピュータの情報が以下の場合

IP アドレス	192.168.1.50
サブネットマスク	255.255.255. 0

本製品の IP アドレスが、192.168.1.x に設定されているかを確認してください。例えば、192.168.0.x となっていると、異なるネットワークアドレスと認識されるため、印刷できなくなります。

3 ルータを再起動する

ルータはアクセスを速くする為にルーティング・テーブル、宛先 IP テーブルなどを持っています。これは一定期間、情報を保持し必要に応じて更新されます。もし、ネットワーク内で接続し直したり接続しているノードの IP アドレスの変更を繰り返し行った直後には、すべての IP アドレスに誤りが無くても正常に動作しない場合があります。この場合はルータを再起動させて回避できます。再起動の操作手順については、ルータの取扱説明書をご覧ください。

インターネット印刷のトラブルシューティング

Windows® 2000/XP、Windows Server® 2003、Windows Vista®でインターネット印刷に問題がある場合は、次の項目を確認します。

印刷データがファイアウォールを通過できない

IPP印刷にポート631を使用すると、印刷データがファイアウォールを通過できない場合があります。ポート番号を変更するか（ポート80など）、ポート631を使用できるようにファイアウォールの設定を変更します。

ポート80（標準HTTPポート）を使用するプリンタに、IPPを使用して印刷ジョブを送信する場合、Windows®での設定時に、次のデータを入力します。

http://IPアドレス/ipp

Windows® 2000 での［詳細］オプションが使用できない

Windows® XP での［プリンタの Web サイト］オプションが使用できない

http://IPアドレス:631/ippのURLを使用している場合は、Windows® 2000での［詳細］オプションおよびWindows® XPでの［プリンタのWebサイト］オプションは使用できません。
これらのオプションを使用するには、次のURLを使用してください。

http://IPアドレス

これは本製品のインターネット印刷にポート80を割り当てるURLです。

Windows® 2000/XPと本製品との通信にポート80が使用できます。

ウェブブラウザのトラブルシューティング

1 **ウェブブラウザを使用してネットワークプリンタに接続できない場合は、ブラウザのプロキシの設定を確認する**

プロキシを使用しないように設定し、必要に応じて本製品の IP アドレスを入力します。
ネットワークプリンタの接続時に、毎回コンピュータが ISP やプロキシサーバへの接続を試行しなくなります。

2 **使用しているウェブブラウザが適しているか確認する**

Windows® の場合は Microsoft Internet Explorer 6.0 以降または Firefox 1.0 以降、Macintosh® の場合は Safari 1.0 以降を推奨いたします。

Windows®のインターネット接続ファイアウォールの問題

Windows® XP/Windows Vista®で、「インターネット接続ファイアウォール」を有効にしている場合、以下のような制限が発生します。

- TCP/IPピアツーピア印刷　　印刷できない場合があります。
- ネットワークスキャナ　　アプリケーションからスキャンできない場合があります。
  本製品の［スキャン］による以下の機能が利用できません。
  - スキャン to Eメール
  - スキャン to イメージ
  - スキャン to OCR
  - スキャン to ファイル
- ネットワークPCファクス受信　　受信ができない場合があります。
- BRAdmin Light　　本製品の検索ができない場合があります。

これらの機能を利用する場合は、以下の手順でファイアウォール設定を変更する必要があります。ただし、変更設定はセキュリティーポリシーによって適切、不適切と判断される場合があります。ご利用の環境に最も適した設定方法を選択してください。

Windows® XP Service Pack2の場合

● インターネット接続ファイアウォールを無効にする

1. ［スタート］メニューから［コントロールパネル］－［ネットワークとインターネット接続］－［Windows ファイアウォール］の順にクリックする
2. ［全般］タブが選択されている画面で、［無効（推奨されません）］をクリックする

※ファイアウォール機能を無効に設定した場合の結果については、当社は一切その責任を負いません。あらかじめご了承ください。

補足

ブラザーインストーラ、プリンタドライバなどのインストールが完了したら、ファイアウォールの設定を有効に戻してください。

● インターネット接続ファイアウォールを有効にしたまま設定を変える

1. ［スタート］メニューから［コントロールパネル］－［ネットワークとインターネット接続］－［Windows ファイアウォール］の順にクリックする
2. ［例外］タブをクリックする
3. ［ポートの追加］ボタンをクリックする

本書の使い方・目次
ネットワークで使う前に
ネットワークの設定
無線LANの設定
Windows環境で使う
Macintosh環境で使う
トラブルシューティング
付録

4 「ポートの追加」ウィンドウでは以下の情報を入力する

機能	名前（N）※1	ポート番号(P)	プロトコル (TCP/UDP)
ネットワークスキャン	例）Brother NetScan	54925	UDP(U)
ネットワークPCファクス受信	例）Brother PC-FAX RX	54926	UDP(U)
ネットワークスキャンおよびネットワークPCファクス受信	例）Brother NetScan_PC-FAX	137※2	UDP(U)

※1 名称は任意です。
※2 「ネットワークスキャン」にポート番号「54925」、ネットワーク PC ファクス受信にポート番号「54926」を追加してもネットワーク接続に問題がある場合は、ポート番号「137」を追加します。ポート番号「137」もネットワークを使った印刷やリモートセットアップをサポートしています。

5 「ポートの追加」ウィンドウの左下の［スコープの変更］ボタンをクリックする

6 「スコープの変更」ウィンドウでは［ユーザーのネットワーク（サブネット）のみ］を選択する

7 全ての画面を［OK］で閉じて完了する

ローカルネットワークで Windows® XP をインストールした複数のコンピュータから本製品を利用する場合、それぞれのコンピュータに対して、同様の設定変更が必要になります。このような場合はWindows® XPのファイアウォール機能をすべて無効にし、ルータでサポートされているファイアウォール機能を利用することをお勧めします。詳しくは、ネットワーク管理者に問い合わせるか、ルータの取扱説明書をご覧ください。

※ファイアウォール機能を無効に設定した場合の結果については、当社は一切その責任を負いません。あらかじめご了承ください。

Windows Vista®の場合

● インターネット接続ファイアウォールを無効にする

1 ［スタート］メニューから［コントロールパネル］－［ネットワークとインターネット］－［Windows ファイアウォール］の順にクリックする

2 表示された画面で［設定の変更］をクリックする

「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。

3 管理者権限のあるユーザの場合は、［続行］をクリックする
管理者権限のないユーザの場合は、管理者アカウントのパスワードを入力し、［OK］をクリックする

4 ［全般］タブで［無効（推奨されません］をクリックする

5 [OK] ボタンをクリックして、すべての画面を閉じる

※ファイアウォール機能を無効に設定した場合の結果については、当社は一切その責任を負いません。あらかじめご了承ください。

補足
ブラザーインストーラ、プリンタドライバなどのインストールが完了したら、ファイアウォールの設定を有効に戻してください。

● インターネット接続ファイアウォールを有効にしたまま設定を変える

1 [スタート] メニューから [コントロールパネル] − [ネットワークとインターネット] − [Windows ファイアウォール] の順にクリックする

2 表示された画面で [設定の変更] をクリックする
「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。

3 管理者権限のあるユーザの場合は、[続行] をクリックする
管理者権限のないユーザの場合は、管理者アカウントのパスワードを入力し、[OK] をクリックする

4 [例外] タブをクリックする

5 [ポートの追加] ボタンをクリックする

6 「ポートの追加」ウィンドウでは以下の情報を入力する

7 ネットワーク PC ファクス受信を行う場合は、同様の手順で、以下の情報を入力する

機能	名前 (N) ※1	ポート番号(P)	プロトコル (TCP/UDP)
ネットワークスキャン	例) Brother NetScan	54925	UDP(U)
ネットワークPCファクス受信	例) Brother PC-FAX RX	54926	UDP(U)
ネットワークスキャンおよび ネットワークPCファクス受信	例) Brother NetScan_PC-FAX	137※2	UDP(U)

※1 名称は任意です。
※2 「ネットワークスキャン」にポート番号「54925」、ネットワーク PC ファクス受信にポート番号「54926」を追加してもネットワーク接続に問題がある場合は、ポート番号「137」を追加します。ポート番号「137」もネットワークを使った印刷やリモートセットアップをサポートしています。

8 「ポートの追加」ウィンドウの左下の［スコープの変更］ボタンをクリックする

9 「スコープの変更」ウィンドウでは［ユーザーのネットワーク（サブネット）のみ］を選択する

10 全ての画面を［OK］で閉じて完了する

ローカルネットワークでWindows Vista®をインストールした複数のコンピュータから本製品を利用する場合、それぞれのコンピュータに対して、同様の設定変更が必要になります。このような場合はWindows Vista®のファイアウォール機能をすべて無効にし、ルータでサポートされているファイアウォール機能を利用することをお勧めします。詳しくは、ネットワーク管理者に問い合わせるか、ルータの取扱説明書をご覧ください。

※ファイアウォール機能を無効に設定した場合の結果については、当社は一切その責任を負いません。あらかじめご了承ください。

ウイルス対策ソフトの問題

市販のアンチウイルスソフト（ウイルスバスター™、Norton AntiVirus™ など）でパーソナルファイアウォール機能が有効に設定されている場合も、Windows® XP/Windows Vista®と同様の影響を受けます。詳しい設定方法についてはソフトウェア提供元へご相談ください。

無線LANの問題

ブラザーインストーラからの無線LAN設定時に本製品を検出できない

ブラザーインストーラから無線LANアクセスポイントの簡単設定を使用して自動で無線LAN設定をしているときに、利用可能な Brother 無線プリントサーバーのリストに本製品が表示されない場合は、【接続状態】が【アクティブ（11b)】または【アクティブ（11g)】となっていることを確認してください。詳しくはP.103を参照してください。
「無線LAN オフ」または「接続 失敗」と表示される場合は、本製品が正常に機能していないことがあります。次の項目をチェックしてください。

1 **ご使用のコンピュータを本製品の 1m 以内に移動し、もう一度操作を繰り返す**

2 **本製品をお買い上げ時の設定に戻して、もう一度操作を繰り返す**

補足
お買い上げ時の設定にリセットする方法については、P.106（無線 LAN 設定のみ）またはP.32（LAN 設定全て）を参照してください。

無線LANの設定中に、なぜ本製品のネットワーク設定を「有線LAN」に変更するのですか？

ご使用のパソコンがWindows® 2000、Mac OS® X 10.2.4以降の場合、またはコンピュータがLANケーブルを使用して無線LANに接続されている場合は、一時的にLANケーブルで無線LANアクセスポイントに接続して設定することを奨励しています。その場合、コンピュータの設定を一時的に有線LANに変更する必要があります。ネットワークの設定は、設定の過程で自動的に無線LANの設定に変更されます。

● Windows® の場合

- 「ブラザーインストーラを使用する（Windows®）」P.62

● Macintosh® の場合

- 「ブラザーインストーラを使用する（Macintosh®）」P.78

無線LANアクセスポイントに接続できない

接続先の無線 LAN アクセスポイントの属するネットワーク内のコンピュータと本製品が正常に通信できないときは、無線LANアクセスポイントに接続できていない可能性があります。次の項目をチェックしてください。

1 **無線 LAN アクセスポイントの設定で、MAC アドレスフィルタリングによる接続制限をしている場合は、接続を許可する MAC アドレスのリストに本製品の MAC アドレスを追加登録する**

2 **無線 LAN アクセスポイントに WEP キーの設定がされている場合は、本製品にも WEP キーの設定を行なう**

無線LANが時々つながらなくなる

無線LAN接続の状態は、本製品とその他の無線LAN機器の配置関係によって影響を受けます。
次のような条件によって、接続の問題が生じる場合があります。

- 本製品と無線LANアクセスポイントとの間に、コンクリートや金属構造の壁が設置されている。
- 無線 LAN の近くに、テレビ、コンピュータ制御の電化製品、電子レンジ、インターカム、携帯電話、バッテリー充電器、AC 電源アダプターなどの電化製品が設置されている。
- 近くに、放送局や高圧線がある。
- 蛍光灯のスイッチが入り切りされる状況がある。
- その他、無線通信を利用している機器がある。

無線LANで印刷ができない

1 本製品の電源がオンで、オンラインであり、印刷できる状態であることを確認する

2 ご使用のコンピュータを本製品の 1m 以内に移動し、もう一度操作を繰り返す

3 本製品のネットワーク設定ページを印刷し、無線設定および IP アドレスの設定などが使用するネットワークに適していることを確認する

不正な無線設定または重複した IP アドレスが原因でトラブルが発生することがあります。無線設定および IP アドレスが正しく設定されていることを確認してください。また、その IP アドレスがネットワーク上の他のノードで使用されていないことを確認してください。

4 OS のコマンドプロンプトから以下のように、ping（ネットワーク診断プログラム）を本製品に対して実行する

ping 192.168.1.3

192.168.1.3 は本製品の IP アドレスです。（IP アドレスを設定した後または電源を入れた後、本製品が IP アドレスを表示するまでに数分かかることがあります。）

- 応答が正しく返される例：下記のように表示されます。

例）

```
C:¥>ping 192.168.1.3

Pinging 192.168.1.3 with 32 bytes of data:

Reply from 192.168.1.3: bytes=32 time<10ms TTL=255
Reply from 192.168.1.3: bytes=32 time<10ms TTL=255
Reply from 192.168.1.3: bytes=32 time<10ms TTL=255
Reply from 192.168.1.3: bytes=32 time<10ms TTL=255

Ping statistics for 192.168.0.53:
   Packets: Sent = 4, Received = 4, Lost = 0 (0% loss),
Approximate round trip times in milli-seconds:
   Minimum = 0ms, Maximum =  0ms, Average =  0ms
```

• 応答が返らない例：下記のように表示されます。
例）**C:¥>ping 192.168.1.3**

```
Pinging 192.168.1.3 with 32 bytes of data:

Request timed out.
Request timed out.
Request timed out.
Request timed out.

Ping statistics for 192.168.1.3:
   Packets: Sent = 4, Received = 0, Lost = 4 (100% loss),
Approximate round trip times in milli-seconds:
   Minimum = 0ms, Maximum =  0ms, Average =  0ms
```

5 **上記の手順３または４が正しく終了しなかった場合には、本製品をお買い上げ時の設定に戻し、最初からもう一度設定する**

補足
お買い上げ時の設定にリセットする方法については、P.106（無線LAN設定のみ）またはP.32（LAN設定全て）を参照してください。

6 **Windows® XP/Windows Vista® のインターネット接続ファイアウォール（ICF）など、個人用のファイアウォールがコンピュータで作動していないことを確認する**
ファイアウォールが作動している場合は、一時的に無効にして、もう一度操作を繰り返す

印刷中のエラー

他のユーザーが大量のデータ（例：多量のページまたは高解像度のカラーページ）を印刷している間に印刷を実行すると、本製品は実行中の印刷が終了するまで印刷ジョブを受け付けることができません。
印刷ジョブの待ち時間を超えると、エラーメッセージを返します。このようなときは、他のユーザーのジョブが終了した後に印刷を再度実行してください。

その他の問題

その他に問題が発生する場合は、以下の手順で確認します。

1 **容量の小さいジョブは正しく印刷でき、グラフィックなど容量の大きいジョブの印刷品質に問題があったり不完全に印刷される場合は、プリンタに搭載されているメモリの容量や、最新のプリンタドライバがコンピュータにインストールされているかどうかを確認する**

プリンタの最新ドライバは、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））からダウンロードできます。

2 **その他、まれに発生する問題の原因は、各プロトコル別のトラブルシューティング**P.132**を参照する**

7章

付録

操作パネル以外からIPアドレスを設定する

TCP/IPプロトコルを使用するには、ネットワーク上の各デバイスに固有のIPアドレスを設定する必要があります。
ここでは、2章で紹介していない本製品のIPアドレスの設定方法について説明します。

IPアドレスの設定

● IP アドレスの自動設定機能

本製品は各種のIPアドレス自動配布機能に対応しています。
お買い上げ時の設定では以下の自動設定機能が有効になっており、本製品起動時に自動的に IP アドレスを割り当てることができます。

お買い上げ時の設定：IP アドレス配布サーバを使用する（詳しくはP.146 を参照してください。）

- 設定されるIPアドレス内容は、IPアドレス配布サーバに依存します。
- 上記の IP アドレス配布サーバーがない環境では、APIPA 機能によって、自動的にアドレスを割り当てます。（上記 IP アドレス配布サーバからの割り当てが優先します。）

アドレス：169.254.1.0～169.254.254.255の範囲のいずれかになります。

サブネットマスク：255.255.0.0

ゲートウェイ：0.0.0.0

注 意

■APIPA による割り当ては、使用しているネットワークでの IP アドレス設定規則に適さない場合があります。そのような場合は、APIPA以外の方法でIPアドレスを割り当ててください。

■APIPA機能を無効にしたい場合は、P.29 を参照してください。
お買い上げ時の設定では、APIPAは「ｵﾝ」に設定されています。

IPアドレスの自動設定機能が無効な場合の初期設定のIPアドレスは、192.0.0.192です。使用しているネットワークのIPアドレス設定規則に合わせて、IPアドレスを変更してください。
IPアドレスは、次項「IP アドレスの設定方法」のいずれかの方法で変更できます。

補 足

LAN設定内容リストを印刷して、現在の設定値を調べることができます。
詳しくはP.33 を参照してください。

● IP アドレスの設定方法

ネットワークの設定状態に応じて、以下の方法があります。
なお、使用するコンピュータと同じネットワーク上に本製品が接続されている場合は、IP アドレスとサブネットマスクを設定します。ルータ越しに接続されている場合は、さらにルータ（ゲートウェイ）のアドレスも設定します。

お買い上げ時の状態の本製品を使用する場合：

- 操作パネルを使用する。P.20
- BRAdmin Lightを使用する。P.40

TCP/IP で通信できる状態の本製品の設定を変更する場合：

- 操作パネルを使用する。P.20
- HTTP（ウェブブラウザ）を使用する。P.34
- BRAdmin Lightを使用する。P.40

補 足

設定を変更するときは、パスワードの入力を要求される場合があります。お買い上げ時のパスワードは“access”です。

IPアドレスの設定方法

手動で設定する（BRAdmin Light）

BRAdmin Lightは、ネットワークに接続されたブラザー製品を設定するユーティリティソフトです。
ネットワーク上のブラザー製品の検索やステータス表示、IPアドレスなどのネットワークの基本設定が行えます。

BRAdmin Lightは、Windows® 2000/XP/Windows Vista®、Windows Server® 2003およびMac OS® X 10.2.4 以降に対応しています。

補足

IPアドレスの手動設定は、操作パネルからも設定できます。詳しくはP.20を参照してください。設定してあるIPアドレスを変更する場合は、HTTP（ウェブブラウザ）を使用することもできます。

BRAdmin Light での設定方法

注意

■BRAdmin Lightは付属のCD-ROM内に収録されています。

■さらに高度なプリンタ管理を必要とされる場合は、BRAdmin Professional ユーティリティ（Windows®版のみ）をご利用ください。
BRAdmin Professionalはサポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））で提供しております。

■BRAdmin Light を操作するコンピュータで、「ファイアウォール」を有効にしている場合は、BRAdmin Light の「稼動中のデバイスの検索」機能が利用できません。利用する場合は、一時的にファイアウォールを無効に設定してください。

■BRAdmin Lightで表示される本製品のお買い上げ時ノード名は有線LANの場合は“BRNxxxxxxxxxxxx”、無線LANの場合は“BRWxxxxxxxxxxxx”となっています。（「xxxxxxxxxxxx」はMACアドレスです。）

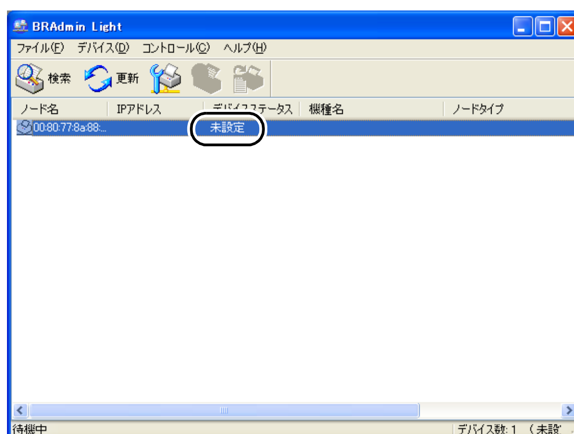
■本製品のお買い上げ時のパスワードは“access”です。

1 **BRAdmin Light ユーティリティを起動する**

Windows® 版の場合は、［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［BRAdmin Light］－［BRAdmin Light］の順に選択します。
Mac OS® X 版の場合は、デスクトップ上の［Macintosh HD］から、［ライブラリ］－［Printers］－［Brother］－［Utilities］－［BRAdmin Light.jar］の順に選択します。

BRAdmin Light が起動し、自動的に接続されているデバイスを検索します。

2 **「未設定」をダブルクリックする**



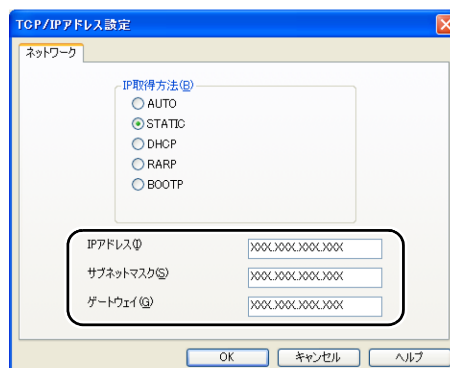
本書の使い方・目次
ネットワークで使う前に
ネットワークの設定
無線LANの設定
Windows環境で使う
Macintosh環境で使う
トラブルシューティング
付録

補足

●本製品がお買い上げ時の設定の場合（DHCP、BOOTP、RARP などの IP アドレス配布サーバを利用していない場合）に、「未設定」として表示されます。

●ネットワークインターフェースがすでに設定されている場合や IP アドレスの自動設定機能により IP アドレスが割り当て済みの場合には、本製品のネットワークインターフェースが表示されます。

3 **［IP アドレス］［サブネットマスク］［ゲートウェイ］を入力する**



4 **［OK］をクリックする**

アドレス情報が本製品に保存されます。

DHCPを使用する

DHCPは、IPアドレス自動割り当て機能の1つです。ネットワークにDHCPサーバがある場合は、そのDHCPサーバから本製品に自動的にIPアドレスなどが割り当てられます。

注意

DHCP、BOOTP、RARPまたはAPIPA機能を使用しない場合は、自動的にIPアドレスを取得しないように設定してください。操作パネル、BRAdmin LightまたはHTTP（ウェブブラウザ）を使用して、IPの設定方法を手動（static（固定））に設定します。

APIPAを使用する

APIPA は、IPアドレス配布サーバがない環境で、本製品が自分自身でIPアドレスを割り当てるIPアドレスの自動設定機能です。APIPA は、本製品のIPアドレスを169.254.1.0から169.254.254.255の範囲で自動的に割り当てます。また、サブネットマスクを255.255.0.0、ゲートウェイアドレスを0.0.0.0に設定します。

お買い上げ時の設定では、APIPA は「オン」に設定されています。APIPA 機能を「オフ」にしたい場合は、P.29 を参照してください。
APIPA機能を「オフ」にすると、本製品のIPアドレスは192.0.0.192になります。このIPアドレスは手動で変更できます。

RARPを使用する

RARP は、問合せに対しRARPサーバが本製品のMACアドレスに対応するIPアドレスを自動的に割り当てるIPアドレスの自動設定機能です。

補足

RARPサーバの設置についてはRARPの説明書を参照してください。

設定は、問合せを行うクライアントマシンに/etc/ethersファイルを準備して行います。/etc/ethersファイルに、以下の行を追加しておきます。（無線LANの場合は、「BRN」の部分を「BRW」にします。）

入力例：00:80:77:31:01:07　　　BRN008077310107

注意

この場合のホスト名はノード名を入力してください。お買い上げ時のノード名は有線LANの場合は“BRNxxxxxxxxxxxx”、無線LANの場合は“BRWxxxxxxxxxxxx”となっています。「xxxxxxxxxxxx」はMACアドレスです。

続いてrarpd を起動し、RARPを確認するコマンドをサーバに送ります。

Berkrly UNIX システムの場合の入力例：

ps -ax | grep -v grep | grep rarpd

AT&T UNIX システムの場合の入力例：

ps -ef | grep -v grep | grep rarpd

RARPサーバが本製品の起動時にIPアドレスを割り当てます。

注意

RARPのコマンドは、使用しているシステムにより異なります。設定前にシステムのコマンドを確認してください。

BOOTPを使用する

BOOTPは、RARPとは別の方法でIPアドレスを取得する方法で、IPアドレスのほか、サブネットマスクやゲートウェイアドレスも取得します。
BOOTPを利用する場合は、あらかじめホストコンピュータでBOOTPを実行しておきます。

補足
BOOTPサーバの設置についてはBOOTPの説明書を参照してください。

● /etc/inetd.conf の編集

BOOTPを起動します。一般的には inetd から起動します。
/etc/inetd.conf を編集し、以下の行先頭の ＃（コメントアウト）をはずします。

```
#bootp dgram udp wait /usr/etc/bootpd bootpd -i
```

補足
システムによっては1語目の「bootp」が「bootps」になっています。

● /etc/bootptab の編集

/etc/bootptab を編集し、IP アドレスや BOOT 用ファイル名を指定します。（無線 LAN の場合は、「BRN」の部分を「BRW」にします。）

入力例： BRN008077310107 1 00:80:77:31:01:07 192.189.207.3 と

```
BRN008077310107:ht=ethernet:ha=008077310107:\
ip=192.189.207.3:
```

BOOTPサーバが本製品の起動時にIPアドレスを割り当てます。

注意
構成ファイルにダウンロードファイル名を含めない場合、BOOTPサーバはBOOTP要求に応じません。

オートマチックドライバインストーラを使う

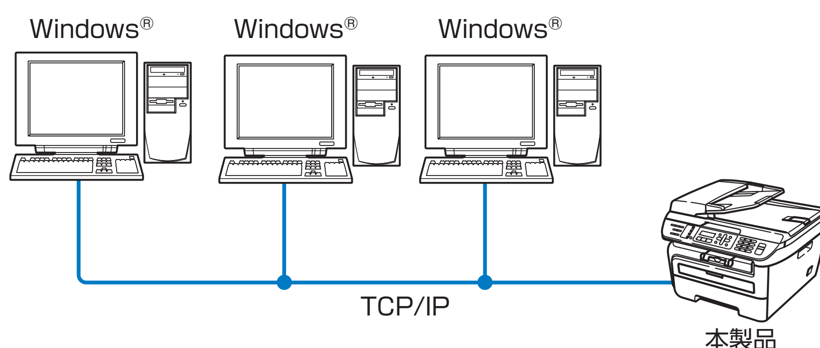
プリンタドライバをご使用の設定に合わせて作成するツールです。ネットワーク接続のみにオリジナルドライバを作成でき、ユーザーに配布することができます。配布インストーラは、OS毎の作成が必要です。
プリンタドライバとソフトウェアを同時にインストールできるため、わずらわしい設定作業をすることなくプリンタドライバの設定が可能になり、インストール作業の時間と手間を省けます。
このソフトウェアはWindows®専用です。

オートマチックドライバインストーラが対応する本製品の接続方法

オートマチックドライバインストーラが対応する本製品の接続方法は、次の2種類です。

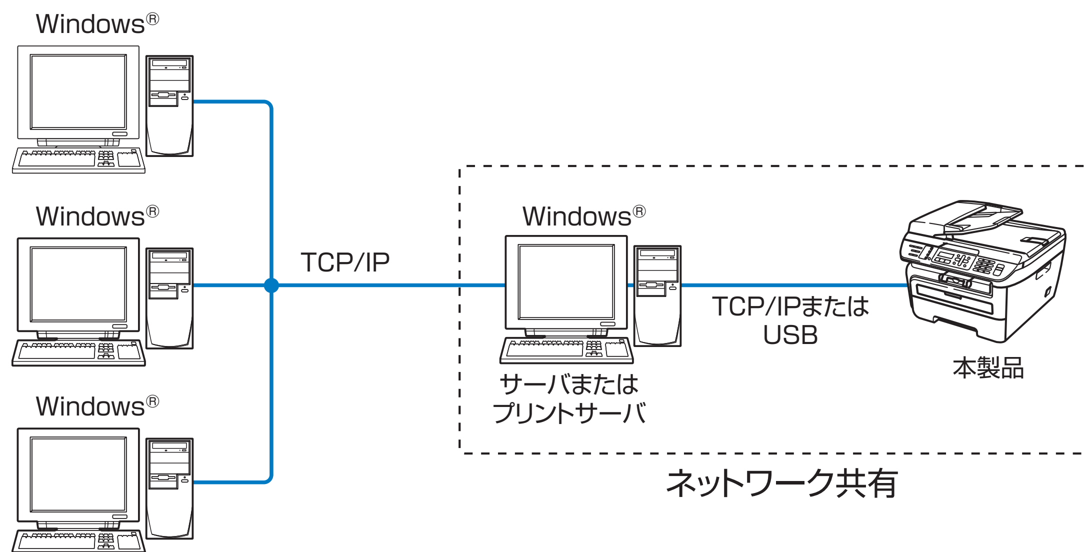
● ピアツーピア接続

本製品はネットワークに接続されていますが、印刷データの管理などは行わず、直接本製品に印刷します。



● ネットワーク共有

本製品はネットワークに接続され、サーバまたはプリントサーバが印刷データの管理などを行い、本製品に印刷します。



オートマチックドライバインストーラをインストールする

1 **コンピュータの電源を入れる**

管理者権限をもつユーザでログオンします。

2 **本製品に付属の CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブにセットする**

トップメニューが表示されます。

補足

画面が表示されないときは、「マイコンピュータ（コンピュータ）」からCD-ROMドライブをダブルクリックし、「start.exe」をダブルクリックしてください。

3 **[その他ソフトウェアとユーティリティ]をクリックする**



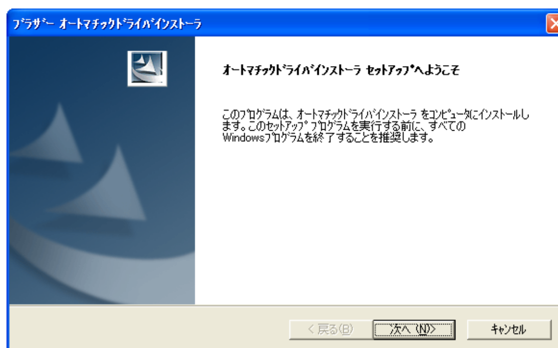
4 **[オートマチックドライバインストーラ]をクリックする**



補足

Windows Vista®の場合は、「ユーザーアカウント制御」画面が表示されますので、[続行]をクリックします。

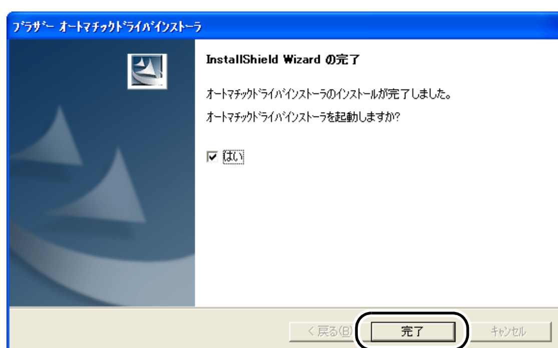
5 オートマチックドライバインストーラのセットアップ画面が表示されたら、[次へ]をクリックする



6 画面の指示に従い、インストールを完了させる

7 [完了] ボタンをクリックする

これでインストールは完了しました。
[はい] をチェックしている場合は、オートマチックドライバインストーラが起動します。



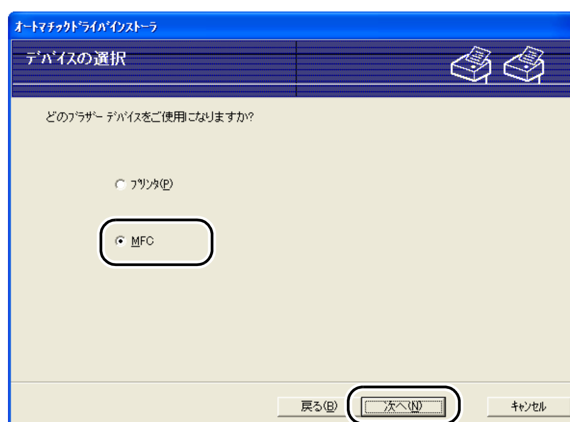
オートマチックドライバインストーラを使用する

「オートマチックドライバインストーラ」を起動すると、「オートマチックドライバインストーラへようこそ」画面が表示されます。

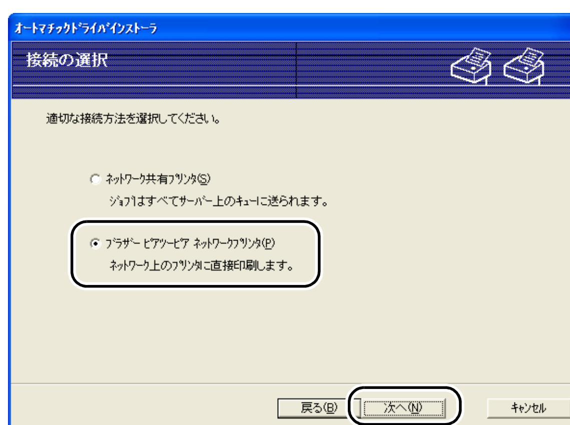
1 ［次へ］をクリックする



2 「MFC」を選択し、［次へ］をクリックする



3 本製品の接続方法を選択し、［次へ］をクリックする



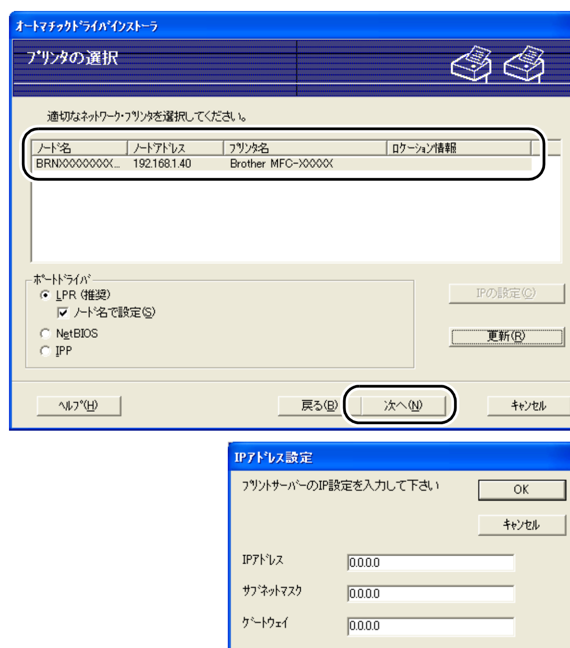
4 本製品を選択し、［次へ］をクリックする

手順３で「ブラザーピアツーピアネットワークプリンタ」を選択した場合は、右の画面が表示されます。

- IPアドレスの設定

  本製品にIPアドレスがない場合は、リストから本製品を選択し、［IPの設定］をクリックし、IPアドレスを変更できます。

  表示された「IPアドレス設定」画面でIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスなどの情報を設定することができます。



5 プリンタドライバを選択し、［次へ］をクリックする

すでにプリンタドライバをインストールしている場合は、「インストールしているドライバを使用する」をチェックし、表示されるドライバを選択します。使用したいプリンタドライバがコンピュータにインストールされていない場合は、［ディスク使用］をクリックし、プリンタドライバのファイルの場所を指定します。



6 プリンタ設定詳細画面が表示されたら、ドライバの設定内容を確認する

● 実行ファイルの作成

オートマチックドライバインストーラを使って、自動実行.EXEファイルを作成することもできます。自動実行.EXEファイルは、ネットワークに保存したり、CD-ROMやUSBメモリーにコピーしたり、他のユーザーにEメールで送信することもできます。

実行後は、ドライバとその設定が自動的にインストールされます。



- 「他のユーザのためのインストールプログラムを作成します。このコンピュータにドライバファイルをコピーします。」

  ご使用のコンピュータにドライバをインストールし、ご使用のコンピュータと同じオペレーティングシステム（OS）の他のコンピュータで実行する自動実行.EXEファイルを作成する場合に選択します。

- 「他のユーザのためのインストールプログラムを作成します。このコンピュータにドライバファイルをコピーしません。」

  ご使用のコンピュータにドライバが既にインストールされているため、ドライバを再度インストールせず、ご使用のコンピュータと同じオペレーティングシステム（OS）の他のコンピュータで実行する自動実行.EXEファイルのみを作成する場合に選択します。

補足

- 「キュー」に基づくネットワークで作業しており、実行ファイルに設定するものと同じプリンタキューにアクセスできない他のユーザーのための実行ファイルを作成する場合は、ドライバを遠隔コンピュータにインストールしたときに、LPT1印刷に初期設定されます。
- 手順5で「インストールされているドライバを使用する」にチェックを入れた場合は、［カスタム設定］をクリックして、用紙サイズなどプリンタドライバの初期設定を変更することができます。

7 ［完了］をクリックする

プリンタドライバが自動的にインストールされます。



その他のプリンタドライバのインストール方法

Web Servicesを使用する（Windows Vista®のみ）

Windows Vista®の場合は、Web Servicesを利用してプリンタドライバをインストールすることができます。

補足

“ホストコンピュータと本製品が同じサブネット上にあるか”、または“ルータが２つのデバイス間で正しくデータのやり取りができるように設定されているか”のどちらかを確認してください。

1. ［スタート］メニューから［ネットワーク］をクリックする

2. 本製品の Web Services 名がアイコンと合わせて表示されるので、右クリックして［インストール］をクリックする

「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。

補足

本製品のWeb Services名は、モデル名とMACアドレス（イーサネットアドレス）です。
例）Brother MFC-XXXX ［XXXXXXXXXXXX］

3. 管理者権限のあるユーザー場合は、［続行］をクリックする
管理者権限のないユーザーの場合は、管理者アカウントのパスワードを入力し、［OK］をクリックする

4. 「ドライバソフトウェアを検索してインストールします（推奨）」を選択する

「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。

5. 管理者権限のあるユーザー場合は、［続行］をクリックする
管理者権限のないユーザーの場合は、管理者アカウントのパスワードを入力し、［OK］をクリックする

6. 「オンラインで検索しません」を選択する

7. 本製品に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

8. 「コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します（上級）」を選択する

9. CD-ROM ドライブを選択し、本製品のプリンタドライバの保存フォルダを選択し、［OK］をクリックする

X:¥driver¥win2kxpvista¥jpn （X は CD-ROM ドライブ）

10. ［次へ］をクリックする

インストールが開始されます。

ネットワークプリンタキューと共有を使用する

補足

●ネットワークに共有プリンタとして接続する場合は、インストール前にネットワーク管理者にお問い合わせいただき、キューと共有名を確認してください。
●実行中のすべてのアプリケーションソフトを終了してから、行ってください。

1 **コンピュータの電源スイッチを ON にする**
管理者権限をもつユーザでログオンします。

2 **本製品に付属の CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブにセットする**
トップメニューが表示されます。

補足
画面が表示されないときは、「マイコンピュータ（コンピュータ）」からCD-ROMドライブをダブルクリックし、「start.exe」をダブルクリックしてください。

3 **[その他ソフトウェアとユーティリティ］をクリックする**

4 **[プリンタドライバ（ネットワーク対応のみ)］をクリックする**

補足
Windows Vista®の場合は､「ユーザーアカウント制御」画面が表示されますので､[続行]をクリックします。

5 **[次へ］をクリックする**
プリンタドライバのインストールが開始され、使用許諾契約画面が表示されます。

6 **使用許諾契約の内容をよく読み、[はい］をクリックする**

7 **[標準インストール］をクリックし、[次へ］をクリックする**

8 **「ネットワーク共有プリンタ」を選択し、[次へ］をクリックする**

9 **製品のキューを選択し、[OK］をクリックする**

補足
本製品のネットワーク上の位置や名前が分からない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

10 **[完了］をクリックする**

補足
本製品を通常使用するプリンタに設定しない場合は、［通常使うプリンタに設定］のチェックを外します。

仕様

プリントサーバ

有線LAN

項目	内容	
ネットワークノードタイプ	NC-6600h	
対応オペレーティングシステム(OS)	Windows® 2000/XP/XP Professional x64 Edition、Windows Vista®、Windows Server ®2003/Windows Server® 2003 x64 Edition Mac OS® X 10.2.4以降	
プロトコル	TCP/IP：IPv4	ARP, RARP, BOOTP, DHCP, APIPA (Auto IP), WINS, NetBIOS name resolution, DNS Resolver, mDNS, LPR/LPD, Custom Raw ポート/ポート9100, IPP, FTP Server, FTP Client, POP before SMTP, SMTP-AUTH, TELNET, SNMPv1, HTTP server, TFTP client and server, SMTP Client, APOP, ICMP, LLMNR responder, Web Services
	TCP/IP：IPv6※1	NDP, RA, DNS resolver, mDNS, LPR/LPD, Custom Raw ポート/ポート9100, IPP, FTP Server, FTP Client, POP before SMTP, SMTP-AUTH, TELNET, SNMPv1, HTTP server, TFTP client and server, SMTP Client, APOP, ICMPv6, LLMNR responder, Web Services
	その他	LLTD responder
ネットワークタイプ	10/100BASE-TX イーサネット	
ネットワーク印刷	Windows® 2000/XP、Windows Server® 2003、Windows Vista® TCP/IP印刷 Mac OS® X 10.2.4以降 Macintosh®印刷	

※1　IPv6 プロトコルの詳細は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））を参照してください。

無線LAN

項目	内容	
ネットワークノードタイプ	NC-7400w	
対応オペレーティングシステム(OS)	Windows® 2000/XP/XP Professional x64 Edition、Windows Vista®、 Windows Server® 2003/Windows Server® 2003 x64 Edition Mac OS® X 10.2.4以降	
プロトコル	TCP/IP : IPv4	ARP, RARP, BOOTP, DHCP, APIPA (Auto IP), WINS, NetBIOS name resolution, DNS Resolver, mDNS, LPR/LPD, Custom Raw ポート/ポート9100, IPP, FTP Server, FTP Client, POP before SMTP, SMTP-AUTH, TELNET, SNMPv1, HTTP server, TFTP client and server, SMTP Client, APOP, ICMP, LLMNR responder, Web Services
	TCP/IP : IPv6※1	NDP, RA, DNS resolver, mDNS, LPR/LPD, Custom Raw ポート/ポート9100, IPP, FTP Server, FTP Client, POP before SMTP, SMTP-AUTH, TELNET, SNMPv1, HTTP server, TFTP client and server, SMTP Client, APOP, ICMPv6, LLMNR responder, Web Services
	その他	LLTD responder
ネットワークタイプ	IEEE 802.11b/g ワイヤレス	
周波数	2412 ～ 2472 MHz	
RFチャンネル	802.11b (1-14), 802.11g (1-13)	
接続モード	インフラストラクチャモード, アドホックモード (802.11bのみ)	
データ転送速度	802.11b	11/5.5/2/1 Mbps
	802.11g	54/48/36/24/18/12/11/9/6/5.5/2/1 Mbps
最大到達距離	70m（最も低いデータ転送速度）（数値はご使用の環境など、様々な要素によって変化します。）	
ネットワークのセキュリティ	SSID, 128 (104) / 64 (40) bit WEP, WPA/WPA2-PSK (TKIP/ AES), LEAP (CKIP)	
ネットワーク印刷	Windows® 2000/XP、Windows Server® 2003、Windows Vista® TCP/IP印刷、 Mac OS® X 10.2.4以降 Macintosh®印刷	
簡単設定	AOSS™, WPS (Wi-Fi Protected Setup™), SecureEasySetup™	

※1　IPv6 プロトコルの詳細は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））を参照してください。

お買い上げ時のLAN設定

お買い上げ時の設定は、下線で示しています。

メインメニュー	サブメニュー	サブサブメニュー	メニュー選択	選択項目	参照
5. LAN	1. 有線LAN	1. TCP/IP設定	1. IP 取得方法	Auto Static RARP BOOTP DHCP (「Static」以外を選択した場合は、IPアドレスの取得を試みる回数の入力を要求されます。)	P.23
			2. IP アドレス	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255] (000. 000. 000. 000)	P.24
			3. サブ ネット マスク	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255] (000. 000. 000. 000)	P.24
			4. ゲートウェイ	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255] (000. 000. 000. 000)	P.25
			5. ノード名	BRNxxxxxxxxxxxx（15文字以内）	P.25
			6. WINS 設定	Auto Static	P.26
			7. WINS サーバ	プライマリ 000. 000. 000. 000 セカンダリ 000. 000. 000. 000	P.27
			8. DNS サーバ	プライマリ 000. 000. 000. 000 セカンダリ 000. 000. 000. 000	P.28
			9. APIPA	オン オフ	P.29
			0. IPv6	オン オフ	P.29
		2. イーサネット	—	Auto 100B-FD 100B-HD 10B-FD 10B-HD	P.30
		3. 初期設定に戻す	1. 決定	—	P.32
			2. キャンセル	—	
		4. 有線 LAN 有効	—	オン オフ	—

メイン メニュー	サブ メニュー	サブサブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	参照
5．LAN	2．無線LAN	1．TCP/IP設定	1．IP取得方法	Auto Static RARP BOOTP DHCP （「Static」以外を選択した場合は、IPアドレスの取得を試みる回数の入力を要求されます。）	P.96
			2．IPアドレス	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255] (000. 000. 000. 000)	P.97
			3．サブネットマスク	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255] (000. 000. 000. 000)	P.97
			4．ゲートウェイ	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255] (000. 000. 000. 000)	P.98
			5．ノード名	BRWxxxxxxxxxxxx（15文字以内）	P.98
			6．WINS設定	Auto Static	P.99
			7．WINSサーバ	プライマリ 000. 000. 000. 000 セカンダリ 000. 000. 000. 000	P.100
			8．DNSサーバ	プライマリ 000. 000. 000. 000 セカンダリ 000. 000. 000. 000	P.101
			9．APIPA	オン オフ	P.102
			0．IPv6	オン オフ	P.102
		2．無線接続ウィザード	―	―	P.56
		3．SES/WPS/AOSS	―	―	P.58
		4．WPS（PIN方式）	―	―	P.60
		5．無線状態	1．接続状態	アクティブ（11b） アクティブ（11g） 有線LANアクティブ 無線LANオフ 接続失敗	P.103
			2．電波状態	電波： 強い 普通 弱い 無し 54Mbps[11ch]	P.103
			3．SSID	―	P.103
			4．通信モード	アドホック インフラストラクチャ	P.104

本書の使い方・目次
ネットワークで使う前に
ネットワークの設定
無線LANの設定
Windows環境で使う
Macintosh環境で使う
トラブルシューティング
付録

メイン メニュー	サブ メニュー	サブサブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	参照
5．LAN	2．無線 LAN	6．初期設定に戻す	1．決定	—	P.106
			2．キャンセル	—	
		7．無線 LAN 有効	—	オン オフ	
	3．スキャン to FTP	—	カラー150dpi カラー300dpi カラー600dpi グレー100dpi グレー200dpi グレー300dpi モノクロ200dpi モノクロ 200 × 100dpi	（カラーを選んだ場合） PDF JPEG （グレーを選んだ場合） PDF JPEG （モノクロを選んだ場合） PDF TIFF	—
	0．LAN 設定リセット	1．決定	—	1．はい 2．いいえ	P.32
		2．キャンセル	—	—	

用語集

● ADSL

Asymmetric Digital Subscriber Line の略です。銅線の一般加入者電話(アナログ)回線を利用して、数M〜数＋Mbpsの高速データ通信を可能にする通信方式です。

● AOSS™

AirStation One-Touch Secure System（無線LAN簡単設定システム）の略で、AOSS™対応の無線LANアクセスポイントをお持ちの場合は、ボタンを押すだけで、本製品の無線LAN設定が行えます。

● APIPA

Automatic Private IP Addressingの略です。

IPアドレス配布サーバが無い環境では、本製品が自分自身でIPアドレスを割り当てる機能です。

● APOP（証明付ポストオフィスプロトコル）

APOP は、POP3（インターネット受信プロトコル）を拡張し、クライアントがE メールを受信するときにパスワードを暗号化する認証方法を取り入れたものです。

● ARP

Address Resolution Protocolの略です。

TCP/IPプロトコルにおいて、IPアドレスの情報からMACアドレスを調べて通知するプロトコルです。

● ASCII

American Standard Code for Information Interchange の略です。アメリカ規格協会が定めた情報交換用の文字や記号を数値表現したものです。例えば ASCII コードの「41」はアルファベットの「A」を表します。

● BOOTP

BOOTstrap Protocolの略です。

TCP/IPネットワーク上のクライアントマシンにおいてIPアドレスやホスト名、ドメイン名などのパラメーターをサーバーから自動的にロードしてくるためのプロトコルです。

● BRAdmin Light

BRAdmin Light は、Windows® 2000/XP/Windows Vista® およびMac OS® X の環境下でブラザーネットワークプリンタを管理するソフトウェアです。ネットワークに接続されているブラザープリンタを設定し、そのステータスを確認することができます。

● BRAdmin Professional

BRAdmin Professional は、Windows® 2000/XP/Windows Vista® の環境下でブラザーネットワークプリンタを管理するソフトウェアです。BRAdmin Light では設定できないより高度なネットワーク設定ができます。
サポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp)）よりダウンロードしてください。

● CKIP

Cisco Key Integrity Protocol の略です。

Cisco LEAP認証とともに使用される暗号化方式です。

● DHCP

Dynamic Host Configuration Protocolの略です。

動的ホスト構成プロトコル。ネットワーク上のIPアドレスを動的かつ自動的に割り当て管理するプロトコル。BOOTPの拡張版で、DHCPサーバーはDHCPクライアントの要求に応じてIPアドレスを割り当て、サーバーとクライアント間の通信にはBOOTPを使用します。メッセージのフォーマットやプロトコルは、BOOTPとほぼ同じです。

● DNS

Domain Name Systemの略です。

TCP/IPネットワークで使用されるネームサービスです。クライアントはDNSサーバー内のホスト名とIPアドレスの対応関係を記述したデータベースを参照することで、ホストの名前を指定してネットワークにアクセスできるようになります。

● FTP

File Transfer Protocol の略です。ネットワークでファイルの転送を行うためのプロトコルです。

● FTTH

Fiber To The Home の略です。電話局から各家庭までの加入者線を結ぶアクセス網を光ファイバ化し、高速な通信環境を構築する計画のことを指します。

● HTTPS

ハイパーテキスト転送プロトコル（HTTP）でSSL を用いるインターネットプロトコルです。

● IEEE802.11b 及び IEEE802.11g

IEEE（米国電気電子学会）で定めた無線 LAN　規格で、IEEE802.11b は最大 11M ビット / 秒での通信が可能です。IEEE802.11gはIEEE802.11bの上位互換であり、更に高速な最大54Mビット/秒での通信が可能です。本製品の無線LAN機能はIEEE802.11b及び IEEE802.11gの両方の規格に対応しています。

● IP アドレス

IPプロトコルで使用するためのアドレスで、ネットワーク自体やネットワーク上のノードを特定する論理番号のことです。

● IPP

Internet Printing Protocolの略です。

インターネットなどの TCP/IP ネットワークを通じて印刷データの送受信や印刷機器の制御を行うプロトコルです。特徴として、ウェブブラウザなどが使うHTTPプロトコルを用いてネットワーク上のプリンタに印刷を指示できるようになっています。インターネットを通じて遠隔地のプリンタにデータを送って印刷することもできます。

● IPPS

インターネット印刷プロトコル（IPP バージョン1.0）でSSLを用いる印刷プロトコルです。

● IPv6

Internet Protocol Version 6の略です。

現在インターネットで用いられているプロトコルであるIPv4の後継バージョンの名称です。増加するインターネットの使用者に対応するため、管理できるアドレス空間の増大、セキュリティ機能の追加、優先度に応じたデータの送信などの改良を施した次世代インターネットプロトコルです。

● LEAP

無線LANの認証方式の1つで、クライアントの機器と認証サーバーが相互に認証を行い、認証が成立すると、そのクライアント機器に固有のWEPキーが発行され、その接続の間だけ使用可能になる認証方法です。

● LAN

Local Area Networkの略です。同一フロア、同一のビル内などにあるネットワーク機器を、Ethernetなどの方法で接続したネットワークのことを指し、閉鎖されたネットワークという位置付けがあります。

● LLMNR

Link-Local Multicast Name Resolutionの略です。リンクローカルマルチキャスト名前解決（LLMNR）プロトコルは、ネットワークにDNSサーバがないときに近隣のコンピュータの名前を解決します。LLMNRレスポンダ機能は、Windows Vista®などのLLMNRセンダ機能を有するコンピュータを使用する場合にIPv4、IPv6両方の環境で有効です。

● LLTD

Link Layer Topology Discoveryの略です。リンク層トポロジー探索（LLTD）プロトコルを用いると、Windows Vista®ネットワーク上で本製品を簡単に検出でき、分かりやすいアイコンとノード名で表示されます。このプロトコルの初期設定はオフです。

● LPR

Line PRinter daemon protocolの略です。

TCP/IPネットワークを経由して印刷を行うプロトコルです。主にUNIX系OSで使用されています。

● MAC アドレス（イーサネットアドレス）

イーサネット機器が持つ6バイトのアドレスです。ISO/OSIモデルの物理層およびデータリンク層で機能します。MACアドレスは機器内部に記憶されているので、ユーザーが変更することはできません。

● MAC アドレスフィルタリング

無線LANアクセスポイントにMACアドレスを登録することにより、許可された無線LAN端末以外は無線LANアクセスポイントに接続できなくなります。

● mDNS

Mac OS® X v10.2以降でサポートされている機能で、mDNSを有効にすると、mDNSをサポートしているクライアントから自動的に認識されます。

● Microsoft Internet Print Services

IPPプロトコルを使用して、Windows® 2000/XP/Windows Vista®コンピュータを通じて印刷ジョブをプリンタに送るときに使用します。

● NetBIOS

Sytek社が開発したアプリケーション・プログラム・インターフェース（API）で、LAN上のコンピュータが同じLAN上の他のコンピュータと対話する必要がある前提で設計されたインターフェースです。IBM Server、Microsoft LANManager環境向けのアプリケーションを作成するときにプログラマが使用します。

● OP25B（Outbound Port 25 Bloking）

プロバイダのメールサーバを経由せず、直接送信しようとするEメールを遮断する方法です。

これによりプロバイダは、迷惑メールの発信に規制をかけることができます。

● ping

Packet InterNetwork Groperの略です。相手先ホストへの到達可能性を調べるコマンドです。

● POP before SMTP（PbS）

クライアントからEメールを送信するユーザー認証方法です。クライアントは、Eメールを送信する前にPOP3サーバにアクセスすることによって、SMTPサーバを使用する許可を得ます。

● POP3

インターネットでEメールを保存しているサーバからEメールを受信するためのプロトコルです。

● RARP

ARPプロトコルとは逆に、自ノードのMACアドレスから「自分の」IPアドレスを求めるためのプロトコルです。

● SMTP

Simple Mail Transfer Protocolの略です。

インターネットでEメールを転送するプロトコルです。

● SMTP-AUTH（SMTP 認証）

SMTP-AUTHは、SMTP（インターネットEメール送信プロトコル）を拡張し、送信者の身元を確認する認証方法を取り入れたものです。

● SNMP

Simple Network Management Protocolの略です。

ネットワークを監視し管理するためのプロトコルです。

● SSID（ネットワーク名）

Service Set Identifierの略です。ネットワーク名とも呼ばれるSSIDは、無線LANを他の無線LANと区別するネットワークの識別子のことで、無線LANをグループ化するために用いられます。通常は無線LANアクセスポイントから発信されるビーコン等のパケットに含まれますが、ネットワークによっては、セキュリティ強化の為に無線LANアクセスポイントのSSIDを表示しないように（SSIDの隠ぺい）する場合もあります。

● TCP/IP

Transmission Control Protocol/Internet Protocol（伝送制御プロトコル/インターネットプロトコル）の略です。

インターネットで使用されているプロトコル、通信ソフト（アプリケーション）を特定して通信路を確立するプロトコル（TCP）と、通信経路に関するプロトコル（IP）から構成されています。OSI参照モデルでは、TCPはレイヤー 4、IPはレイヤー 3に対応しています。

● Telnet

自端末からリモートシステム端末へのアクセス機能、ネットワーク内での仮想端末の機能を提供するTCP 上のプロトコルで、リモートTelnetコネクションという文字単位の通信経路を設定します。通常ログイン時のパスワード認証以外に特別なセキュリティ機能は持ちません。

● TKIP

Temporal Key Integrity Protocolの略です。WEPの後継にあたる暗号化の規格で、暗号化方式はWEPと同じRC4を利用しています。TKIP は一定時間ごと、または一定パケット量ごとに暗号キーが更新されるためWEPキーによる暗号化よりも高いセキュリティになります。

● UDP

User Datagram Protocol の略です。

TCP/IPにおけるトランスポート層に属するプロトコル。インターネットでは、音声や動画などのストリーミング送信などのデータ転送に使用されており、転送速度は速く信頼性が低いのが特徴です。逆に、TCP は転送速度が遅く信頼性が高いのが特徴です。

● Web Services

Windows Vista® の場合は、Web Services プロトコルを使用してプリンタドライバをインストールできます。詳しくは、「Web Services を使用する（Windows Vista® のみ）」P.155 を参照してください。

また、Web Services では、ご使用のパソコンから本製品の現在のステータスを確認することができます。

● WEP

Wired Equivalent Privacyの略です。IEEE802.11で標準化されている暗号化方式です。無線LANアクセスポイントやクライアントで共通の暗号キー（WEP キー）を設定して通信の暗号化を行います。設定した暗号キーが一致しない限り暗号化されたデータを解読することができません。

● WINS

Windows® Internet Name Service の略です。Windows®環境で、ネームサーバを呼び出すためのサービスです。サービスを実行するにはサーバが必要です。

● WPA-PSK/WPA2-PSK

無線LANの業界団体Wi-Fi Allianceが提唱するWPA(Wi-Fi Protected Access)のPersonalモードです。WPA-PSKは、無線LAN で使用される暗号化技術を用いた認証方式の一つであり、WPAはTKIP 暗号化を使用した事前共有キー（PSK）による認証を行い、WPA2 は AES 暗号化を使用した事前共有キー（PSK）による認証を行います。

● WWW

World Wide Web の略です。インターネットでの情報検索システム、サービスシステムのひとつです。

● アドホック (Ad-hoc) モード

無線LAN アクセスポイントを経由しないで、直接それぞれの無線LAN 端末間で通信するネットワークです。このタイプのネットワークは、アドホックモード、またはピア・ツー・ピア・ネットワークとも呼ばれています。

● 暗号化方式

無線 LAN のセキュリティを高めるために通信を暗号化する方法のことです。

● イーサネットモード

イーサネットの転送速度と転送方法の設定のことです。

● インフラストラクチャ (Infrastructure) モード

無線LANアクセスポイントを経由して、それぞれの無線LAN端末が通信するネットワークです。インフラストラクチャモードと呼ばれています。

● オープンシステム認証

無線LANの認証方式の1つで、資格情報が無くても無線LANアクセスポイントに認証依頼を行い、無線 LAN アクセスポイントは依頼された認証をそのまま受け入れる方式です。

● 共有キー認証

無線LANの認証方式の1つで、無線LANアクセスポイントとネットワークキーを用いた認証方法です。

● サブネットマスク

IPアドレスからサブネットのネットワークアドレスを求める場合に使用するマスク値のことです。IPアドレスとサブネットマスクをANDすると、サブネットアドレスになります。

● セキュリティ (Security)

無線LAN では電波の届く範囲内であれば自由にそのネットワークへ接続することが可能になります。したがって、悪意を持った第三者に通信内容を盗聴されたり、無断でネットワークに侵入されて個人情報の取り出しやデータの改ざん、システムの破壊などの行為を許さないために暗号化などの安全保護を行うことを推奨します。この安全保護のことをセキュリティといいます。

● チャンネル (Channel)

無線LAN では通信のためにチャンネルが使われます。それぞれのチャンネルは予め決められたそれぞれ異なる周波数帯域を持っています。一つの無線LAN内の全ての無線LAN端末は、同じチャンネルを使う必要があります。

● 通信モード

無線 LAN の通信モードには、アドホックモードとインフラストラクチャモードの2種類があります。

● 認証方式

無線 LAN の通信をする場合に、通信相手を確認する方法のことです。

● ネットワークキー

共有キー認証のためのキー、または暗号化機能の暗号化キーなどのキーのことです。

● ネットワーク認証

無線LAN で使われる認証方式の総称です。本製品がサポートしている認証方式としては、オープンシステム認証、共有キー認証、WPA/WPA2-PSK、LEAPなどがあります。

● ノード名

ネットワーク上で、本製品を識別するための名前です。

● ポート番号

複数の相手と同時に接続を行なうためにIPアドレスの下に設けられたサブ（補助）アドレス。ポートの指定には0から65535までの数字が使われます。FTPは21、HTTPは80、メール受信は110、などのように、ポート番号はサービスを特定するための番号です。

● ルータ

ネットワーク間（LANとLAN、LANとWAN）の接続を行うネットワーク機器の一つです。

● 信号強度

無線LAN端末が無線LANアクセスポイント、または他の無線LAN端末から受信する電波の強さのことです。

● 無線 LAN アクセスポイント

無線LANアクセスポイントは無線LANルータとも言われています。無線LAN アクセスポイントはネットワークの中心に位置し、個々の無線LAN端末は無線LANアクセスポイントを介して通信します。また、無線LAN アクセスポイントは無線LANのセキュリティ管理も行っています。

索　引